

教科書文庫
4
291
51-1921
2000023777

著郎太房林小

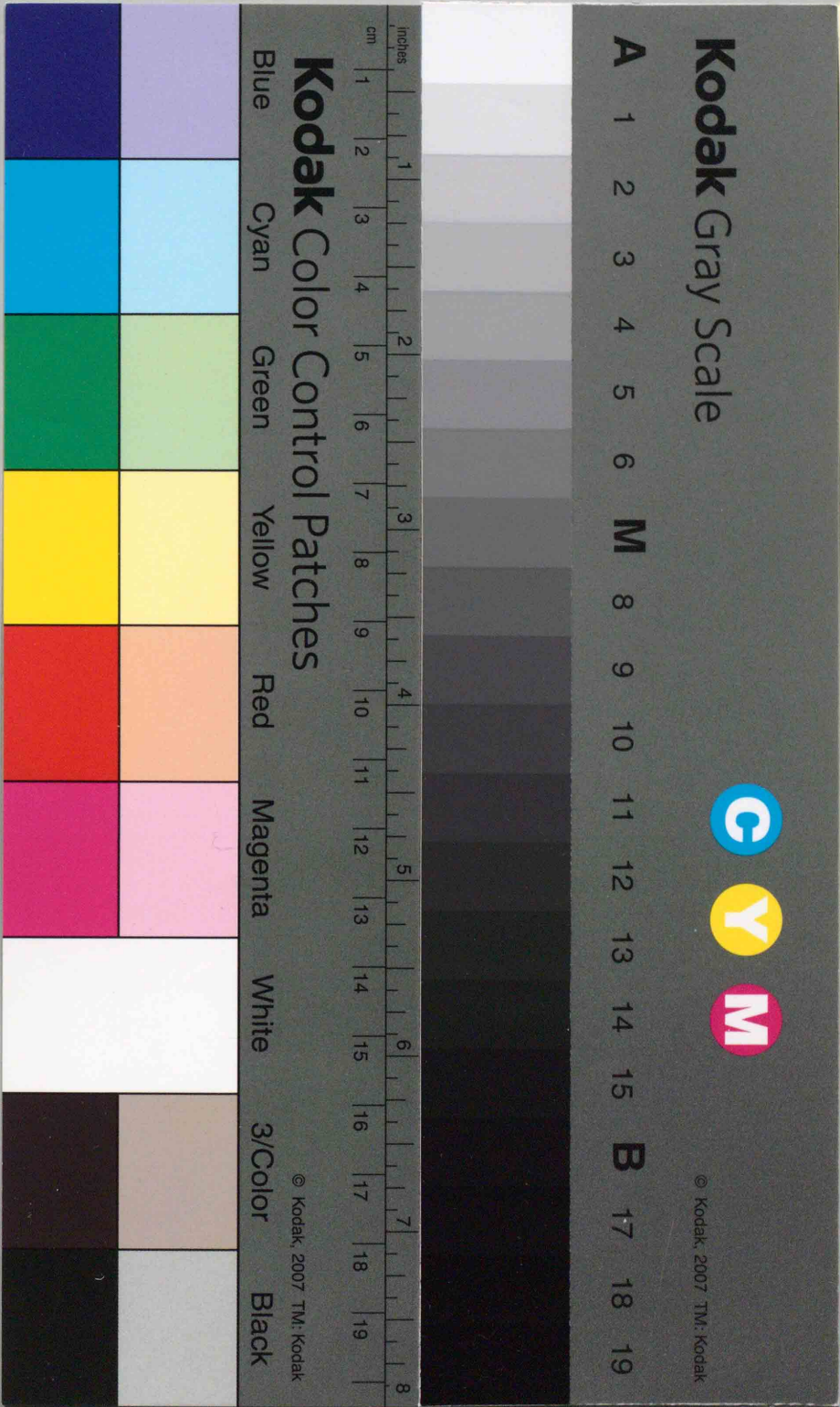
師範用

新地理

本全

社學東

四訂版



42912

教科書文庫

4
291
51-1921
20000 23777



教科書文庫
4
291
51-1921
2000023777

資料室

325.9
K02

文部省檢定
小林房太郎著

師範用
新地理

日本全

東京
文藝社

広島大学図書
2000023777


Yamamoto



富士山を望む河口湖

広島大学図書印

広島大学
教
23777
図書

例言

本書は、師範学校の日本地理教科書に充てんが爲めに編纂したるものにして、別著外國の部と關聯し、且、之に附屬すべき新地圖と、相俟ちて完璧をなすものなり、本書編纂につき、著者の眼目とせる所次の如し。

一、本書は特色なきを以て特色とす。

教科書は中庸を得しむるを旨とし、強て特色を發揮すべからず、元來教科書は、教授者其人を待ちて活躍するものにして、特色ある教科書は、教授者を束縛すること多く、教授の趣味を減殺し、從て教授をして不徹底ならしむる虞あればなり。

二、小學校地理教科書との聯絡に留意せり。

小學教育の意義をして有効ならしめんがため、記載事項、挿圖

等に留意し、重複を避け、其統一を計れり、然れども、時に自ら意見を異にせる所なきにあらず、例へば、本書は、地勢中の沿海記事を、地勢の前に説明せる如き之なり、之れ輪廓は地形の概念を得しむる基礎的事項なりと信ずるを以てなり。

三、本書は人文地理特に産業に重きを置けり。

地理の教授は、自然より人文に入るは勿論なりと雖も、人生と密接の關係ある事項に至り、始めて活躍するものなれば特に産業發達の現状、其経路及び原因等に著眼するを要す、抑、國家の隆昌は、産業の發達に基き、産業先づ發達して國民靈動すればなり、是れ戰前獨逸の範を示せし所にして、本書編纂の大趣旨亦是に在りて存す。

四、本書は都邑盛衰の原因を明かならしむるに努めたり。

都邑の發達する必ず其故あり、或は政治上の關係より、或は交通上の要地たるより、或は教育・軍事・商業將た工・礦業上各特殊の原因を有す、其衰微するや亦然り、本書は此點に留意せるもの大なり。

五、本書は府縣單位を避けて地方單位に改めたり。

交通の發達、産業の大規模となると共に、人事百般の事項は、殆ど府縣の境界を無視せんとするのみならず、教育上亦地方的感情を除却せざるべからざればなり。

六、本書は交通機關と都邑分布との關係を密ならしめたり。

交通機關と都邑とは特殊の關係を有するを以て、之が聯絡を密ならしめ、生徒の學習上に便せり。

七、以上の外尙留意せし點左の如し。

A、文字文章は努めて之を平易ならしめたり。

B、記載上、事實の統一に留意し、且苟も新事實は逸せざらん事

に努めたり。

C、特に挿圖を精選し、本書編纂の大趣旨徹底に努めたり。

D、統計は、主として第三十五次農商務統計及び日本帝國第三十八統計年鑑、各地方最新の統計等によりたり。

E、教材の分量は、實地教授の經驗に基き、裕に一學年間に教授し終るべく配當せり。

本書編纂の趣旨以上の如し、然れども、尙、缺點遺漏なきを保せず、實地教授の任に當らるる各位の是正を待つこと大なり。

著者誌

改訂「第四版」の辭

曩に中等學校用地理教科書として、本書を公にせし以來、各學校に於て採用せられしもの甚だ多く、本書の光彩を發揮せしもの亦大なり。然るに、學界の研鑽は日に新に月に進み、時勢の進運は停止する所なく、特に、近く五箇年に涉れる世界大戰役は、單に國土の變改を招きしに止らず、軍事に、財政に、産業に、將た社會的關係に、一として偉大なる變化を與へざるものなければ、先、昨年一改訂を加へしと雖も、當時、猶、未だ詳かならざる事項多かりしと、最近、臺灣の行政區劃の改變及び地名改稱等の事實ありしとにより、更に大改訂を行はざるべからざるに至り、茲に、本書は全く其面目を一新することを得たり。然れども、尙、今後改訂を要することあらん、著者敢て其勞を辭せざるべし。之を改訂の辭となす。

大正九年十月

著者誌

二

新地理 日本 目次

中地理日本

第一編 緒論 一頁

位置 面積 區劃

第二編 地方誌 四

第一章 關東地方 四

第一 總說 四

位置 沿海 地勢 氣候 產業 交通

第二 處誌 一

東京府 神奈川縣 埼玉縣 千葉縣

茨城縣 群馬縣 栃木縣

第二章 奥羽地方 二四

第一 總說 二五

目次

一

位置 沿海 地勢 氣候 產業 交通
第二處誌……………三一

福島縣 宮城縣 岩手縣 青森縣
秋田縣 山形縣

第三章 本州中部地方……………三六

第一總說……………三六

位置 沿海 地勢 氣候 產業 交通

第二處誌……………四三

靜岡縣 愛知縣 岐阜縣 山梨縣 長野縣
新潟縣 富山縣 石川縣 福井縣

第四章 近畿地方……………五四

第一總說……………五四

位置 沿海 地勢 氣候 產業 交通

第二處誌……………五八

中地理日本

中地理日本

第五章 中國地方……………六八

第一總說……………六八

位置 沿海 地勢 氣候 產業 交通

第二處誌……………七二

岡山縣 廣島縣 山口縣 鳥取縣 島根縣

第六章 四國地方……………七八

第一總說……………七八

位置 沿海 地勢 氣候 產業 交通

第二處誌……………八一

德島縣 香川縣 愛媛縣 高知縣

第七章 九州地方……………八四

第一總說……………八五

位置	沿海	地勢	氣候	產業	交通	九〇				
第二處	誌	福岡縣	佐賀縣	長崎縣	熊本縣	九〇				
		大分縣	宮崎縣	鹿兒島縣	沖繩縣	九〇				
第八章	臺灣地方	第一總說	位置	沿海	地勢	氣候	住民	產業	交通	九九
		第二處誌	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	臺東廳	花蓮港廳	一〇四
第九章	北海道地方	第一總誌	位置	沿海	地勢	氣候	住民	產業	交通	一〇七
		第二處誌	函館區	小樽區	札幌區	室蘭區	旭川區	釧路區	千島列島	一一三

位置	沿海	地勢	氣候	住民	產業	交通	一一三					
第十章	樺太地方	第一總說	位置	沿海	地勢	氣候	住民	產業	交通	一一八		
		第二處誌	朝鮮地方	第一總說	位置	沿海	地勢	氣候	住民	產業	交通	一二四
		第二處誌	中部	南部	北部	沿草	一三〇					
第三編	總論	一三六										

第一章 地勢	山系 水系 平野 海岸 島嶼	一三六
第二章 近海	海面 海底 潮汐 洋流	一四三
第三章 氣候及び天産物	氣溫 氣壓 降水量 植物 動物 礦物	一四五
第四章 産業	農業 林業 牧畜業 鑛業 水産業 工業 商業	一四九
第五章 住民	種族 人口	一五八
第六章 政治	國體 政體 兵備 財政 外交	一五九
第七章 教育・神社・宗教	教育 神社 宗教	一六三

目次終

第八章 交通	道路 鐵道 航路 郵便 電信 電話	一六六
第四編 結論		一七〇



新地理 日本

第一編 緒論

大日本帝國の名稱は憲法第一條によりて定る。
 大日本帝國は萬世一系の天皇之を統治す。

極東 千島の占守島東端(東經一五六度三二分)。
 極西 澎湖島花嶼西端(東經一九九度一八分)。
 極南 臺灣七星岩南端(北緯二一度四五分)。
 極北 千島阿頼度島北端(北緯五〇度五六分)。

位置 大日本帝國は、日本列島と朝鮮半島とより成る。日本列島は、亞細亞洲の東部に位し、北東より斜に南西に走り、其延長千二百里に餘り、東亞の防波堤をなす。東方は太平洋を隔てて遙に北亞米利加洲に對し、北より西は阿哥斯科海、日本海、東支那海を隔てて、露領西比利亞及び支那に對す。又北東極に位する千島の占守島は、露領西比利亞の勸察加半島に迫りて、其間に狭き千島海峡を挟み、南西極に位する臺灣の七星岩は、米領比律賓群島に對し、其間にバシール海峡を挟む。朝鮮半島は亞細亞大陸の東岸に突出するこ

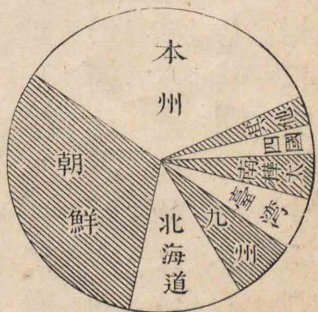
第一編 緒論

帝國各部の面積比較

本州	一、四、七、七
朝鮮	一、四、三、三
北海道	五、〇、八、四
本島	二、六、六、八
九州	二、三、三、四
臺灣	三、三、三、〇
樺太	二、三、三、〇
四國	一、一、八、二

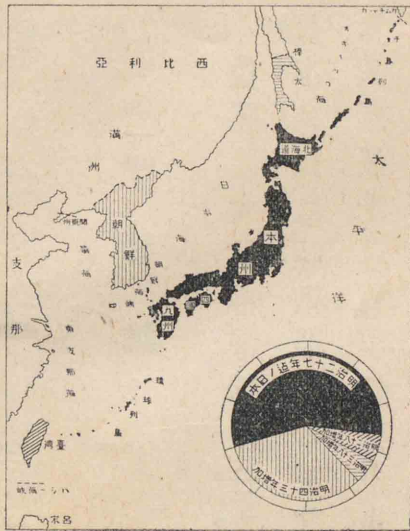
日本帝國の膨脹
其他二三
合計四三
七六

と百九十里に及び、東は日本海に、西は黃海に面し、南は朝鮮海峽を隔てて九州島に對し、北は圖們江・白頭山・鴨綠江によりて西比利亞及び滿洲と境す。又樺太は北緯五十度線によりて露領に接す。



面積 本邦の總面積は、約四

萬三千八百方里あり。就中、本州最大にして全國の約三分の一を占め、朝鮮は本州よりも稍小に、北海道本島は本州の約三分の一、九州・臺灣・樺太南半部は各北海道本島の約二分の一、四國は九州の約二分の一に當る。



中地理日本
中地理日本

世界五大強國本土の面積比較

米	五、一、三、三
佛	三、六、三、六
日(内地)	二、五、二、〇
英	二、〇、〇、〇
伊	二、〇、〇、〇

設道國別表

行政區劃表

本州(府縣)	四國
九州	北海道
臺灣(總督府)	樺太(廳)
朝鮮(總督府)	關東州(廳)

膨脹的なる我が國は、明治維新以來、國運の進歩著しく、曩には臺灣及び樺太の南半部を容れ、續いて關東州(二一九方里)を租借し、更に朝鮮を併合し、最近南洋(一六〇方里)の委任統治權を獲得し、尙其勢力、南滿洲・東蒙古・支那本部等に伸び、以て世界の大強國たるに至れり。

區劃 往昔、主として天然の

形勢により全土を畿内・八道・八十五箇國に分ちしが、現今は、行政上之を三府・四十三縣一道廳となし、之を新領土に對して内地と通稱す。今、便宜上、内地を關東・奧羽・本州中部・近畿・中國・四國・北海道に分ち、更に新附の臺灣・樺太及び朝鮮を加へ

畿内	山城	大和	河内	和泉	攝津
東海	伊賀	伊勢	志摩	尾張	三河
東山	近江	美濃	常陸	相模	武藏
北陸	若狹	越前	加賀	能登	越中
山陽	播磨	美作	備前	備中	備後
山陰	丹波	隱岐	但馬	因幡	伯耆
南海	紀伊	淡路	阿波	讃岐	伊豫
西海	筑前	筑後	豊前	豊後	肥前
北海道	渡島	日高	十勝	釧路	根室
	石狩	天鹽	北見	釧路	釧路
	釧路	根室	北見	釧路	釧路
	釧路	根室	北見	釧路	釧路

て十一地方となさん。

第二編 地方誌

第一章 關東地方

第一 總説

位置

所謂關八州の地にして、本州の中央に位し、東と南とは太平洋に面し、北は奥羽に接し、西は本州中部と境す。行政上、一府六縣に分る。沿海 關東地方の東岸には、犬吠岬突出して、弓形をなせる鹿島灘と鯉の漁獲に名ある九十九里濱とを分つ。

府縣名	管轄	府所在地
東京府	武蔵一部、伊豆七島、小笠原島、武蔵一部、相模全部、武蔵大部、安房、上總全部、下總大部、下陸全部、常陸全部、下野全部、上野全部、	東京市
神奈川縣		横濱市
埼玉縣		浦和町
千葉縣		千葉町
茨城縣		水戸市
栃木縣		宇都宮市
群馬縣		前橋市

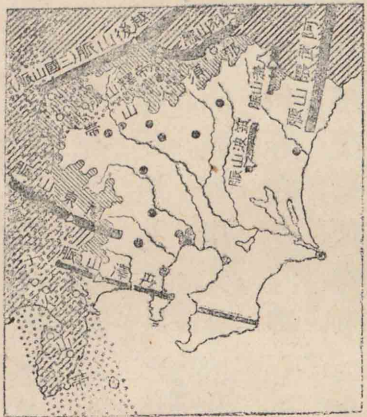
丘陵性の房總

行政区劃表

要塞地帯に於ては妄りに見取圖を採り寫眞撮影等をなすべからず。

地勢及び郡邑分布

白根山には日光白根、草津白根と二つ有り區別すべし。



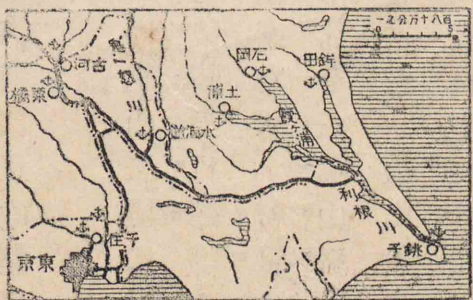
浦兩半島は東西相對して其間に浦賀水道を挟み、東京灣の門戸をなす。浦賀水道の兩側は要塞地帯なり。三浦半島の西には相模灣ありて沿岸沙濱に富み、南方遙に豆南諸島散點す。

地勢

此地方は關東平野其大部分を占め、北西二境には阿武隈八溝奥羽越後關東丹澤等の各山脈ありて障壁をなす。帝釋山脈は奥羽山脈の南部を、三國山脈は越後山脈の南部を占む。火山帶二あり、一は那須火山帶にして北より來り、活火山たる那須を始め、高原男體日光白根赤城榛名草津白根淺間等の火山を起し、一は富士火山帶にして、南より來り、豆南諸島となり、本土に入り箱

根山・富士山等を起して信越地方に向ふ。此等の火山地方は多く山秀て水清く、且温泉處處に湧出し、那須・鹽原・日光・草津・伊香保・箱根等其名高く、浴客常に群をなす。

關東平野は本邦第一の大平野にして、低き沖積地と波狀の丘陵地とより成り、利根川・那珂川・久慈川・荒川・多摩川・相模川・酒匂川等之を灌漑し、土地肥沃、農産豊かにして交通便なり。されば産業發達し、都邑甚だ多く、人口一萬以上のもの百餘に達す。諸川の上流は多くは傾斜急なれば、利根川・相模川・酒匂川等水力發電に利用せらるるもの多し。



利根川は坂東太郎と稱し、關東第一の大河にして流程七

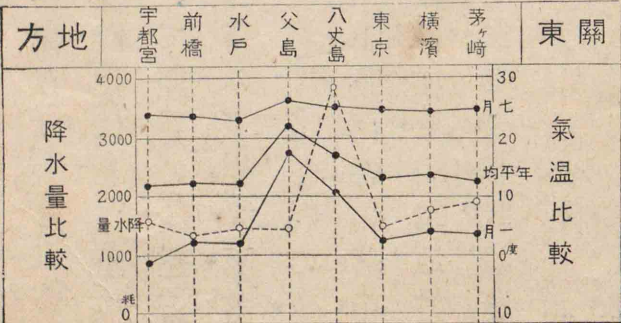
關東地方河湖の小汽船交通路、湖中淀は其淀泊地なり

河としての價值は灌漑積の廣きと運輸の便なると洪水の害少なきとにあり、利根川は前二條件を具ふるも水害多きを惜む。

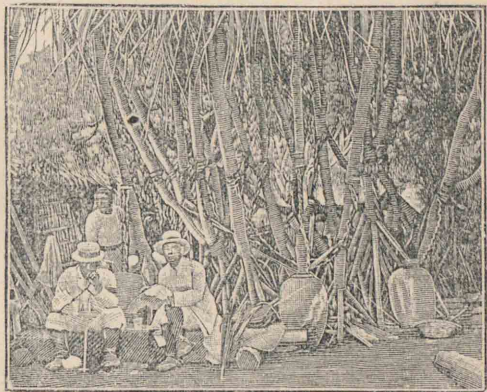
気温及び降水量比較

十三里・渡良瀬川・鬼怒川・小貝川・印旛沼・霞浦・北浦等の水を容る。江戸川は其分流にして、運河によりて中川・荒川と通じ、常總地方と東京とを連絡し以て水運に便す。此川はもと東京灣に注ぎしが、徳川幕府の初め、屢河道を改修し、遂に銚子に排水せしむるに至りしものなり。湖沼は、利根川下流の湖群の外、箱根・日光其他山地に多く、風光明媚なり。

氣候 北及び北西の山地は寒氣稍強く、霜雪來ること早きも、一般に寒暖中和を得たり。沿岸は黒潮に浴し、避暑・避寒に適し、小田原・大磯・茅崎・鎌倉・逗子・葉山・北條・勝浦・大洗等爲め



中硫黃島の夕
コの木
中硫黃島 純然たる熱帯地、湧水なければ圖の如く水瓶を樹下に置き雨水を導びき之を飲用に供す。



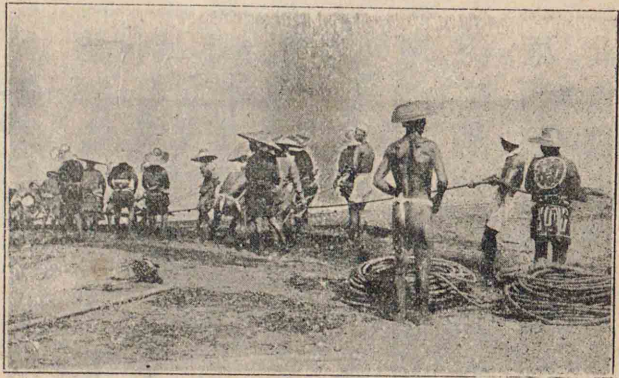
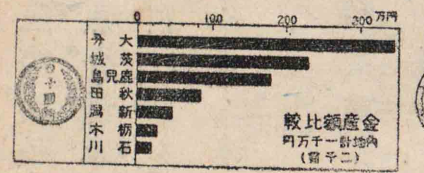
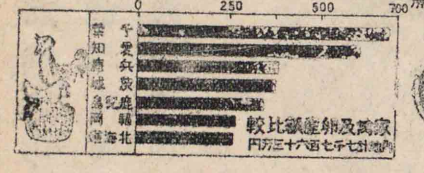
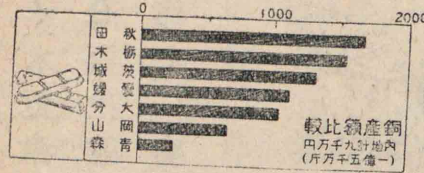
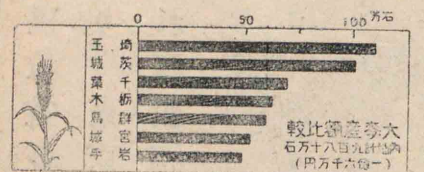
生甘藷、鹿沼附近の大麻、秦野水戸茂木附近の煙草、川越地方の甘藷亦名高く、東京横濱近郊に於ける野菜の栽培、利根下流地方の醸造業、豆南諸島の牧牛、製糖業等亦見るべし。北西部一帯の地は、多く桑を植ゑ、養蠶業を營む、從て生絲絹織物の産多く、桐生足利伊勢崎秩父八王子は絹織物、前橋高崎

中地理日本
中地理日本

は生絲を集散す。又京濱地方の紡績、織物、製紙、印刷、造船、機械の製造、製革、其他の工業、常總地方の養豚、養鶏等亦著はる。

沿海は屈指の好漁場にして、鱈、鯉、鮪

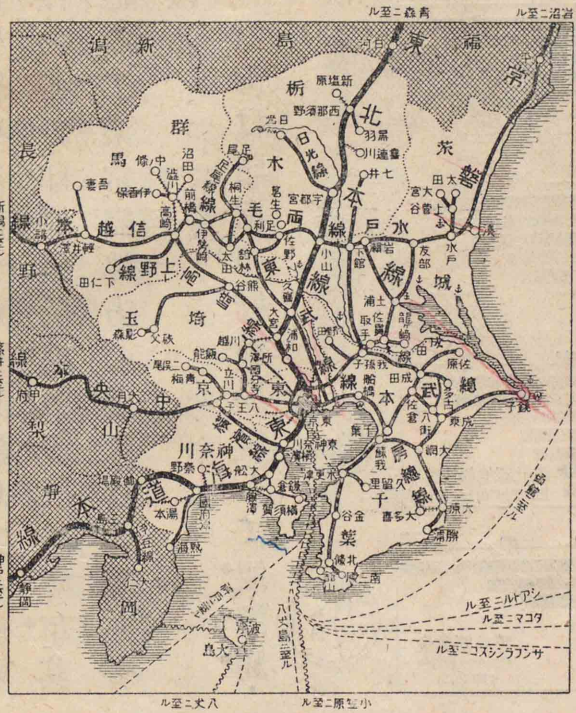
北條海岸の地
史綱



飛魚等の水産に富み、且京濱地方の大消費地を控へたれ

ば收益多く、木更津・北條・館山・三崎・銚子・湊等の漁港、爲に賑へり。東京灣頭は遠淺にして魚介・淺草・海苔の養殖盛に行はれ、産額亦多し。各河川の漁利は鮎を主とす。

鑛業は栃木・茨城兩縣を主とし、金・銀・銅の産額甚だ多く、日立足尾は世界屈指の大鑛山なり。又茨城縣の北部よりは、石炭・大理石・房總半島・神奈川縣の西部及び栃木縣の北西部よりは、石材



主要交通系

中地理日本
中地理日本

石灰岩はセメントの原料及び石灰となる。

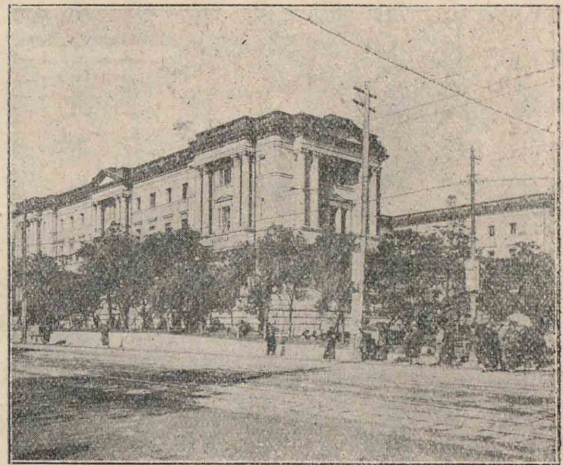
を産し、東京府の北西部よりは石灰岩を産す。

交通 交通機關は東京市を中心とし、鐵道は東海・東北・中央・總武・兩毛・信越・東武・成田等の諸線あり。電車・鐵道は東京・横濱を始め、小田原・鎌倉・川越・大宮・高崎・前橋及び附近の地方に發達す。水運は沿海諸港及び大河の下流に船舶の往來繁く、特に横濱は内外諸航路の中心に當り、艦船常に輻輳す。東京よりは、本地方の沿岸各地及び豆南諸島其他に船舶を通ず。銚子及び船橋には無線電信局ありて、前者は海上船舶と、後者は布哇及び米國と通信す。海底電線は、東京附近より發して太平洋を横斷し、米國に通ずるものあり。

第二處誌

關東地方は、現に中央政府の所在地たるのみならず、鎌倉幕府以來政治上の中心地となり、且産物多く交通便なれば、

人口密集し、特に南部沿海の商工業地、北部の機業地等都市の發達著し。東京市は武藏野の一隅に位し、隅田川に跨り、



地勢上、山ノ手(丘陵地)と下町(低地)とより成り、帝國の首府、東洋第一の大都會にして、行政上十五區に分れ、學藝・經濟・交通・商工業の大中心に當る。皇居は舊江戸城にして中央に位し、壯嚴を極め、其周圍には内閣・各省・帝國議會・議事堂・各國大使館・近衛第一兩師團司令部其他の諸官衙、日本銀行・勸業銀行・郵船會社等の諸會社多し。教育機關には、東京帝國大學を始め、諸大學・諸專門學校・圖書館・博物館

中地理日本

武藏野は月の入るべき山もなし草より出でて草にこそ入れ。(太田道灌)

日本銀行

東京市の十五區
京橋、日本橋、神田、麹町、芝、麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川、本郷、下谷、淺草、本所、深川

大正十年十月 國勢調査

二百一十七万
八王子市 八、七
八王子市 八、七
南千住町 三、八
王子町 三、五
西巢鴨町 三、一
品川町 三、一
澁橋町 三、一
瀧野川町 三、一
日暮里町 三、一
千駄ヶ谷町 三、一
千住町 三、一
大井町 三、一
大崎町 三、一

東京府都邑人口

東京市 二、三、四、一
澁谷町 八、七
八王子市 八、七
南千住町 三、八
王子町 三、五
西巢鴨町 三、一
品川町 三、一
澁橋町 三、一
瀧野川町 三、一
日暮里町 三、一
千駄ヶ谷町 三、一
千住町 三、一
大井町 三、一
大崎町 三、一

中地理日本

館等あり。工業地としては、綿絲・洋紙・織物・麥酒・印刷・藥品・兵器機械・雜貨等の大小工場市の内外に多し。鐵道は東京上野兩國橋各驛を起點として各地に向ひ、電車は蛛網の如く市内の延長二百哩に近く、尙近郊に通ず。遊覽地には、上野・淺草・芝・日比谷・向島・飛鳥山等あり。上野・飛鳥山・向島は櫻花に著る。市の周圍には、品川・澁谷・千駄ヶ谷・澁橋・西巢鴨・日暮里・南千住等の市街ありて外廓をなす。

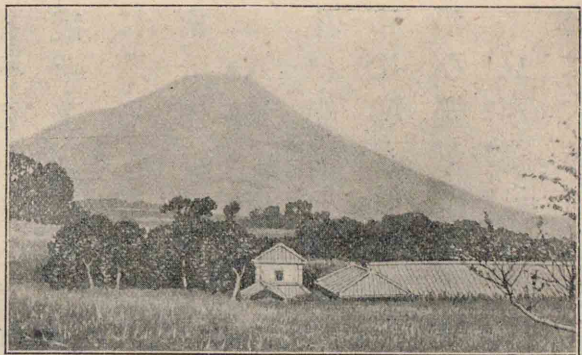
八王子市は、鐵道中央線に沿ひ、養蠶・機業の中心地にして生絲・絹織物等を産す。多摩川の上流、羽村より河水を東京市に導き飲料に供す、多摩川上水是なり。小金井は上水に沿ひ櫻花に名あり。青梅附近よりは、織物を産す。

豆南諸島とは、伊豆七島・小笠原列島等の稱なり。伊豆七島は大島・利島・新島・式根島・御藏島・三宅島・八丈島の各火山島

八丈富士の遠望

母島の甘蔗畑と砂糖製造場

二見港は太平洋横斷海底電線の中継所なり。



父島には二見の良港あり、歸化人居住す。硫黄列島は小笠原列島の南に在りて、北中南の三島より成り、甘蔗の産多し。附

より成り、古風の見るべきもの多く、甘蔗を栽培し、牧牛行はれ、椿油を産す、又近海水産多し。大島は氣候良好にして保養に適し、三原火山聳ゆ。八丈島には八丈富士峙ち、又絹織物を産す、小笠原列島は父母聳の三群島より成り、蒲葵、鳳梨、甘蔗等熱帯植物繁茂し、蠟龜、大蝙蝠棲息す。



中地理日本

中地理日本

近海底火山屢噴起す。

鐵路東京驛より東海道線に沿ひて進めば、川崎、鶴見、横濱、大船、藤澤、大磯、國府津を經、酒匂川に沿ひ、靜岡縣に向ふ。横濱市は東京の南西八里に位し、帝都の門戸をなし、神戸市と

共に我が二大開港場にして、各國領事館、正金銀行等あり、築港完成し、貿易の機關普く備り、生絲、羽二重、銅等を輸出し、繰綿、鐵類、羊毛、

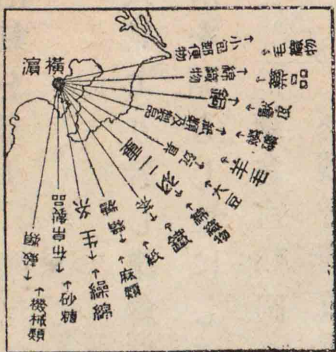
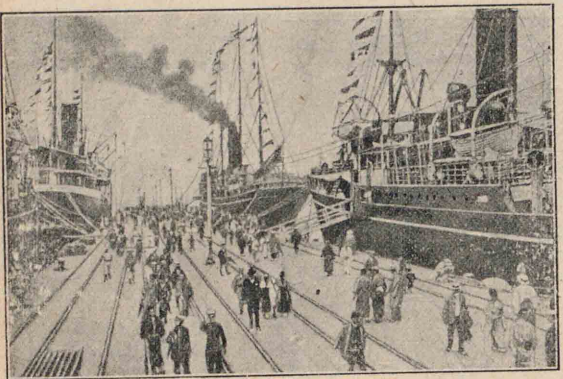
機械等を輸入し、船舶常に輻輳す。高等工業學校あり。附近、造船、電燈、鋼管、紡績、製

神奈川縣都邑人口

横濱市	四四六、一
横須賀市	七、四
小田原町	三、三
浦賀町	三、六
保原上ヶ谷町	三、九
川崎町	三、一
茅ヶ崎町	一、八、二
西澤町	一、七、六
鎌倉町	一、四、七

横濱港及び輸出入品

横濱は安政六年の開港なり。港の發達には津浦の完備、大都市との連絡、交通の改善等を要す。



總持寺は曹洞宗の
大本山なり。

鎌倉宮

(官幣神社)

祭神 大塔宮

鶴岡八幡宮

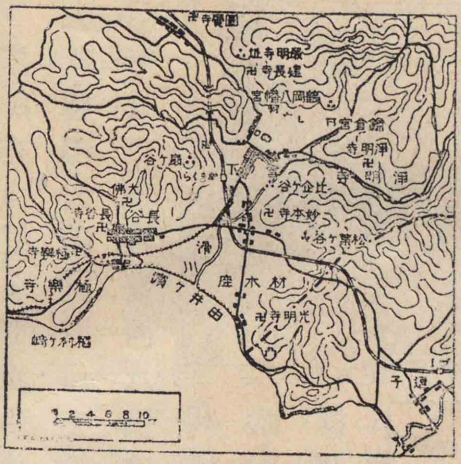
(國幣神社)

祭神 應神天皇

江ノ島は片瀬の對
岸に在る島嶼、辨
財天を祀る。干潮
時には砂路を歩し
て至るべし、今は
橋梁を架す。

鎌倉附近の圖

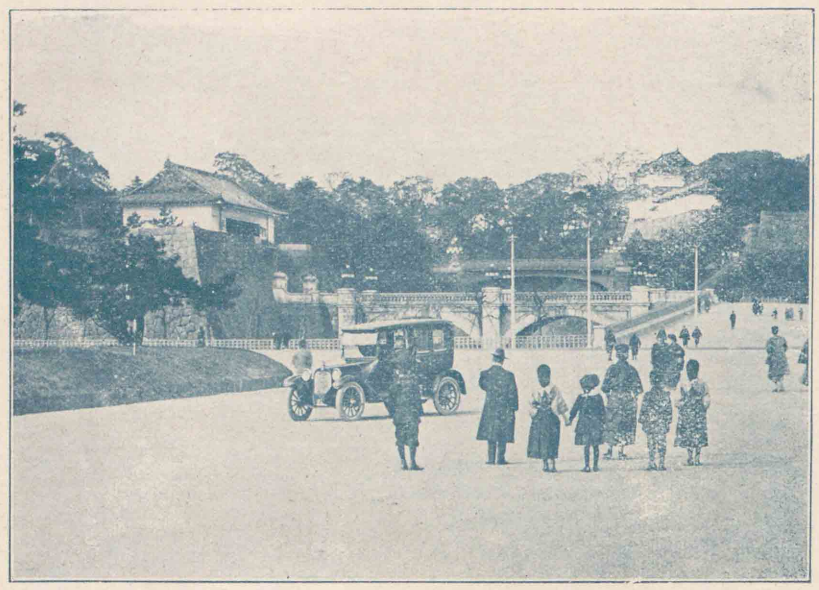
金澤文庫は同地の
稱名寺に在り故伊
藤公等夏島に於て
起草せる大日本帝
國憲法の材料は多
く金澤文庫に藏せ
らる、故に夏島は
一に憲法島と俗稱
せらる。



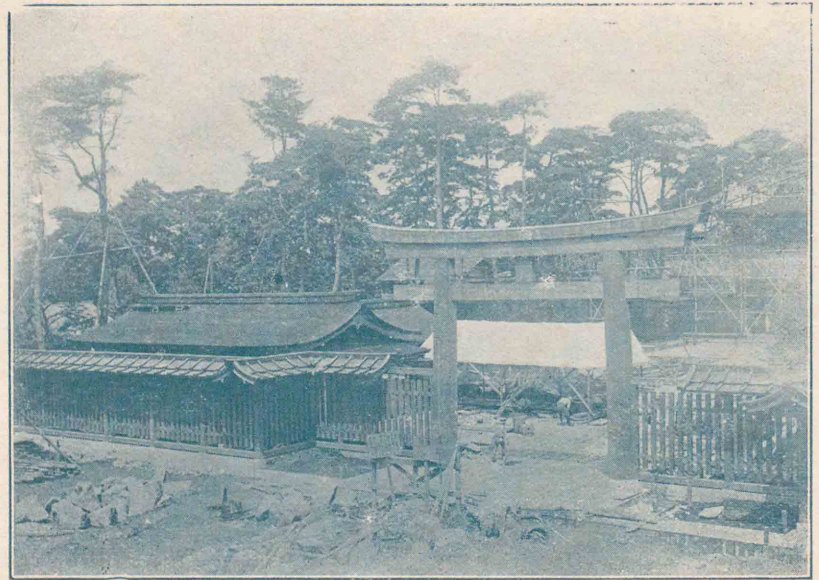
地として知らる。

粉等の工場勃興し活氣を呈す。鶴見に總持寺、川崎の南に
平間寺あり。
鐵道横須賀線は大船より發し、鎌倉を経て横須賀に達す。
鎌倉は源頼朝の幕府を開きし地にして、頼朝屋敷、北條屋敷、
鎌倉宮、鶴岡八幡宮、長谷の大佛及び觀音等名所舊跡頗る多し。
其東方に金澤、西に江ノ島の勝地あり。金澤は金澤文庫所在の地
にして、前方の夏島は大日本帝國憲法の起草地なり。相模灣の沿海
各地は、何れも海水浴地として夏季賑はへるのみならず、冬季避寒

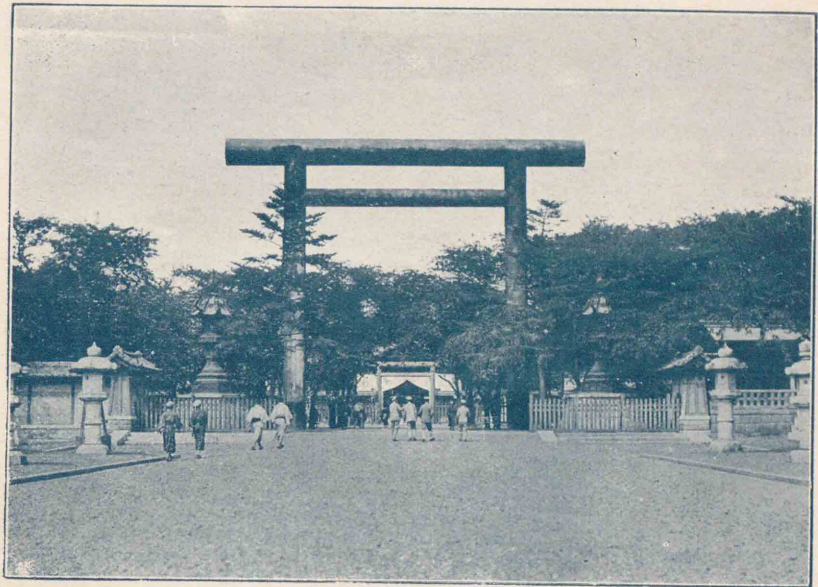
季賑はへるのみならず、冬季避寒



宮城の二重橋



明治神宮



靖國神社



東京の日本橋通

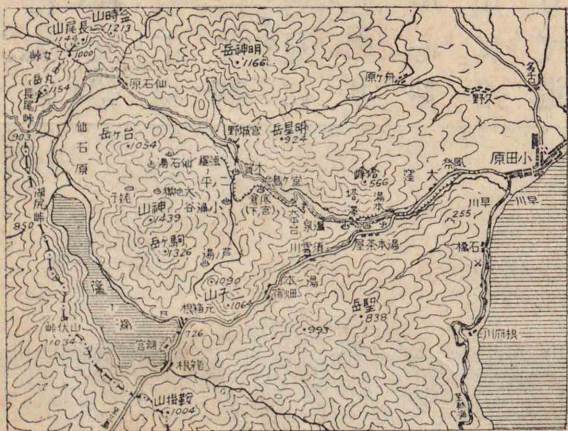
中地理日本

箱根山附近の

横須賀市は、鎮守府の所在地にして、其海軍工廠は規模宏大なり。又海軍機關學校あり。浦賀は其南東に位し、浦賀船渠あり、是に近き久里濱は、米艦の渡來により史上に著はれ、追濱には海軍の航空練習所あり。

箱根火山は神奈川縣の西境に在る勝地にして、舊火孔中に駒嶽神山等時ち、大涌谷・小涌谷・早雲地獄等の噴氣孔山腹に位し、湯本塔澤・底倉宮・下蘆湯・強羅等の温泉あり、又山上に湛へたる蘆湖は水清く、山水よく調和す。湖畔に離宮及び關址あり。

小田原は同山下の名邑にして氣候良好なり。



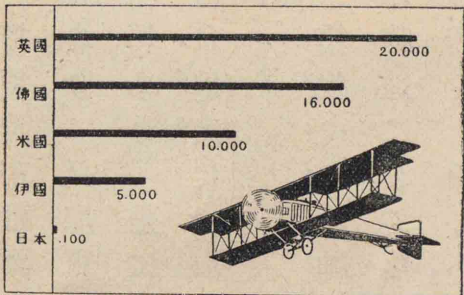
埼玉縣都邑人口 單位(千)

川越町	三六、二
熊谷町	三三、四
大宮町	一六、七
浦和町	一三、五
秩父町	二、九

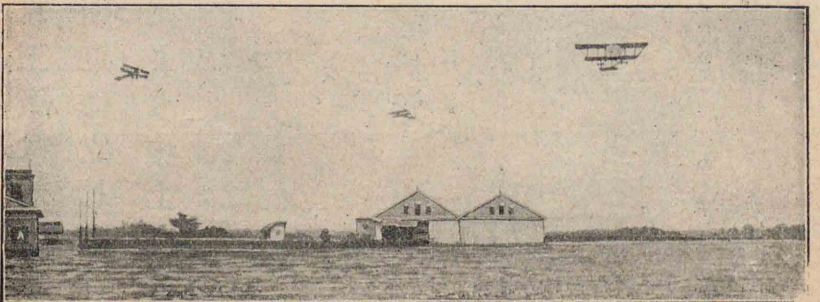
氷川神社 (官幣大社)
祭神 素戔鳴尊
外二神

下 沼澤飛行總練習所

上 較 國飛行機比



東京より鐵道東北本線によれば、浦和を過ぎ大宮を経て北に向ふ。高崎線は大宮より出て、東武線に並行し、熊谷にて秩父線と分れ、群馬縣に向ふ。大宮には鐵道工場、氷川神社あり、境内の公園は幽邃を以て稱せらる。北西の吉見には古代の遺跡百穴あり。熊谷は養蠶業の中心地にして、是より荒川に沿ひ、秩父鐵道によりて進めは、秩父絹の集散地たる秩父に達すべく、沿岸の風景亦佳なり。所澤



中地理日本

中地理日本

荒川長滯の奇勝

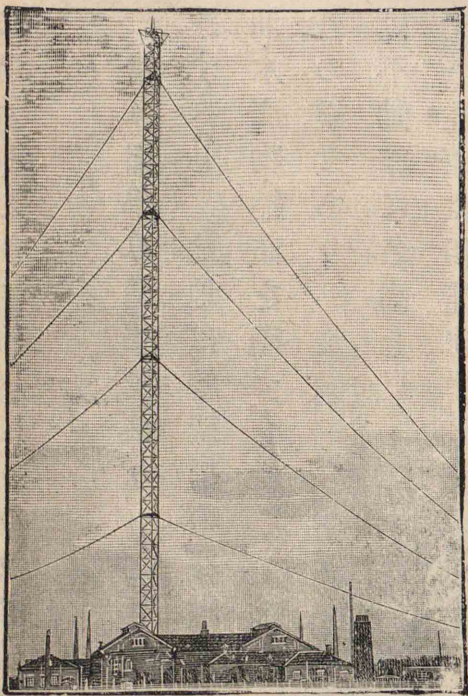
千葉縣都邑人口 單位(千)

千葉市	三三、二
本銚子町	一五、九
佐原町	一五、四
船橋町	一五、二
野田町	一三、九

船橋の無線電信局



部は山地多きも、北部は波状を呈する丘陵にして耕地多く農産



には陸軍の飛行學校あり。川越は大宮の西に位し、斜子織袴地等の産あり、其南方より茶を産す。東京より鐵道總武線によれば、船橋を経て、千葉に達すべし。千葉縣の南

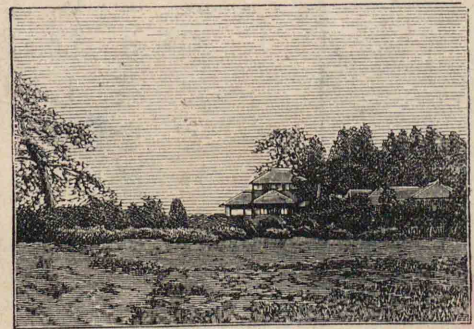
習志野は明治天皇の御命名あそばされたものなり。銚子及び船橋に無線電信局あり。伊能忠敬は初めて本邦實測圖を完成せし人なり東京芝公園内に記念碑あり。

香取神宮 (官幣大社) 祭神 經津主神

小湊は僧日蓮の誕生地なり。館山、北條は近時保養地として知らる。

常磐公園

に富む。又地形練武に適するより、江戸川以東の國府臺、習志野等には兵營多し。千葉は交通の要衝に當り、醫學專門學校あり。之より鐵路佐倉を経て銚子に達すべし。此地は總武線の終點にして、利根川口に當り、醬油、水産物、縮布を産す。佐倉に近く木内宗吾の靈堂あり。是に起れる鐵道成田線は、不動尊に名高き成田を経て佐原に達す。佐原は伊能忠敬の出身地にして、又醬油を産す、香取神宮是に近し。江戸川に沿ひ、松戸、流山、野田あり、松戸には高等園藝學校あり、流山は味淋、野田は醬油を産す。房總半島は漁港に富み、木更津、北條、館山は内海に面



中地理日本

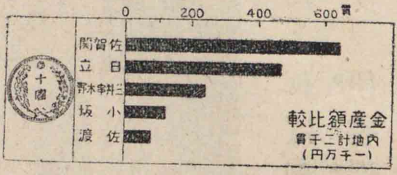
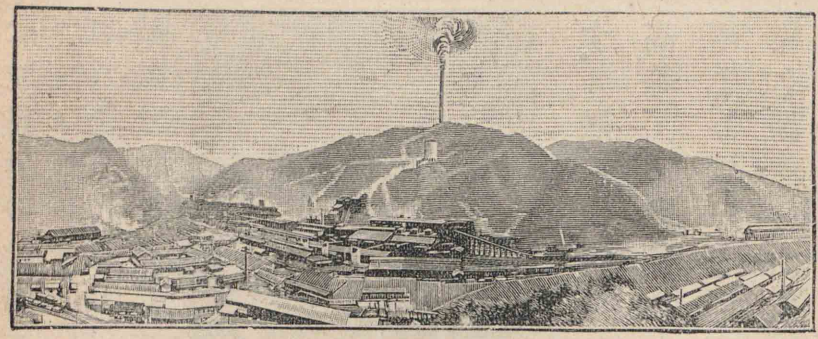
筑波山上には故山階宮殿下の設立せられたる測候所あり

茨城縣都鄙人口

水戸市	五三五
日立村	三二八
石岡町	一五〇
古河町	一四六
湊町	一四二
結城町	一三七
土浦町	一三六

日立鑛山は産額中には買鑛をも含む。

常磐神社 (別格官幣社) 祭神 神田光圀 徳川昭 吹く風を勿來 思へども道もせに散る山櫻かな。



し、勝浦、小湊は東岸にあり。鐵道常磐線により利根川を渡れば、土浦、石岡、友部、水戸を経、炭鑛地を過ぎて北方に向ふべし。土浦、石岡は霞ヶ浦湖上汽船の發著點にして、共に醬油、清酒を産す。水戸市は那珂川に臨み、徳川三家の一なる水戸家の舊城地にして、常磐公園、偕樂園、常磐神社、高等學校あり。日立鑛山は、金、銀、銅の精煉額甚だ多く、其以北の地には炭田分布す。又太田附近よりは寒水、石、煙草を産す。湊

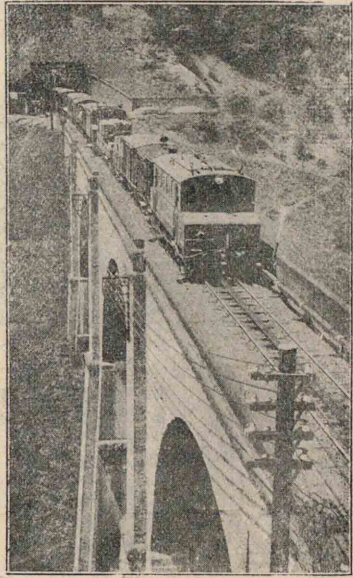
中地理日本

鹿島神宮
(官幣大社)
祭神 武甕槌神

群馬縣都邑人口

前橋市	五七、五
高崎市	四一、七
桐生市	三〇、五
館林町	一四、四
伊勢崎町	一三、九
富岡町	一〇、六
沼田町	一〇、〇

碓氷峠アプト式軌道



は鹿島灘の北部に沿ひ、水産物を集散す。北浦の東には鹿島神宮鎮座す。鬼怒川に近く、結城下妻水海道龍崎あり。結城は紬を産し、其西方に古河あり。

高崎市は鐵道信越線の起點にして、前橋市と共に繭生絲の取引多く、之より信越線によれば、安中及び礦泉地磯部を過ぎ、アプト式軌道によりて碓氷峠を登り、長野縣に達す。

榛名山、赤城山、妙義山を上州の三山といふ。

す。鐵道兩毛線によれば、前橋伊勢崎桐生を過ぐ。桐生に高等工業學校あり。伊香保は榛名山の中腹に位し、前橋高崎より電車を通ず。高燥なる温泉地なり。榛名山上には榛名湖、赤城山上には赤城湖湛へ、妙義山には洞門奇峰列立

中地理日本

中地理日本

妙義山の奇岩

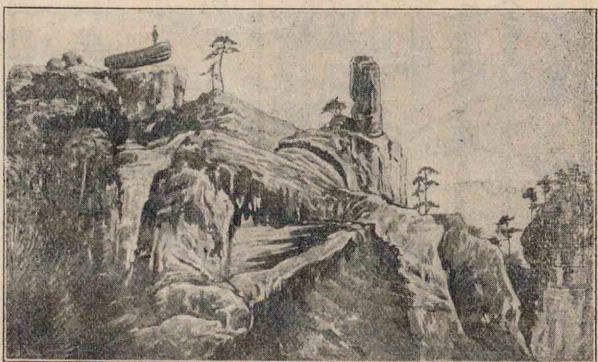
栃木縣都邑人口

宇都宮市	五八、五
足尾町	三三、七
足利市	三三、三
栃木市	二七、三
鹿沼町	一六、九
佐野町	一六、五
日光町	一六、四
田沼町	一三、二
小山町	一〇、六

唐澤山神社
(別格官幣社)
祭神 藤原秀郷

して共に風景佳し。鐵道東武線に沿ひ、館林あり、工業盛にして、製粉・モスリ等々の工場存す。

栃木縣の小山は、足利・佐野・栃木を経て來れる鐵道兩毛線と、東北本線との交叉點に當り、交通の便よく、足利は佐野と共に機業の中心をなし、有名なる足利學校文庫あり。佐野の北には唐澤山神社あり。宇都宮市は小山の北に位し、第十四師團司令部此處に近く、



東方遙に茂木あり、附近一帶煙草を産す。宇都宮市より鐵道日光線によれば、大麻の産を以て名ある鹿沼を経て日光に達す。日光には東照宮鎮座す、社殿宏壯にして壯麗比な

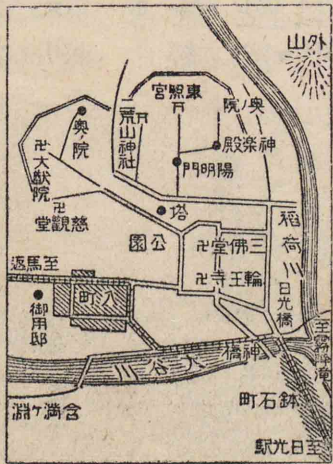
東照宮
(別格官幣社)
祭神 徳川家康

湯明門と華嚴
瀧



湖よりは鱒を産す。日光に電氣精銅所あり。日光の南西に足尾鑛山あり、銅産額本邦第一なり。鹽原は高原山下に、那須は那須山下に在り、共に温泉地にして又紅葉の名所なり。

第二章 奥羽地方



中地 日本

中地理 日本

第一 總説

行政区劃表

リヤス式の海岸は地形上津浪の害を被り易し。

位置 關東地方の北に位し、古の陸奥・出羽の地にして、本州の北東部を占め、北は津輕海峡を隔てて北海道に對す。行政上六縣に分る。

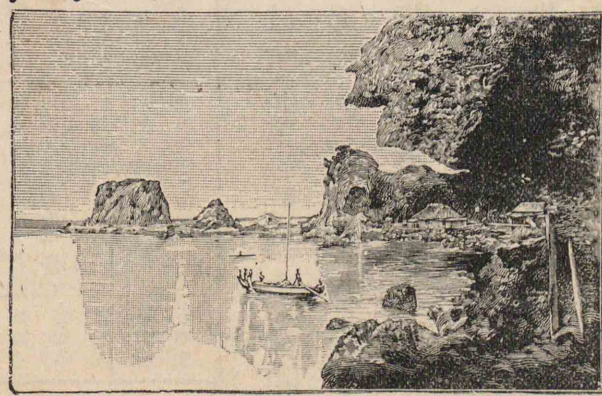
沿海 三方海洋に接し、沿岸線は屈曲少なく、日本海面には、男鹿半島突出して船川灣を擁し、津輕海峡面には、下北・津輕兩半島相對して陸奥灣を抱き、灣内更に青森・野邊地の兩灣に分る。太平洋面には、牡鹿半島出でて、其南西に仙臺灣あり、以北の沿岸は屈曲して鋸齒狀を呈し、所謂リヤス式の特徴を示す。地勢 三條の三脈平行して南北に走る。中なるは奥羽山脈にして分水嶺をなし、那須火山帶南より來りて其上に

縣名	管轄	所在地
福島縣	岩代全部、磐城大部、	福島市
宮城縣	磐城一部、陸前大部、	仙台市
岩手縣	陸中一部、陸前一部、	盛岡市
青森縣	陸奥大部、	青森市
秋田縣	羽後大部、陸中一部、	秋田市
山形縣	羽前全部、羽後一部、	山形市

重なれるより、磐梯・吾妻・安達太郎・岩手・八甲田・恐山等の高山は皆火山なり。吾妻・安達太郎・磐梯三山は近時の破裂を以て著はる。

奥羽山脈の東には、北上・阿武隈・兩山地あり、仙臺・灣兩山地を中斷す。西には出羽・丘陵・越後山脈ありて、最上川之を隔つ。岩木・火山帶其脈上に重なり、

岩木山、鳥海山、月山等の火山聳ゆ。此三列山脈の間に平野横はる。東なるは阿武隈・北上・馬淵三川

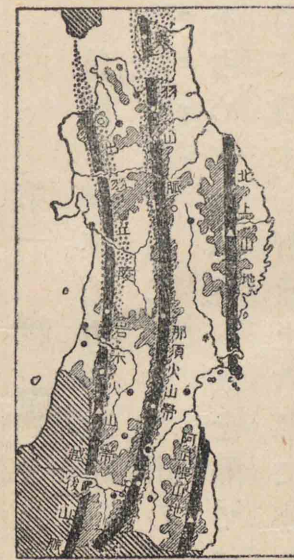


中地理日本

男鹿半島

磐梯山は會津富士、吾妻山は吾妻富士、岩手山は南部富士、鳥海山は出羽富士、岩木山は津輕富士の稱あり。

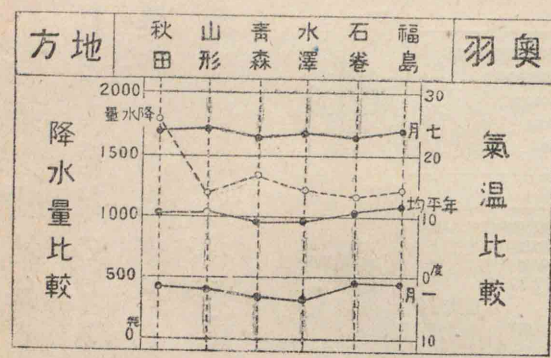
地勢及び都邑分布



猪苗代湖より磐梯山を望む

氣温及び降水量比較

五月雨をあつめて速し最上川(芭蕉)雄物川は別に御物川とも書し米代川は能代川ともいふ。



に沿へる縦谷にして、仙臺平野之が中部に位し、西なるは會津・米澤・山形・新庄・横手・大曲等の各盆地、庄内・津輕の各平野にして、阿賀・最上・雄物・米代・岩木の諸川之を排水す。湖沼には猪苗代湖・八郎潟・十和田湖・小河原沼等ありて、風景に富めるもの多し。



中地理日本

氣候 關東地方よりも寒氣強く、且其襲來早く、又陽春の來ること遅きを爲め、梅・櫻・桃李一時に開花する奇觀あり。冬季は積雪地表を閉ぢ、汽車屢不通となる。

一人に石五斤

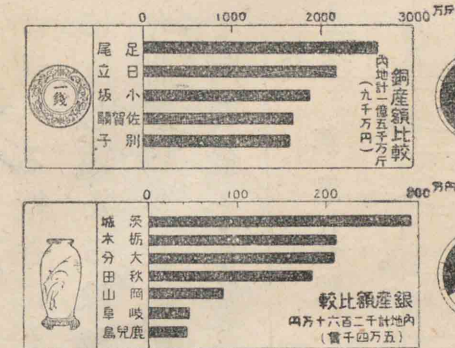
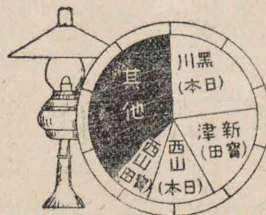
154万石、
160
192、
174、
100
5、

山城形
宮福山和青
山系 百五十万石

産業 耕地狭く、氣候上二毛作に適せざれども、産業の見るべきもの亦少からず。農産は米を主とし、北上阿武隈最上諸川の流域に多く、苹果・馬鈴薯の産亦多し。養蠶業は阿武隈最上兩河谷を主とし、福島川俣

石油産額比較

内地計二百四十万石
(三千万円)



は羽二重米澤仙臺附近は絹織業に著はる。牧畜業は各地に行はれ、南部駒三春駒の名特に著はれ、三本木七戸白河等にては軍馬を育成す。林産は北部に多く、秋田青森二縣の木材・羅漢柏杉を主とし、大館能代港等爲めに賑ふ。鑛産は其分布廣くして、小坂安部城

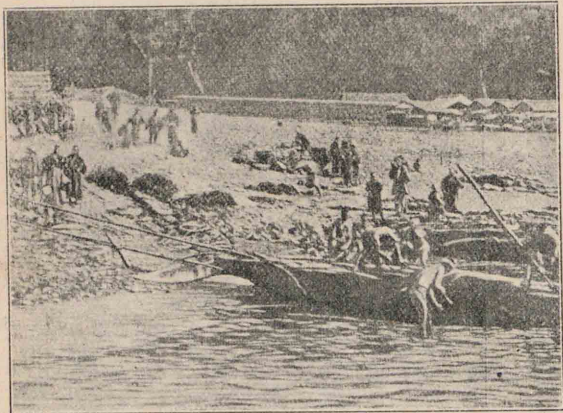
中地理日本

中地理日本

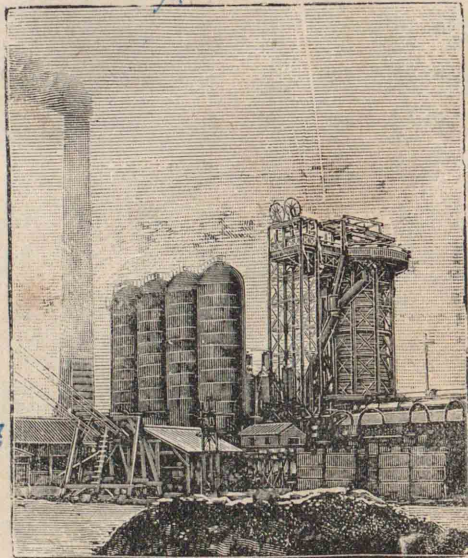
釜石の燐鐵爐

4七1万石

金華山附近の捕鯨

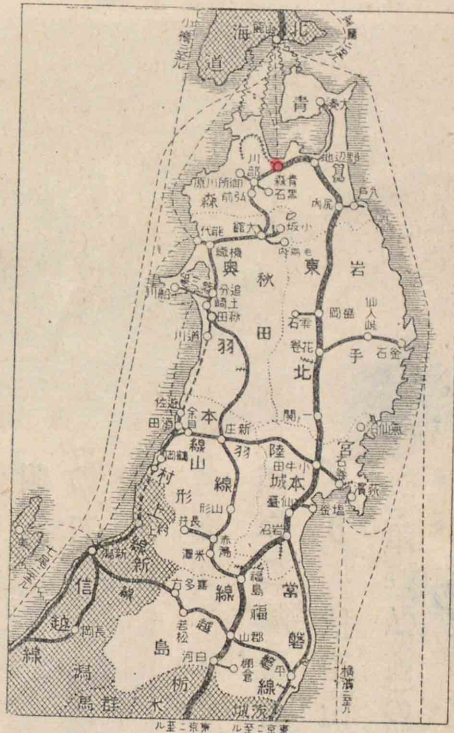


釜石の金、小坂尾去澤安部城、八盛荒川釜石大正の銅、小坂安部城八盛の銀、釜石の鐵、黒川の石油、沼尻の硫黄等著し



附近の石炭亦あり。水産物には東岸の鮪・鯨・鱈・鮭・青森灣の海扇・貝・古來名あり。秋田山形の木工細工、會津若松(津輕弘前)の漆器、會津相馬(中村)の陶器、津輕の蔓細工等亦著はる。

主要交通系



す。常磐線は東岸に沿ひ、岩沼に來りて東北本線と會し、磐越線は若松を経て郡山に來り、東北本線と交はり、平に至りて常磐線と會す。陸羽線は新庄にて奥羽本線と交はり、小牛田にて東北本線と會す。海運業は海上風波荒く、且良港乏しき爲め比較的發達せず。開港場には青森あるのみ。

交通 地形上東

西の交通甚だ不便なり。鐵道東北本線は、東部縦谷に沿ひて青森に至り、別に同線と福島にて分れ、兩羽を貫き來れる奥羽本線と會

中地理日本

中地理日本

第二處誌

奥羽地方は、人口の密度粗なるも、鑛業都市の比較的に多きを特色とす。鐵道東北本線は阿武隈平野を貫き、白河須賀川、郡山、福島を過ぐ。福島市は繭生絲羽二重蠶卵紙等の取引盛にして、北西に飯坂温泉、東方に靈山神社あり。郡山は工業發達し、製絲業を以て知られ、三春之に近く、白河は奥羽の關門に當る。若松市は會津盆地の中心に位置し、米、陶器、漆器、綿織物、絹織物を産し、喜多方は陶器、漆器を産す。猪苗代湖は磐梯山下に在り、其水を疏して灌漑發電に資し、電力を東京に送る。中村平は東岸の名邑にして、



福島縣郡邑人口

若松市	四、四〇〇
福島市	三、八、〇〇〇
郡山町	三、五、〇〇〇
平町	三、一、〇〇〇
白河町	一、九、〇〇〇
内郷村	一、五、八〇〇
須賀川町	一、一、〇〇〇
靈山神社	(別格官幣社)
祭神	北畠顯家親房等。
飯坂温泉	

都をばかすみと共に、出てしかど秋風ぞ吹く、白河の關。(能因法師)
飯盛山は若松市外にあり、白虎隊の墓存す。明治戊辰の役、藩主の爲め官軍に抗せし少年隊埋骨の處なり。

磐城無線電信局は
布哇、亞米利加に
直接通信す。

宮城縣都邑人口

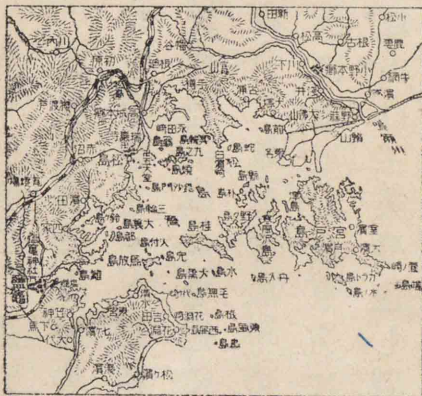
單位千

仙臺市 二五、八
石卷町 三〇、一
鹽竈町 二一、〇
古川町 一〇、四

第二師團司令部は
青葉城内に在り。

松島附近の圖

松島やあ松島や
松島や。(芭蕉)



平附近より石炭耐火煉瓦を産す。原町及び富岡には磐城
無線電信局あり。
鐵道東北本線は、福島より白石を過ぎ、岩沼にて常磐線と
會し、仙臺を経て北方に向ふ。仙臺市は伊達氏の舊城下に
して、東北帝國大學高等學校、第二師團司令部あり。市の内
外より亞炭を産し、燃料及び埋木細工原料となす。鹽竈は
仙臺の門戸にして、之より松島、石卷、
金華山に至るべし。松島灣には無
数の島嶼羅列し、老松之を飾り、風光
佳なり。石卷は米を集散し、荻濱は
北海道横濱と汽船を通じ、金華山島
は牡鹿半島と相對し、海上に屹立し、
航海者の好目標たり。北上川に沿

中地理日本

中地理日本

岩手縣都邑人口

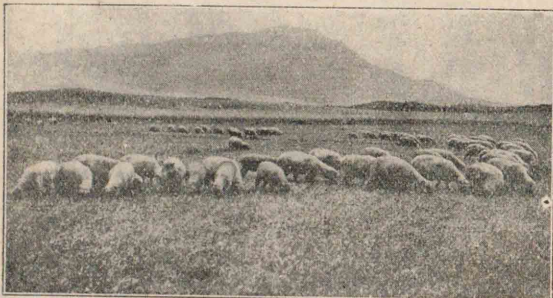
單位千

盛岡市 四八、〇
釜石町 三三、四
水澤町 二一、〇

小岩井農場

中尊寺は藤原氏の
菩提寺として有名
なり。金色堂の下
には藤原氏の遺骨
を置く。

へる小牛田より江合川に沿ひ古川を経て進めば、上流地に
牧場多く、又温泉各所に湧き、鬼首には間歇泉あり。
宮城縣より鐵道東北本線によれば、一關平泉、水澤、花巻、盛
岡を過ぎ、青森縣に入る。盛岡市は、南部の中心に位し、鐵瓶
苹果を産し、馬市開かる。高等農林學校
あり。岩手山下に小岩井農場あり。
一關は商業地として著はれ、平泉は藤原
清衡以下三代榮華の跡を留めし處、中尊
寺、衣川等の史蹟尙存す。水澤に緯度觀
測所あり。北上山地の東部は、外南部の
地にして陸上の交通不便なるも、宮古釜
石、大船渡等の漁港多く、水産に富む。釜
石は釜石鑛山の門戸をなす。



三三

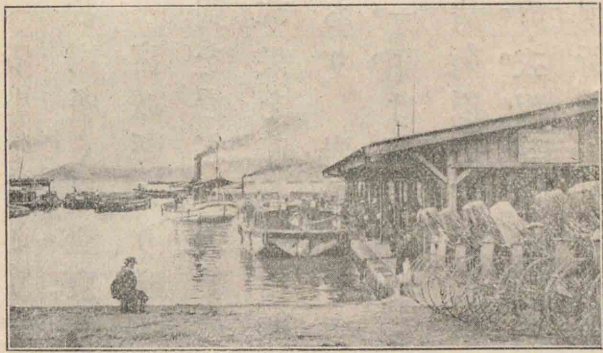
青森縣郡邑人口

單位(千)

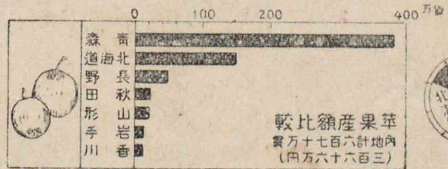
青森市	四九〇
弘前市	三六〇
八戸町	一七五
川内町	一七五
湊町	一〇一
野邊地町	一〇一

青森港

弘前に高等學校あり。



鐵道東北本線は盛岡より來り、尻内・野邊地を経て青森市に達す。八戸は尻内に近く、鮫・湊と相接す。青森市は青森灣に臨み、北海道に渡る要津なり。津輕半島には平館及び三厩あり。三厩は往昔、松前(北海道)渡航の要地たりし處なり。大湊に海軍要港あり。小河原沼附近は牧馬盛に行はる。弘前市は岩木川の上游に位し、第八師團司令部の所在地にして、附近一帶、津輕塗・蔓細工・苹果を産し、岩木川下流の地よりは泥炭を産す。十和田湖は鱒の養殖に名あり。



中地理日本

中地理日本

秋田縣郡邑人口

單位(千)

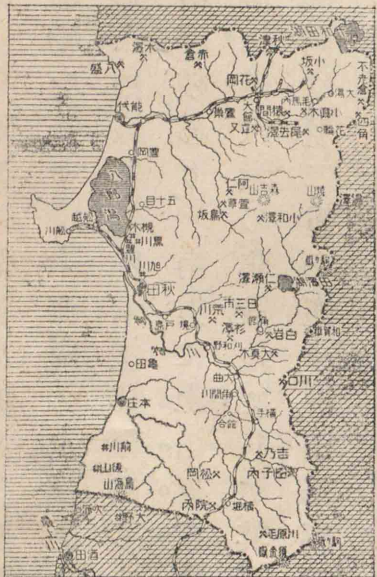
秋田市	四〇〇
能代港町	三二一
小坂町	二〇二
横手町	一六一
土崎港町	一七六
大館町	一四二

秋田鐵山分布圖

山形縣郡邑人口

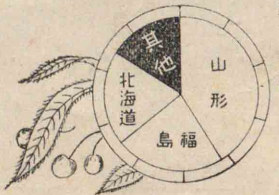
單位(千)

山形市	五九六
米澤市	四〇六
酒田町	三六一
鶴岡町	三三九
新庄町	一五八



鐵道奥羽本線により南下すれば、大館・土崎港・秋田・大曲・横手を過ぐ。秋田市は銀細工・絹織物・漆漬等を産し、鑛山専門學校あり。土崎港は石油の製造を以て著はれ、又米の積出多し。男鹿半島には寒風山聳え、沿岸風景甚だ佳なり。其南に船川港あり、船舶は是に風波を避く。

鐵道奥羽本線は、福島より板谷峠を過ぎ、米澤・山形・楢岡を経て、新庄に至り、酒田より來れる陸羽線と交る。米澤市は上杉鷹山公遺業の地にして、高等工業學校

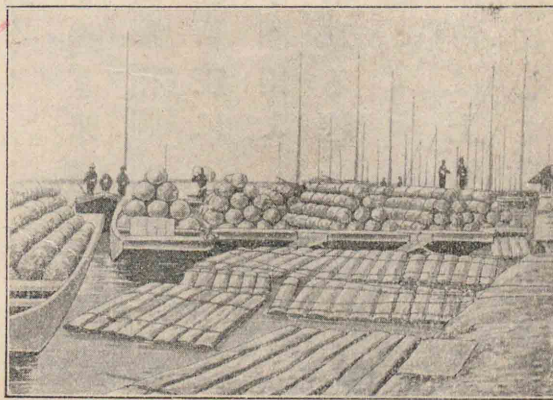


あり。附近一帯、養蠶・機業發達し、絹織物を産す。米澤織の名高し。山形市は鐵器・銅器・木工具の産多く、高等學校あり。南方に上・山・温泉あり。酒田港は米の集散地にして、其西方鶴岡は羽二重を産す。山形縣櫻桃の産額は全國比なし。

第三章 本州中部地方

第一 總説

位置 關東・奥羽・近畿三地方の間に位し、南は太平洋に、北は日本海に面す。行政上九縣に分る。
沿海 太平洋面は屈曲に富み、伊豆半島南に突出して駿



三六

中地理日本

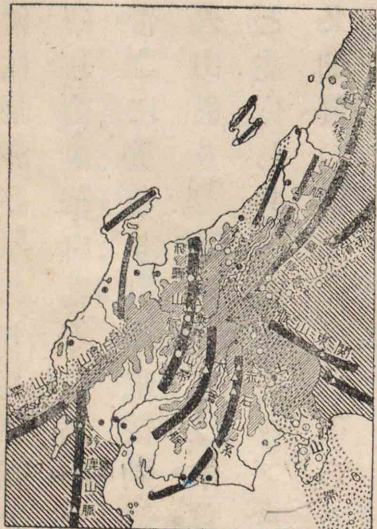
魚津
四十二年四月二十六日 院中

行政區劃表

縣名	管轄	所在地
靜岡縣	伊豆大部、駿河・遠江全部、尾張・三河全部、美濃・飛騨全部、甲斐全部、信濃全部、	靜岡市
愛知縣	尾張・三河全部、美濃・飛騨全部、甲斐全部、	名古屋市
岐阜縣	美濃・飛騨全部、甲斐全部、	岐阜市
山梨縣	甲斐全部、	甲府市
長野縣	信濃全部、	長野市
新潟縣	越後・佐渡全部、	新潟市
富山縣	越中全部、	富山市
石川縣	加賀・能登全部、	金澤市
福井縣	若狹・越前全部、	福井市

地勢及び郡邑分布

兩灣には時に蜃氣樓現はる。
地勢 本地方は南・北・西・東の會合點に當り、高山幽谷に富み、幅員亦廣大なり。富士・八嶽・妙高・燒山等の火山崛起



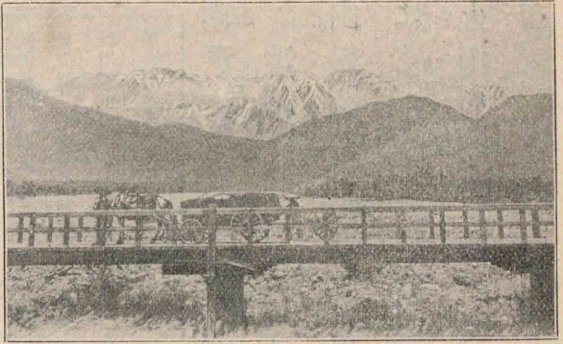
中地理日本

立山の主峰は火山にあらず。

日本アルプス

北日本アルプス (飛騨山脈)
中日本アルプス (赤石山脈)
南日本アルプス (木曾山脈)

信濃川は内地第一の大河にして長さ九十三里あり。



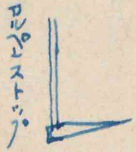
す。中央部には飛騨高原あり、其東端を飛騨山脈と稱し、槍蓮華白馬等の高峰聳え、乗鞍火山帯之に重なり、御嶽乗鞍嶽燒嶽立山等の火山あり、赤石山系は木曾飛騨兩山脈と並行し、共に日本アルプスの稱あり。又加賀の境上には白山あり、其脈南西に走りて白山火山帯をなす。東境には關東山脈越後山脈あり。河流は中央高地に發し、放射狀をなし、信濃黒部神通射水九頭龍等は日本海に入り、富士大井天龍木曾等は太平洋に注ぐ。此等の諸川は其下流に肥沃なる平野横はるもの多し。就中濃尾越後富山福井等を主とす。

中地理日本

中地理日本

米産額

新潟 三〇六〇石
愛知 二〇六〇〇石
富山 一六九〇〇石
長野 一〇五〇〇石
静岡 三三〇〇〇石
岐阜 二一五〇〇石
石川 二一五〇〇石
福井 一〇四〇〇石
山梨 四〇〇〇石
全國 六十八萬石



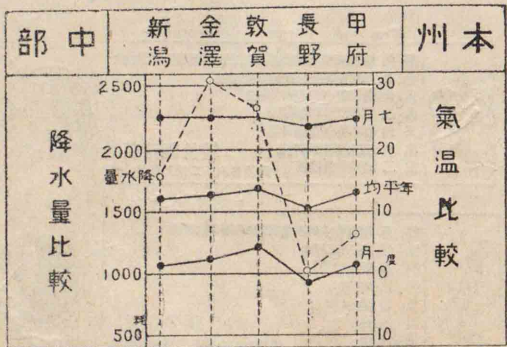
気温及び降水量比較

高田のスキー

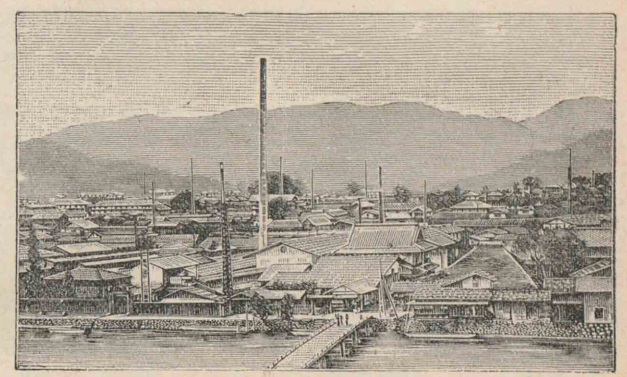


気候 中央の高地は寒氣強く、太平洋面は氣候溫和にして、熱海沼津蒲郡等保養に適する處多く、日本海斜面一帶は冬季雨雪量多く、積雪丈餘に及ぶ處ありて、勇壯なる氷滑の技盛に行はる。

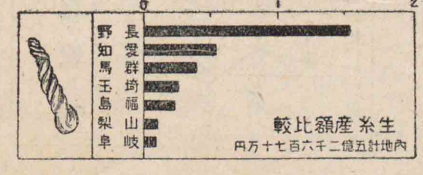
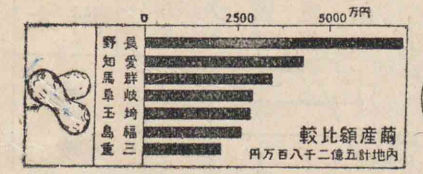
産業 區域廣大なるを以て、各地産業交通等の趣一樣ならず。農業は各地に發達し、米は濃尾越後等の平野に多く、新潟愛知兩縣之が主たり、濃尾平



長野九二五石
 愛知五二〇〇〇〇
 岐阜三八〇〇〇〇
 山梨二七〇〇〇〇
 静岡二二〇〇〇〇
 新潟一〇〇〇〇〇
 福井五〇〇〇〇
 石川五〇〇〇〇
 富山少額
 生絲産額 長野九二五石
 長野三億五九〇〇〇円
 愛知九八〇〇〇〇円
 新潟一〇五〇〇〇〇円
 静岡二〇五〇〇〇〇円
 山梨一八〇〇〇〇〇円
 岐阜三〇五〇〇〇〇円
 福井六二〇〇〇〇円
 石川二〇〇〇〇〇円
 富山一〇〇〇〇〇円
 富山製絲工場



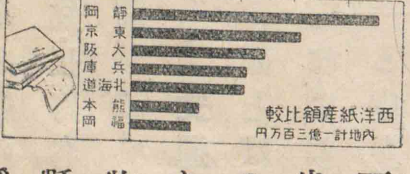
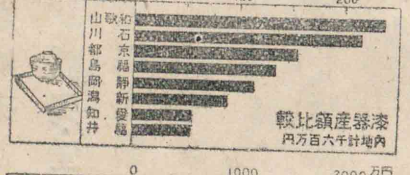
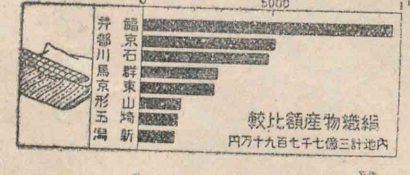
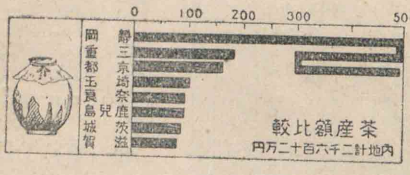
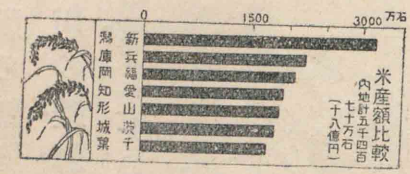
野の野菜、静岡縣の茶、蜜柑、山梨縣の葡萄等産額多し。林業は木曾の御料林を主とし、檜、杉等の良材を産す。又内野、愛知兩縣を主とし、機業亦各地に發達し、福井、石川兩縣の羽二重、山梨縣の甲斐絹、愛知、福井兩縣の縮緬等産額多し。生絲、羽二重は我が國の主要輸出品なり。又木綿織は愛知、静岡兩縣を主とす。鑛産中、新潟縣の石油は産額比



中地理日本

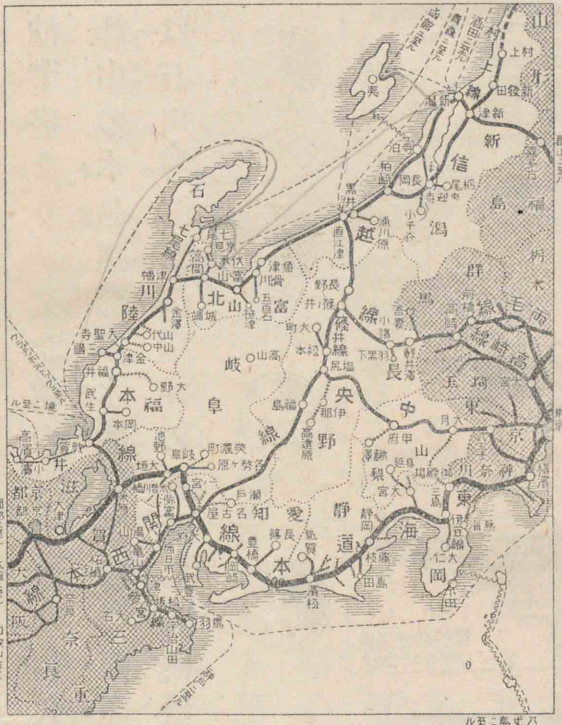
福井六二〇〇〇
 石川二〇〇〇〇
 富山一〇〇〇〇
 富山製絲工場
 秋田
 黒部の水鉛鑛は全國第一の産額ありしが目下休業より。

なく、東山、西山、新津等油田多く、新潟、新津、長岡、柏崎、直江津等製油業盛なり。又北越の鐵、佐渡の金、久根の銅及び硫化鐵、金峰山の水晶、黒部の水鉛鑛、飛驒の銀、亞鉛、鉛亦著はる。漆器は石川、静岡、新潟、福井の各縣に、陶器は愛知、岐阜、石川の各縣に産す。



又静岡縣の西洋紙、駿河の美濃紙、名あり。水産物には静岡縣の鯛、鰹、節、静岡、愛知兩

縣の鯉、鱒、石川、福井兩縣の鯛之に次ぎ、富山縣の螢、烏賊、信濃川の鮭、鱒、長良川の鮎、名あり。静岡、愛知、長野各縣の水産養殖業亦見るべし。



交通 南部と北部とは、鐵道の發達により交通便利なる處多く、中央高地は冬季積雪中却て運搬に便なる處あり。鐵道は東海道、信越、北陸の三線殆ど中央高地の周邊を一週し、中央線は

中地理日本

中地理日本

東京より來り、中部を貫き名古屋に至りて東海道線に會す。海運業は特に太平洋面に發達するも、日本海面は冬日風波荒きを缺點とす。開港場には、敦賀、七尾、伏木、新潟、夷、清水、武豊、名古屋あり。

第二 處誌

地形上都邑の發達は、太平洋面に密にして、日本海面之に次ぎ、内部に粗なり。

鐵道東海道線は小山(駿河驛)御殿場、三島、沼津、静岡、焼津、濱松を過ぎ、濱名湖口を経て西に向ふ。小山に富士瓦斯紡績會社の大工場あり、大宮は富士山下に位し、淺間神社あり、附近に富士製紙會社工場あり、共に工業都邑なり。伊豆半島は熱海、修善寺、伊豆山、伊東の温泉地多く、下田は開港史上に著はる、又韭山、蛭、小島等の舊跡地多し。沼津、田子、浦、清見、潟

静岡縣都邑人口	
都邑	單位(千)
静岡市	七、四
濱松市	五、〇
大宮町	一、八、四
島田町	一、八、〇
沼津町	一、七、四
小山町	一、六、一
三島町	一、四、〇

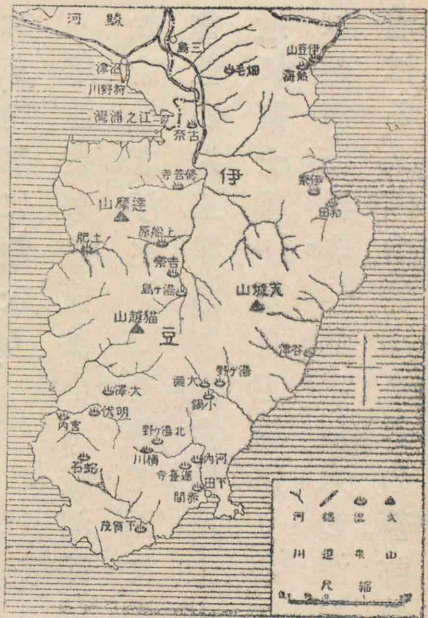
淺間神社 (官幣大社)
祭神 木花咲耶姫命

伊豆半島西岸の戸田は初めて西洋船を造りし地なり。下田は安政年間日米下田條約締結の地吉田松陰米艦に乗船せんとして捕へられし處。

伊豆の温泉と火山分布

世の人はよしあし事もいはばいへ賤が誠は神ぞ知るらん。(吉田松陰) 田子の浦ゆ打ち出て見ればましろにぞ富士の高ねに雪はふりける。(山邊赤人)

仙客來遊雲外巖、神龍栖老洞中淵、雪如執素煙似柄、扇倒懸東海天。(石川丈山) 東照宮 (別格官幣社) 祭神 徳川家康 三方原 武田信玄、徳川家康を破りし處



下に數多の湖沼横はり、山容の秀麗比類なし。静岡市はもと駿府と稱し、漆器竹細工を産し、製茶和紙の取引行はれ、茶は清水港より輸出す。市の東方久能山に東照宮鎮座す。濱松市は樂器帽子形染を産し、天龍川は木材運搬の爲めに活氣あり、此上流に秋葉神社久根鑛山あり。濱名湖は風景よろしく東方に三方原あり。

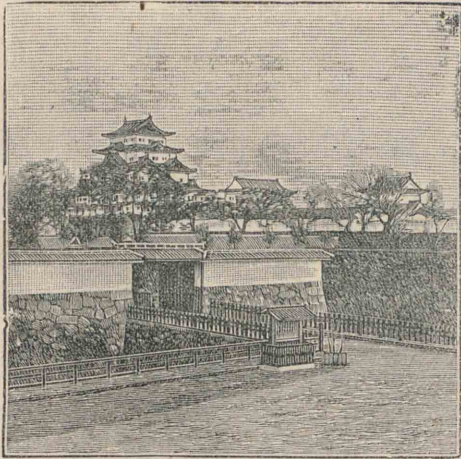
中瀨尾日本

中瀨尾日本

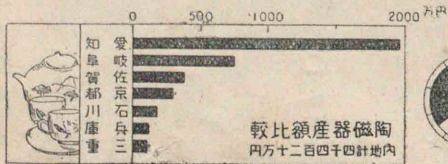
名古屋城

愛知縣郡邑人口

名古屋市	四三、七
豊橋市	六四、三
岡崎市	三九、七
一宮町	三六、三
愛知町	三六、二
瀬戸町	三三、三
安城町	一八、四
中村	一六、六
半田町	一五、六
龜崎町	一三、〇
蒲郡町	二、五
熱田神宮 (官幣大社) 祭神 草薙寶劍	



の集散地なり。市の内外に控訴院、醫科大學、高等學校、高等工業學校、高等商業學校、醫學專門學校等あり。熱田は名古屋市の一部にして熱田神宮鎮座し、名古屋港を控ふ。港内淺きを缺點とす。犬山は市の北方に位し、附近木曾川沿岸は風景掬す



桶狭間は織田信長
戦勝の地。
小牧山は徳川勢是
に據りて羽柴の軍
を破りし處。
長篠は織田信長及
び徳川家康が武田
勝頼を破りし地。

岐阜縣郡邑人口

(單位千)

岐阜市 五七・一
大垣市 三三・二
高山町 一八・二
中津町 一四・一
船津町 一〇・七
多治見町 一〇・一
養老は公園地にし
て孝子旗表の瀑と
稱するものは本瀑
にあらずして菊の
水と稱する小瀑な
り。
關原は天下分け目
の戦争地なり。

べく、一宮は近時商業著しく發達し、瀬戸は陶器を、有松・鳴海は絞染を産す。知多半島の半田・龜崎は醸造盛にして、常滑は陶器を産す。愛知縣は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の出身地にして、桶狭間・小牧山・長久手・長篠等の史蹟多し。岡崎市は徳川家康の生地にして、綿絲・綿布の取引多く、豊橋市は綿布を産し、市外に第十五師團司令部あり、豊川鐵道ここに發し、豊川稻荷を経て長篠に達す。

岐阜市は、鶉飼に名高き長良川に臨み、金華山を負ひ、提燈團扇を産し、美濃紙の集散地なり。附近各務原に陸軍飛行練習所あり。岐阜より鐵路東海道線によれば、大垣・關原等を過ぎ、滋賀縣に向ふ。大垣市は米の集散多く、南西に養老あり、飛爆懸り地域幽邃なり。關原は徳川・石田兩氏の大戦場として著はる。鐵道中央線沿道は陶土に富み、窯業行は

中地理日本

中地理日本

長良川の鶉飼

山梨縣郡邑人口

(單位千)

甲府市 五八・五
増穂村 一〇・三

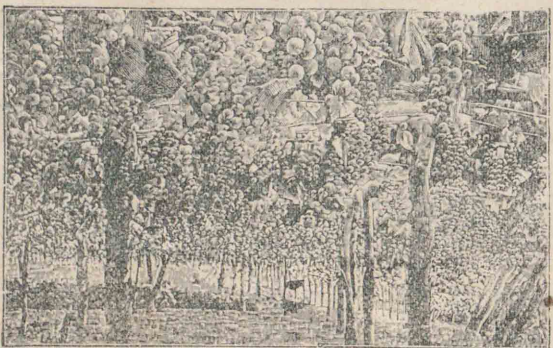
葡萄園

笹子隧道は長さ一
萬五千尺なり。
桂川には水力發電
所數箇あり。京濱
地方等に電力電光
を供給す。



る。多治見は之が中心地なり。飛驒の中心には高山あり、生絲・紙・漆器を産す、水松細工の原料地たる位山、之に近く、北方の船津に神岡鑛山あり。神通川の上流に沿へる白川村は、毎戸數十人を容れ、一村戸數を増さざるを特色とす。

鐵道中央線は關東



より來り、山梨縣に入り、甲斐絹の産地を過ぎ、笹子峠の大隧道を貫き、甲斐盆地に入り、勝沼・甲府を経て長野縣に向ふ。桂川は水力電氣事業盛なり。甲府市は養蠶機業の中心地にし

身延山久遠寺は日蓮宗の總本山なり

柱川發電所

長野縣都邑人口

單位千

松本市 四八、三

長野市 四〇、七

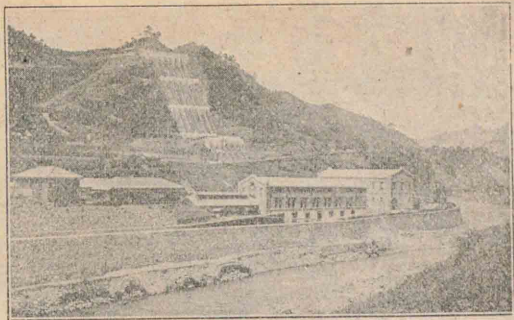
上田市 三〇、一

飯田町 一七、七

平野村 一七、五

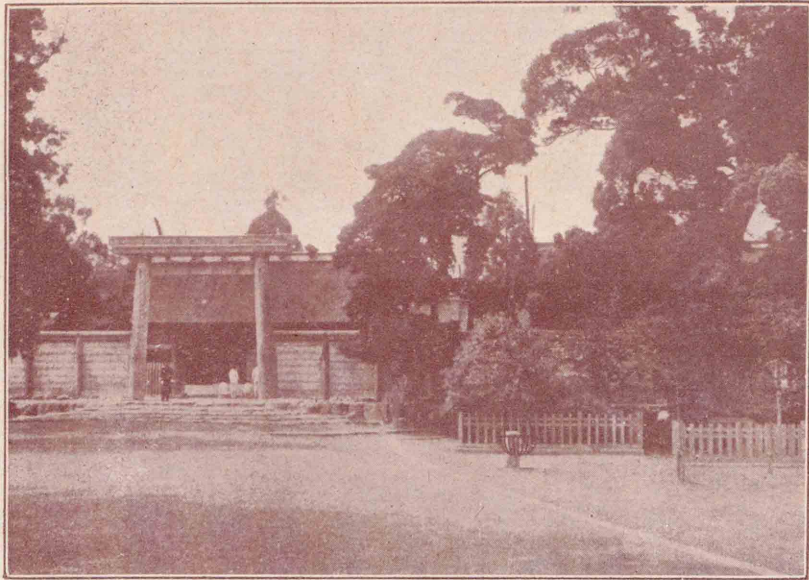
上諏訪町 一七、二

川中島は武田、上杉兩氏の古戰場なり。

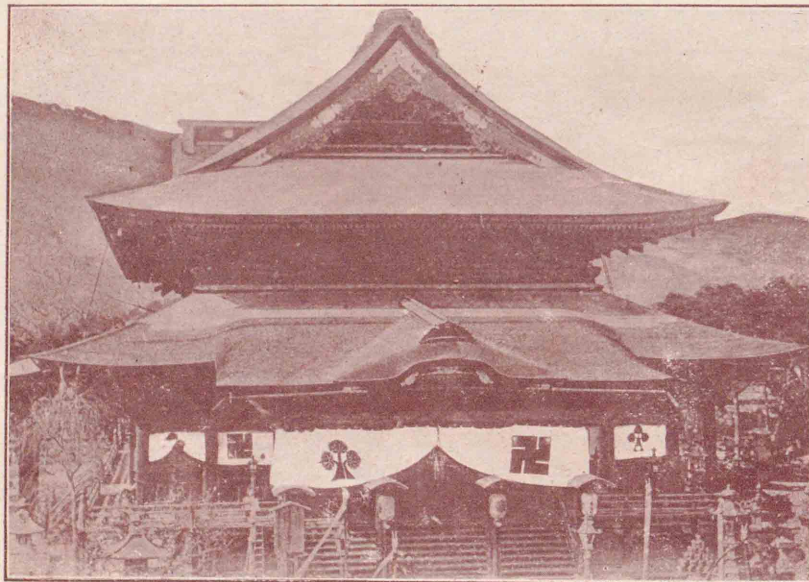


て、又水晶細工・葡萄酒を産す。市の北方に御嶽あり、奇峰峙ち溪流清し。カシカマ 鰍澤は富士川水運の起點に當り、扁舟半日にして駿河の岩淵に達す。河西に身延山久遠寺あり、富士驛より汽車の便開けたり。長野縣の地は、數多の山脈通じ、其間に善光寺・平諏訪・平佐久・平松本・平伊那・平等の小盆地散在す。鐵道信越線は輕井澤・上田・篠井・長野を経て新潟に向ひ、篠井線は篠井に發し、松本を經、鹽尻に至りて中央線に會す。長野市は善光寺を以て知られ、信濃川を隔てて川中島と對す。輕井澤は淺間山下の高地、海拔約千米に在り、盛夏の候避暑客群をなす。上田市は養蠶業盛大にして蠶絲専門學校あり。

中地理日本



熱田神宮



長野の善光寺

り。松本市は養蠶業の中心地に當り、高等學校あり。諏訪

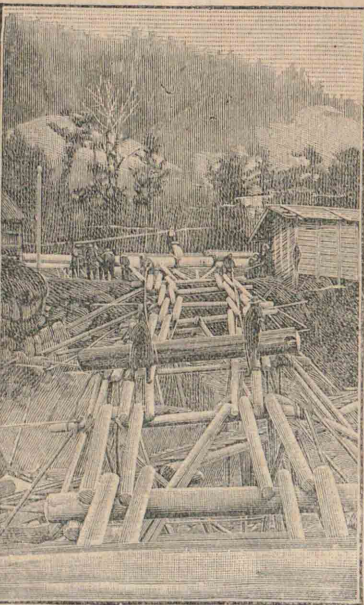
湖は冬季結氷し、氷滑の技盛に行は
る。附近、養蠶製絲最も盛にして、岡

谷は製絲額全國に冠たり。

天龍川の流域に高遠飯田あり、飯

田は元結を産す。木曾川には、寢覺

の床、木曾棧道の勝あり、左岸に在る



上 諏訪湖

諏訪神社は上下の諏訪町にあり、軍神とし、四民の尊崇大なり。

下 木曾の木材伐り出し

源義仲は木曾山地に成長せり。

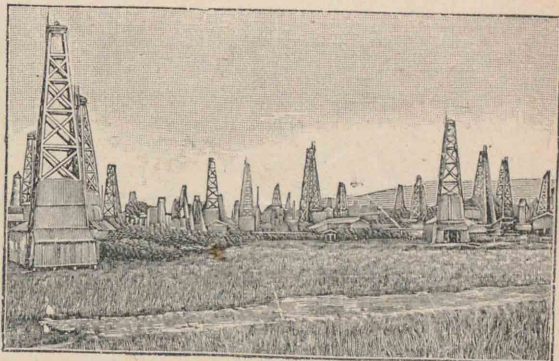
出づる峰入る山のはの近ければ、木曾路は月の影ぞ短き。

(鴨長明)

越後の油田

新潟縣都邑人口

新潟市	九六、六
長岡市	四一、七
高田市	三〇、八
三條町	一九、一
加茂町	一八、二
新發田町	一七、九
新津町	一五、五
寺泊町	一三、八
直江津町	一三、七
五泉町	一一、五
相川町	一一、七
柏崎町	一〇、一



福島は、木曾地方の中心地なり。
 鐵道、信越線は新潟縣に入り、高田・直
 江津・柏崎・長岡・三條・新津を経て新潟に
 達す。新潟市は信濃川の口に位し、佐
 渡の夷を補助港とす、高等學校、醫學專
 門學校あり。佐渡島は相川を首邑と
 し、金無名異焼を産す、眞野灣頭には眞
 野御火葬場、眞野神社あり。新津は磐
 越村上兩鐵道の起點に當り、之に隣れ
 る五泉は袴地(五泉平)を産す。新發田・村上は村上線に沿へ
 る都邑なり。新潟・柏崎間の越後鐵道に沿ひ、寺泊・出雲崎・あ
 り。長岡市は水陸の便よく、石油・米の取引多し。是に近き
 小千谷は上布・枋尾は紬を産す。直江津より鐵道北陸線に

中地理日本

上

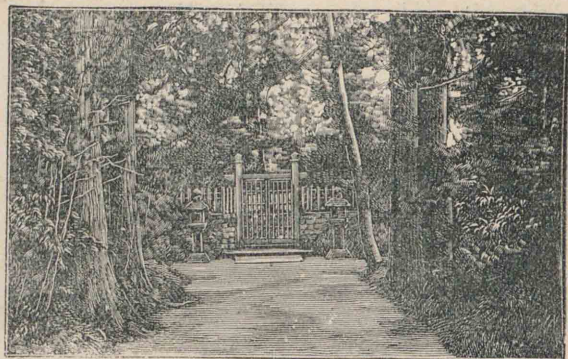
眞野の御火葬場

下

伏木港

富山縣都邑人口

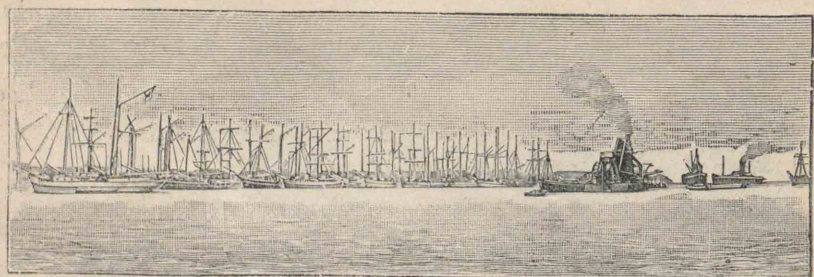
富山市	七三、〇
高岡市	四〇、五
新湊町	三〇、二
水見町	一四、七
魚津町	一三、八



業に著はれ、行商を内外に派す、藥學専門學
 校あり。魚津は漁港として知られ、水産物
 多く、高岡市は銅器・漆器を産す。中越鐵道
 に沿へる伏木港は小矢部河口に位し、米の

よれば、親不知を経て
 富山縣に向ふべし。
 高田市に第十三師團
 司令部あり。

富山縣には、魚津・富
 山・高岡ありて、鐵道、北
 陸線に沿ふ。富山市
 は神通川に跨り、羽二
 重を産し、又古來製藥



中地理日本

氷見の洞窟は人類學上最も貴重すべき遺物數多を出せり。

石川縣郡邑人口

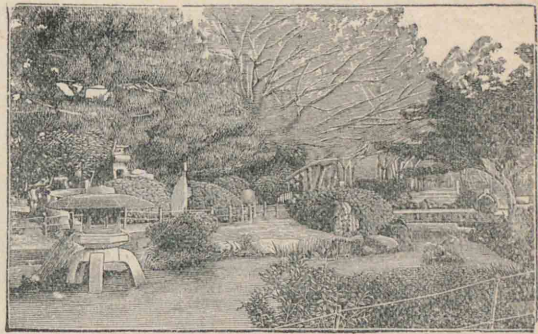
單位千

金澤市 一五、六、三
小松町 一、五、八
輪島町 一、三、〇
七尾町 一、三、八

兼六公園

俱利伽羅峠は木曾義仲平軍を撃殺せし處。
義仲のねざめの跡や月寒し。(芭蕉)
金澤に高等工業學校あり。

白山



九谷焼・硬質陶器・銅器等を産す。兼六公園・第九師團司令部・高等學校・醫學專門學校等あり。七尾は同名の灣に枕む、和倉温泉是に近し。小松・大聖寺は羽二重・九



中地理日本

中地理日本

福井縣郡邑人口

單位千

福井市 五、九
敦賀町 一、九、四
武生町 一、八、二
大野町 一、〇、〇

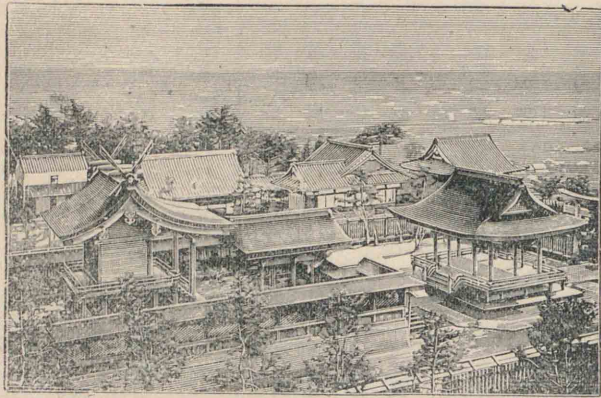
上 藤島神社

(別格官幣社)
祭神 新田義貞

下 敦賀港

敦賀浦鹽斯德間の航路は約四十時間を要す。

氣比神宮 (官幣大社)
祭神 神功皇后
外六神



生・敦賀を過ぎて滋賀縣に向ふべし。武生附近は蚊帳紙を産し、敦賀は浦鹽斯德と定期船を通じ、歐洲に至る最近



金幣宮
(官幣中社)
祭神 尊良・恒良
兩親王

通路に當る氣比神宮・金崎宮・鎮座す。小濱は若狹灣頭の漁港にして、又漆器を産す。

第四章 近畿地方

第一 總説

位置 本州中部の西に位し、畿内及び附近の地にして、行政上二府五縣に分る。

沿海 大阪灣・若狹灣・伊勢灣三方より迫る。南部の紀伊半島沿岸は小出入多し。
地勢 北には丹波高原ありて西方中國山脈と連り、白山火山帶之に重なり、南には紀伊山系横は

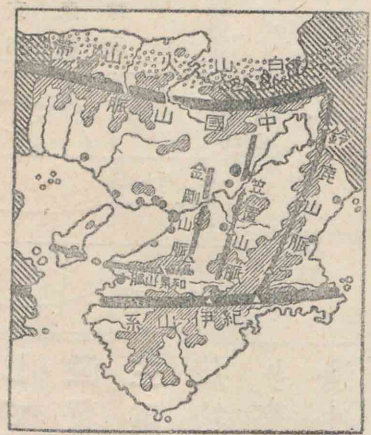
行政区劃表

府縣名	管轄	府所在地
京都府	山城丹後全部、丹波の大部	京都市
滋賀縣	近江	大津市
奈良縣	大和、伊賀伊勢志摩全部、紀伊の一部	奈良市
三重縣	紀伊の大部	津市
和歌山縣	河内、和泉全部、攝津の東半部、播磨但馬淡路全部、丹波の一部	和歌山市
大阪府		大阪市
兵庫縣		神戸市

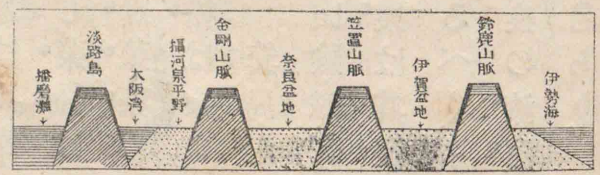
中地理日本

山地理日本

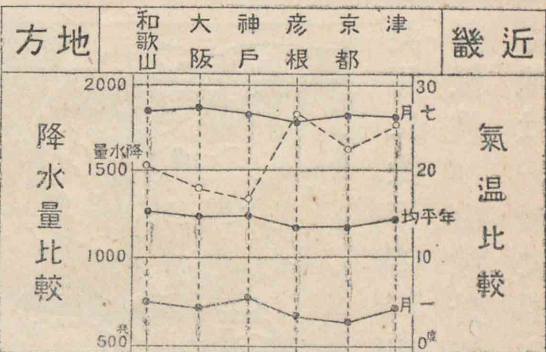
上 地勢及び都邑分布
下 近畿の盆地
南郷は石山寺の下にあり。



る。兩山地間には、金剛・笠置・鈴鹿等の山脈南北に併走し、伊賀・奈良・山城・近江の各盆地及び攝河泉・伊勢兩平野を限る。琵琶湖は近江盆地内に位し、其水南西に決して勢多川となり、宇治に至りて宇治川の名を得、桂川・木津川を合せ、淀に至り淀川となり大阪灣に注ぐ。又湖水を京都に疏して、電力を供給し水運を助け、南郷より宇治に疏して發電用に資す。淀川に次げる河川には、大和川・紀伊川・熊野川・由良川等あり。氣候 山城・丹波・近江等の山地は、寒暑の差甚だしけれども、他は一般に溫和なり。雨量は紀伊半島の南部に多く、内



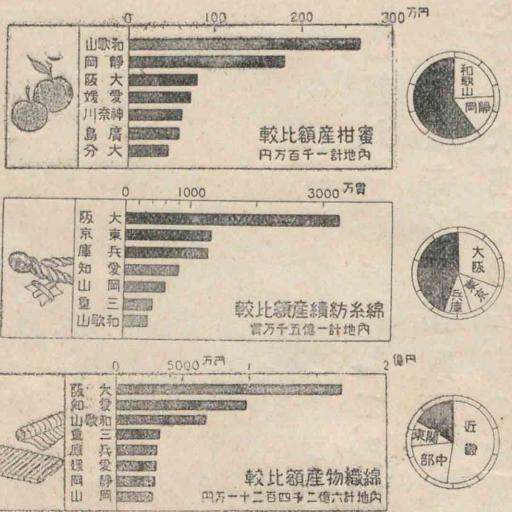
氣温及び降水量比較



に行はれ、林業は熊野、吉野、高野地方を主とす。工業は其發達著しく、阪神地方の綿布、紡績、寸造船、鐵工業、見るべく、京都府の絹織物、漆器、和歌山の綿フランネル、黒江、奈良の漆器、灘地方の清酒、滋賀縣の縮緬、蚊帳、伊勢の萬古燒等名あり。

中地理日本

中地理日本



心地なり。京阪神地方電車の發達は全國無比なり。海運は大阪、神戸を起點とし、内地諸港は勿論、海外各地を連絡す。開港場には、神戸、大阪、四日市、宮津あり。潮岬、舞鶴に無線電信局を置く。

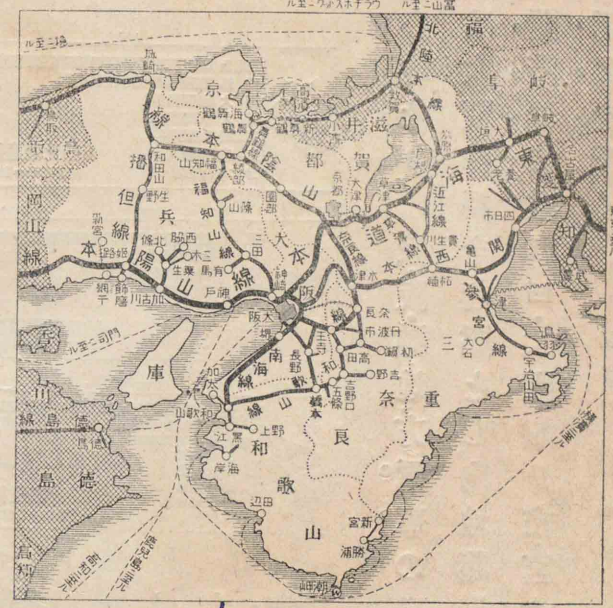
鑛業は生野鑛山を主とし、銀銅を産す。水産業は熊野灘、伊勢灣、志摩半島を主とし、赤穂よりは鹽を産す。

交通 山地の外、交通發達し、設備よく整へり。鐵道の主なるものは、東海道、關西南海、福知山、山陽、山陰の諸線にして、京都、大阪は之が二大中心地なり。

主要交通系

京都府都邑人口

都邑名	所位(千)
京都市	六六、九
伏見町	三三、一
福知山町	一六、三
新舞鶴町	一六、三
深草村	三、三
中舞鶴町	二、三
舞鶴町	二、三



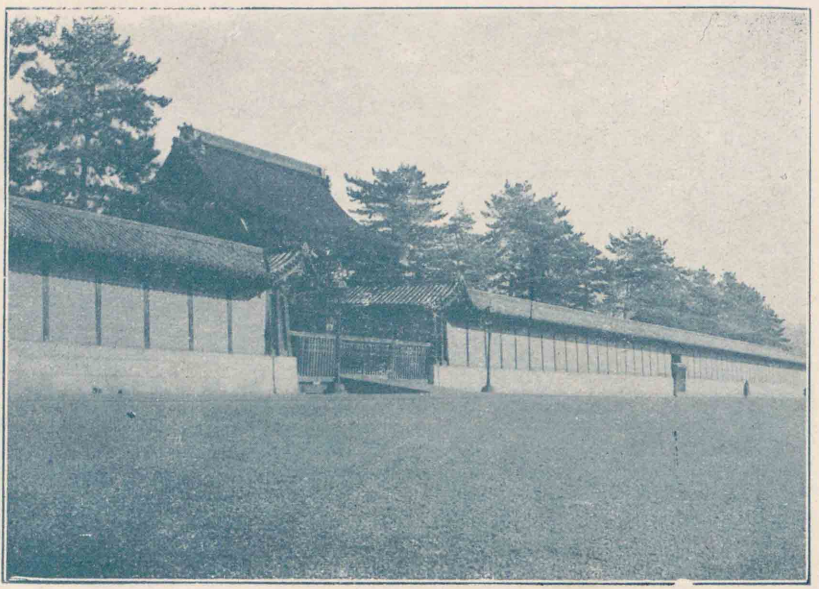
間帝都たりし處にして、御所・二城・離宮・平安神宮・金閣寺其他著名の社寺・名所舊蹟頗る多く、所在形勝の域を占め、嵐山・高尾等、山水明媚の地、市の内外に多し。又古來美術・工藝の大

近畿地方は、歴代帝都の所在地たりしより、史蹟最も多く、近時に至りては、次第に工業地と化し、都邑大に發達す。

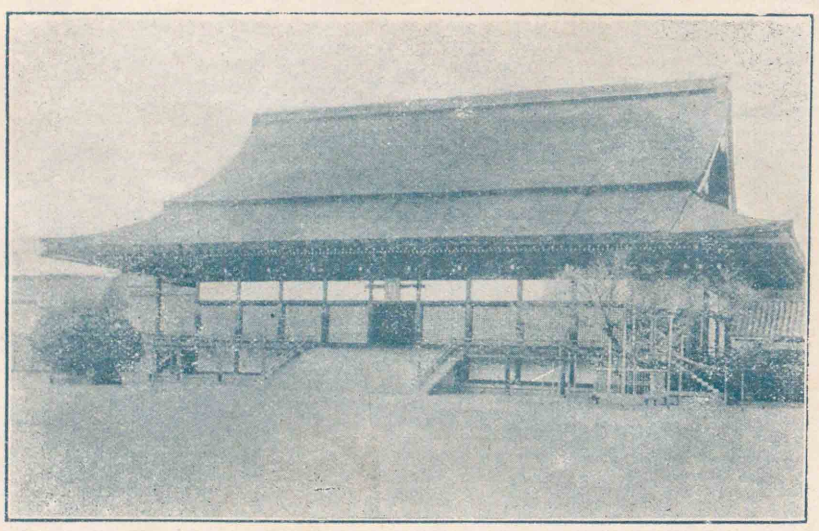
京都市は、山城盆地の北部に位し、行政上、上下兩京に分れ、市街井然たり。桓武天皇奠都以來一千餘年

第二處誌

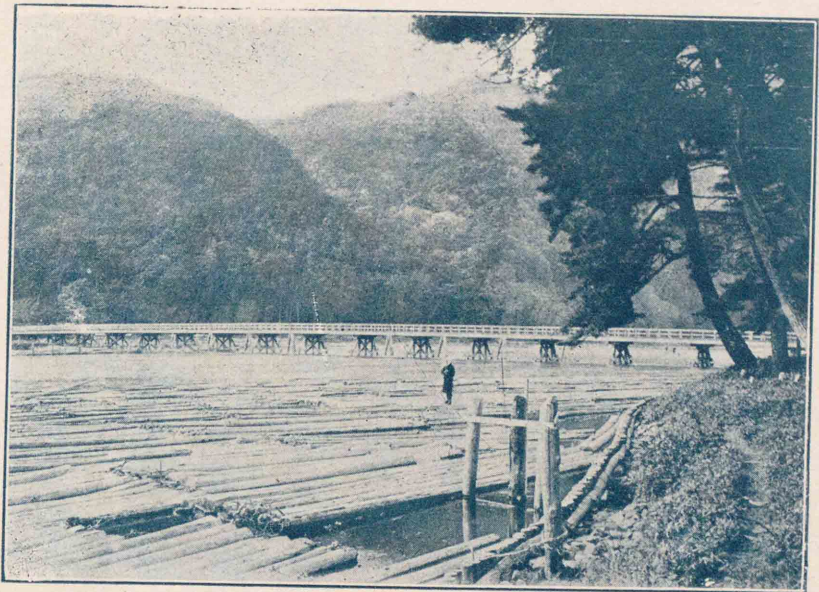
中地理日本



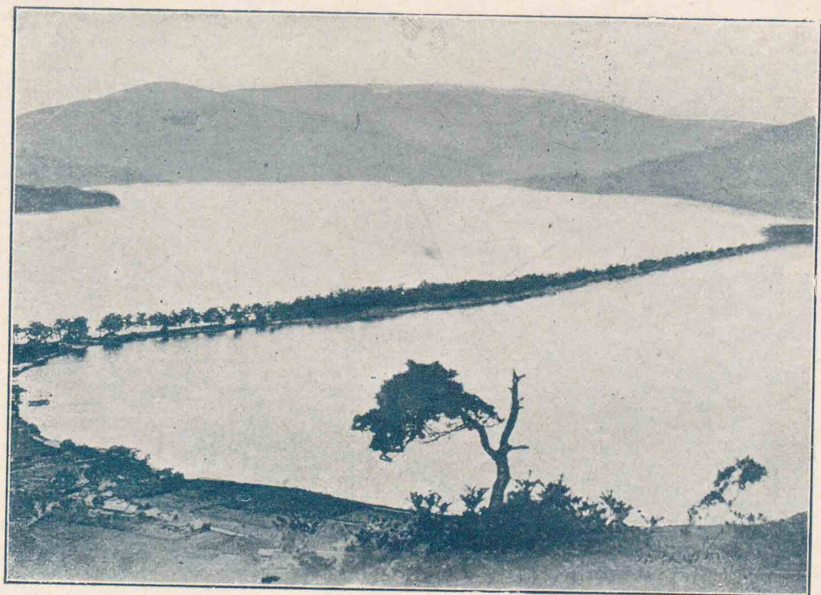
京都御所



紫宸殿



橋月渡の山嵐

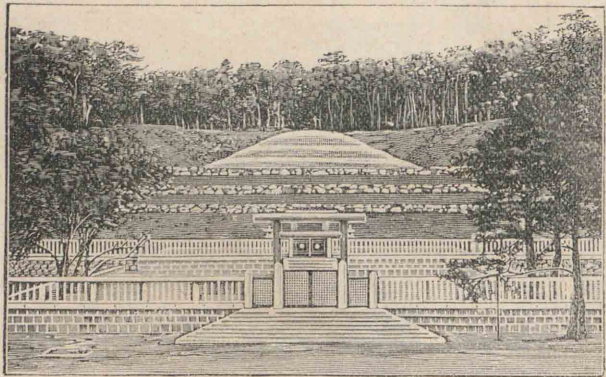


立橋の天

西陣は京都市北西部の總稱にして其織物には綾・錦・金襴・綴子・縮緬等あり。

伏見桃山御陵
明治天皇の御陵なり。

宇治の茶圃
むれ木の花咲くこともなかりしに身の成果ぞあはれなりける。(顯政)



其平・等院は源頼政最後の地なり。笠置山は木津川に沿ひ、吉野朝の舊跡なり。日本海の舞鶴灣頭には舞鶴鎮守府あり。

中心地として知られ、西陣織・友禪染・陶器・顔料の聲價高し、市内に帝國大學以下各種専門學校ありて、關西學藝の中心をなす。市外に第十六師團司令部あり。伏見は清酒を産し、桃山には桓武・明治兩帝の御陵あり。宇治は製茶の大中心に當り、附近一帶茶圃相連る。



よさの海やかすみ
わたれる夕なぎに
たえだえ見ゆる天
のはしたて。
(讀人不知)

滋賀縣都邑人口

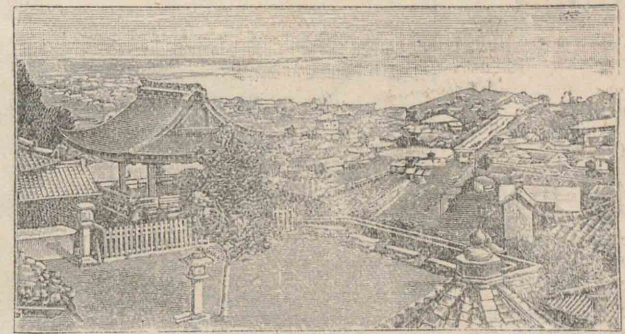
單位(千)

大津市 四、八
彦根町 三、五
長濱町 三、八

園城寺の眺望

園城寺は一に三井
寺といふ延曆寺と
共に天台宗の大本
山なり。

近江八景
堅田落雁
比良暮雪
矢橋歸帆
粟津晴嵐
唐崎夜雨
石山秋月
三井晚鐘
瀬田夕照



り。之より海路宮津に至れば、天橋立
を望むべく、一條の沙洲遠く海中に突
出し、長橋天に懸れるが如し。北西の
峰山は縮緬を産す。

京都府の東に滋賀縣あり、山嶽四周
して琵琶湖を圍む、湖畔風景よく、近江
八景の勝あり、都邑は多く湖東に發達
す。鐵道東海道線は米原彦根八幡大
津を過ぎて京都に、北陸線は米原より
長濱を経て北行し、草津線は草津より
彦根は交通の便よく、八幡は麻布を産
出でて伊賀に向ふ。
し、日野と共に行商を出すこと多く、大津は琵琶湖上汽船航
路の中心に當り、商工業盛なり。市に園城寺あり、延曆寺と

中地理日本

中地理日本

大津
帝國製麻
会社
麻多
帆布

姉川は織田、淺井
の會戰地。賤ヶ岳
は羽柴、柴田の會
戰地。七本鎗の奮闘
地。

奈良縣都邑人口

單位(千)

奈良市 四、六
郡山町 三、四
十津川町 三、〇
丹波市町 二、八

下 春日神社

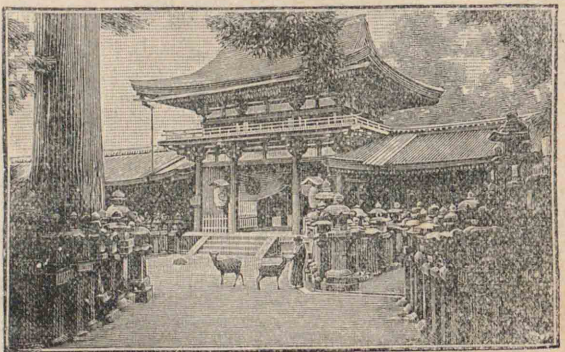
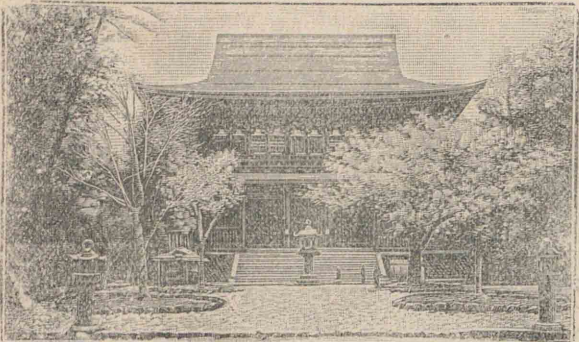
上 藏王堂

天の原ふりさけ見
れば春日なる三笠
の山に出でし月か
も。(安部仲麿)
東大寺には有名な
大佛あり、正倉院
は勅封の寶藏な
り。

共に天台宗の巨刹なり。長濱は良質の
縮緬を産す。其北に姊川、賤ヶ岳の古戰場
あり。

奈良縣は、三重縣と山地を以て境し、北

西部に奈良盆地あり、
大和川之を排水す。
奈良市は盆地の北端
に位し、奈良朝七代の
舊都にして、春日山三
笠山、春日神社、正倉院、東大寺等あり、神鹿
群がり、漆器根來塗、墨、人形等を産す。縣
下各地は、名所舊跡極めて多ければ、大和
巡りとして、巡遊者四時絶ゆることなし。



法隆寺は建築古くして古代の模範と稱せらる。
橿原神宮
(官幣大社)

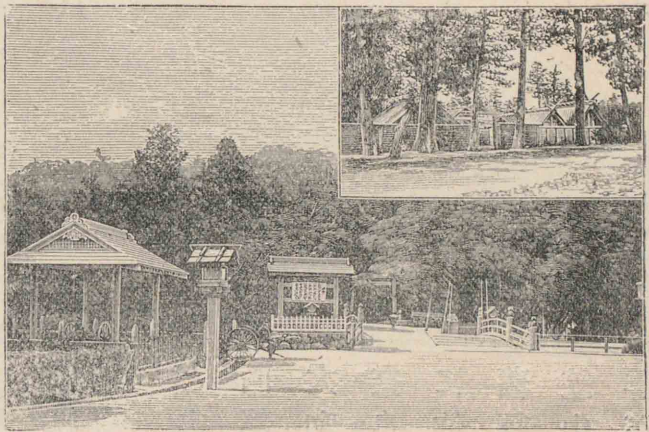
祭神 神武天皇
談山神社
(別格官幣社)

祭神 藤原鎌足

吉野山には奥上中下の四千本榎の名所あり。
吉野山霞の奥は知らねども見ゆるかぎりには櫻なりけり。
(八田知紀)

伊勢神宮

かへらじとかねて思へば梓弓なきかすに入名をぞとどむる。(楠正行)
吉野神宮
(官幣大社)
祭神 後醍醐天皇



奈良より關西線によれば郡山を経て、巨剎に名ある法隆寺に至るべし。附近金魚の産多し。橿原神宮、談山神社に詣づるには櫻井線によるべく、吉野を訪はんとせば、和歌山線及び吉野線によるべし。吉野は陽春櫻花之を彩るや、満山霞の如く、吉野神宮、吉水神社、皇居跡、藏王堂、如意輪寺等の舊跡あり。如意輪寺に隣り、後醍醐帝の御陵あり。縣の南部一帯は、山地にして、所謂吉野杉の本場なり。鐵道關西線は名古屋に發し、桑名、四日市、龜山、上野を過ぎて西し、參宮線は龜山より分れ、津、松阪、宇治山田

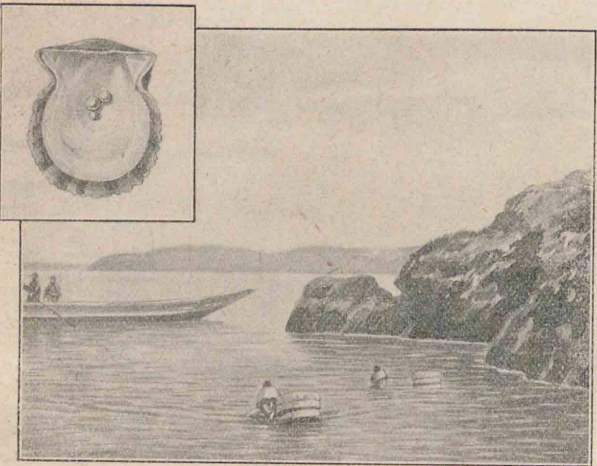
中地理日本

中地理日本

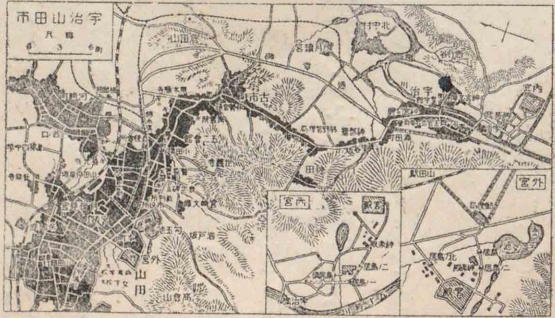
三重縣郡邑人口

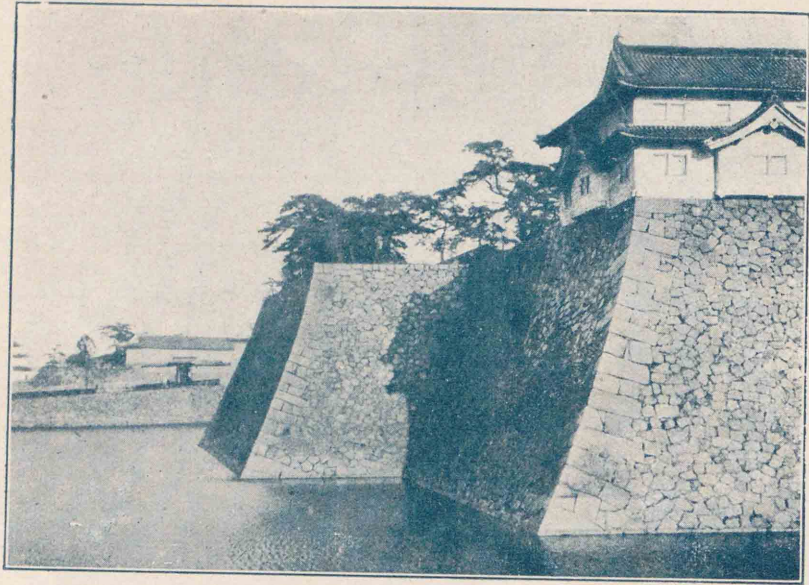
津市	五、四、〇
宇治山田市	四、三、〇
四日市市	四、二、〇
桑名町	三、三、六
松阪町	一、六、六
上野町	一、六、一
尾鷲町	三、三、六
龜山町	三、三、五
宇治山田市	

上 眞珠の養殖

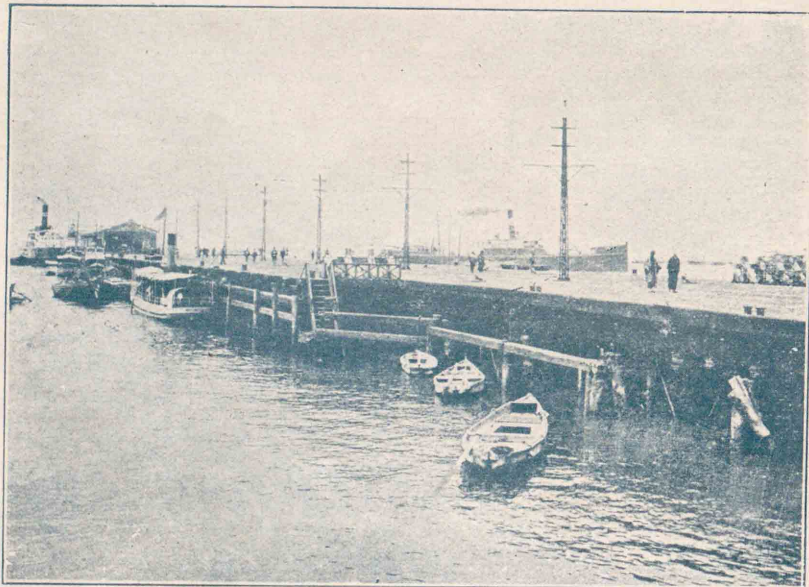


を経て鳥羽に達す。桑名は米の取引地、四日市市は之が積出地にして、又紡績工場あり、附近より萬古焼を出す。上野は伊賀盆地の中心に位し、木材、薪炭を産す。松阪は本居宣長の生地にして、又木綿を産す。宇治山田市は、伊勢神宮鎮座し、神都の稱あり、宇治の内宮は天照大神、山田の外宮は豊受大神を祀る、神域幽邃にして自ら尊崇の





大坂城



大坂港

何事のおはしますか
かは知らねどもあり
りがたさにぞ涙こぼるる。
(西行)

和歌山縣都邑人口

單位(千)

和歌山市 八四二

新宮町 三三九

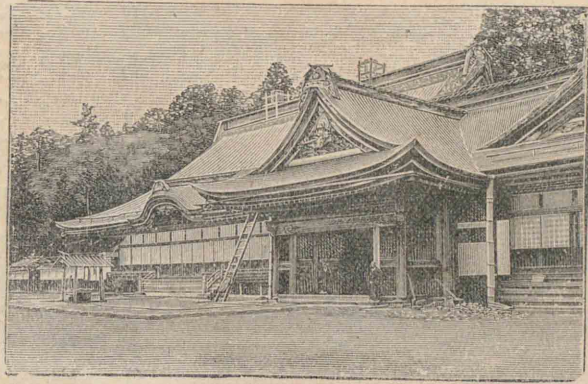
箕島町 三二一

田邊町 三三〇

湯淺町 一〇七

金剛峰寺

眞言宗の總本山なり。

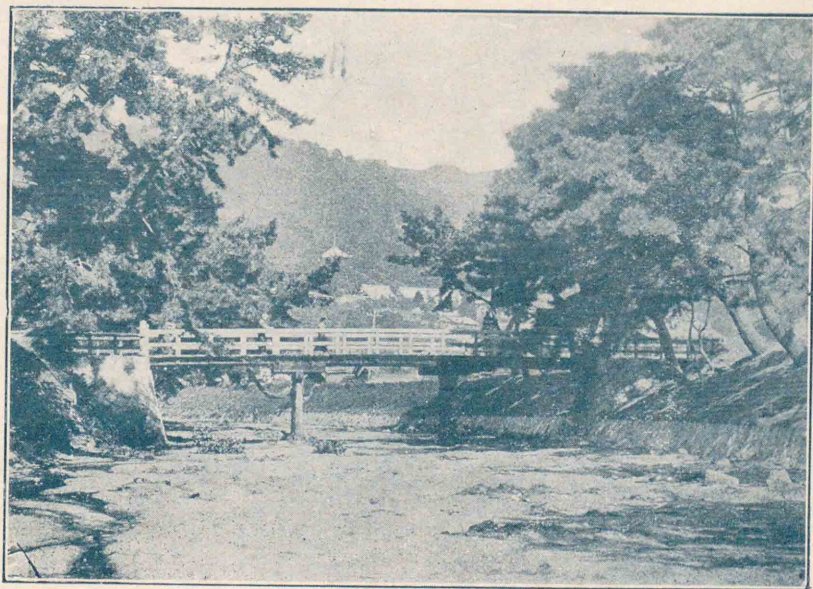


念を起さしむ。市の東に二見浦の勝地あり。志摩半島の鳥羽は漁港として知られ、英虞灣其他には眞珠貝の養殖行はる。尾鷲は太平洋岸の名邑なり。

鐵道和歌山線は奈良縣より來り、高野山下を経て和歌山に至る。和歌山市は紀伊川口に位し、徳川家の舊城下にして、綿フランネル製造の中心地、木材の集散地なり。南方に和歌浦の勝地及び黒江あり。高野山には金剛峰寺あり、空海上人を開基とす。附近一帶は杉槇の良材を産し、又氷豆腐を製出す。沿海地に田邊、串本、新宮あり、串本に近き潮岬附近は捕鯨盛にして、其



越 鷗 の 津 攝



場 戰 古 川 湊

中地理日本

那智の瀧は直下八十餘丈ありと稱せらる、遠く海上より望むべし。
なちの山雲井に見ゆる岩根より千ひるにかかる瀧の白糸。(光明寺攝政)

大阪府都邑人口

大阪府	一六三、三
堺市	八五、一
豊崎町	四九、九
鷺洲町	三九、七
鶴橋町	三〇、六
中本町	二九、九
岸和田町	二五、八
天王寺村	二〇、〇
中津町	二〇、〇
鯉江町	一四、八

大阪市の大部は淀川の三角洲上に在り。

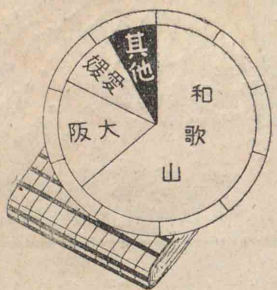
の他水産多し。新宮は熊野川口に當り、木材薪炭備長(の集散地にして、本宮那智と共に熊野三社を祀る。那智には那智瀑懸る

和歌山より南海鐵道に

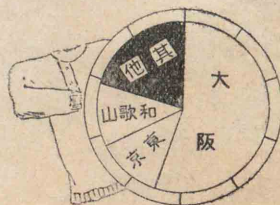
よれば、岸和田堺を過ぎて大阪に達す。大阪市は主に淀川の口に位し、我が國第二の大都會にして、行政上四區に分れ、街衢井然、溝渠縱横し、築港整ひ、南日本に於ける經濟上の大中心に當り、又大工業地として、紡績、莫大、小、モスリン、燐寸、硝子、船舶、兵器、骸炭等の製造、亞鉛製鍊等行はれ、煙突林立す。

市内に控訴院、醫科大學、商業工業各専門學校、造幣局及び砲兵工廠あり、豊太閣の築ける大阪城には第四師團司令部あり。

綿フランネル産額比較
内地計六千五百七十万円



莫大小産額比較
内地計六百八十六万円



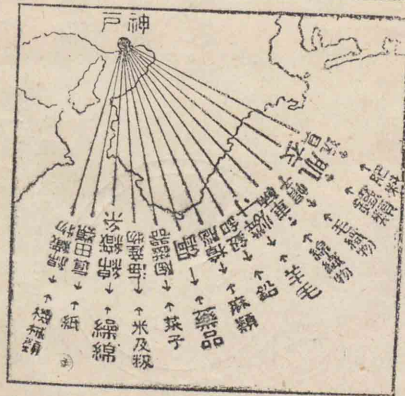
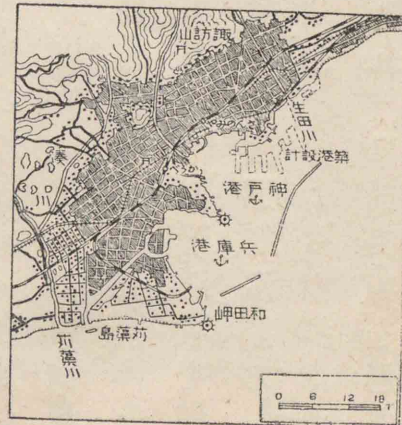
四條暖神社
(別格官幣社)
祭神 楠正行
府下に住吉、濱寺、箕面等の公園あり。
兵庫縣都邑人口

神戸市	六二八
姫路市	四二八
尼崎市	三三二
明石市	三三二
西宮町	三三二
洲本町	三三二
御影町	三三二
高砂町	三三二
相生町	三三二
伊丹町	三三二
生野町	三三二

り。市の内外に阿部野四天王寺等の舊跡多し。岸和田は綿絲煉瓦を産し、堺市は紡績清酒及物に名あり。四條暖は大阪市の北東に當り、其北方の櫻井及び南方の金剛山と共に楠氏の誠忠を偲ばしむ。池田は大阪市の北に位し、清酒木炭を産す。

大阪より西すれば兵庫縣に入るべく、尼崎神戸明石姫路

あり。尼崎市は紡績硝子等の工業地として知られ、其西なる西宮御影は伊丹等と共に灘地方と稱



中地理日本

明石港と淡路島

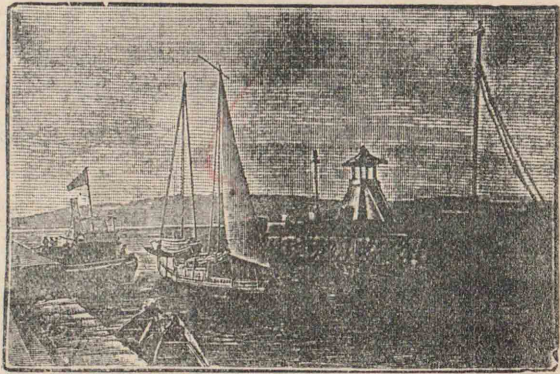
市外に高等商船學校あり。

湊川神社
(別格官幣社)
祭神 楠木正成

ほのぼのと明石の浦のあさぎりに鳥がくれば行く舟をしぞ思ふ。
(柿本人丸)

須磨に神戸市の一部なり。

し、清酒に著はる。神戸市は横濱と共に本邦の二大開港場にして、繰綿鐵類機械肥料米毛織物等を輸入し、綿織絲銅燐寸莫大小眞田金巾花菴等を輸出す、工業亦盛にして、燐寸紡績其他の産出多く、又牛の集散地にして、神戸牛の名世に著はる。港内の川崎三菱兩造船所は規模宏大なり。市内に高等商業學校及び楠公を祀れる湊川神社あり。楠公遺跡の湊川は、人工によりて河道を移し、今や廢川となり、四民雜沓の巷と化す。市の北に有馬あり、寶塚と共に温泉地として知らる、附近炭酸泉の湧出多し。



中地理日本

神戸以西には舞子明石市高砂等、白砂青松の勝地連り、須

姫路城は太閤秀吉の築きし著名の堅城なり。餘部の鐵橋は長千二十尺高百三十五尺にして餘部村落に跨りて兩高地に架せり。玄武洞は柴野栗山の命名。

磨の北方には、一、谷・鶴越等源平の古戰場あり。姫路市は米の取引多く、革細工・高砂染を産す、第十師團司令部あり。干はセルロイド、龍野は醬油、赤穂は製鹽に知らる。姫路より播但線によれば、銀銅の産に名ある生野・鑛山地方を過ぎ、和田山に至り、山陰本線に會し、柳行季に名ある豊岡を經、城崎・温泉を過ぎ、餘部の鐵橋を通過すべし。城崎附近の玄武洞は奇勝を以て名高し。本線に沿へる但馬の地は養蠶・牧牛盛なり。淡路島は人口甚だ稠密にして、洲本・由良・福良等の名邑あり。洲本は淡路燒を産し、由良・福良は要塞地帯なり。

第五章 中國地方

第一 總説

中地理日本

中地理日本

行政区劃表

縣名	管轄	所在地
岡山縣	美作・備前・備中	岡山市
廣島縣	備後・安藝	廣島市
山口縣	周防・長門	山口町
鳥取縣	因幡・伯耆	鳥取市
島根縣	出雲・石見・隱岐	松江市

位置 近畿地方の西に突出せる

大半島にして、北は日本海に、南は瀬戸内海に面す。行政上五縣に分る。

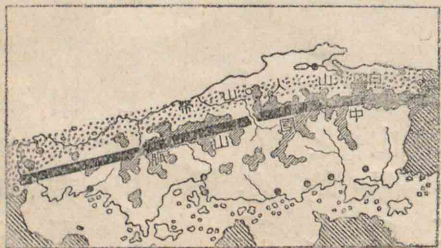
沿海 日本海面には島根・夜見濱

兩半島出でて、隱岐群島に對する外

地勢及び都邑分布

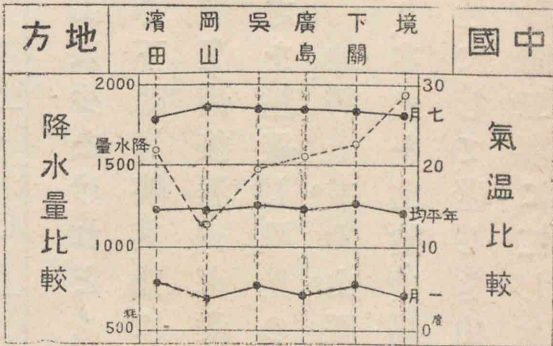
出入少なければ、瀬戸内海面は屈曲甚だしく、下關海峡其他によりて外海と通じ、内に播磨灘・備後灘・安藝灘・廣島灣・周防灘等あり、島嶼之を點綴し、風光の美比類なし。

地勢 中國山脈、少しく北偏して東西に走り、本土を山陰・山陽兩斜面に分る。土地高原性にして、著しき山嶽なきも、至る處赭山多く、砂防工事に忙し。白山・火山帶、中國山脈に重



瀬戸内海沿岸には
保養に適する地多
し。

気温及び降水
量比較



なれるを以て、大山・三瓶山・蛭山等の火
山時つ。地形上、平野は南部山陽方面
に多し。河は江川を最大とし、旭川・吉
井川・太田川等之に次ぐ。

氣候 山陰の地は気温稍低く、冬季
は大陸の影響を受け、北越地方と均し
く北西風來り、雨雪の量多きも、山陽の
地は、中國山脈と四國山系とによりて
海風を遮り、温暖にして晴天多し。

産業 山陽地方は平野山地の別なくよく拓け、各種の産
業發達す、農産には、岡山・廣島・山口各縣の米、廣島・岡山兩縣の
除蟲菊・岡山縣の桃・梨等産額多し。牧牛業は甚だ盛大にし
て就中廣島・岡山兩縣を主とす。瀬戸内海沿岸は製鹽に適

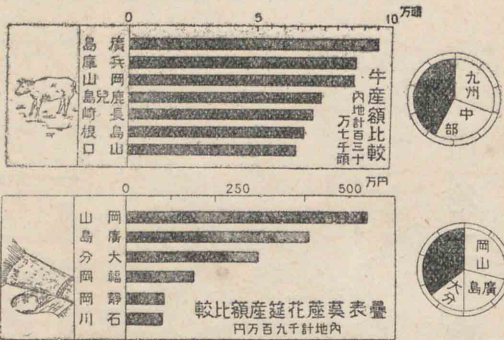
中地瀨日本

山陽橙 四十五万円

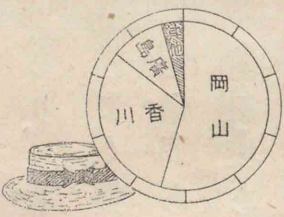
三田尻は防府町の
一部なり。

此地方の牛及び牡
蠣は専ら阪神地方
に供給す。

三田尻の製鹽



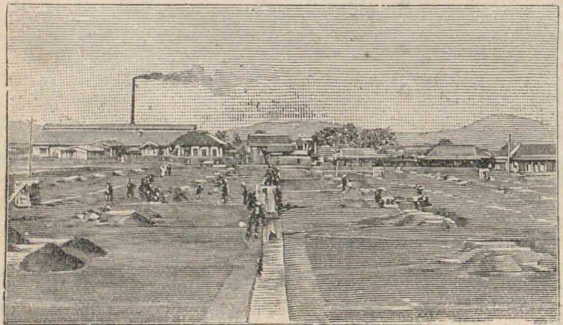
麥稈眞田産額比較
内地計五百八十万円



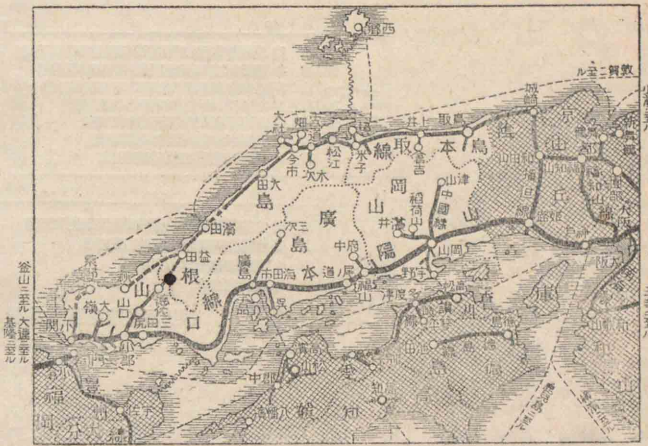
は他に比類なし。
漁民中、朝鮮近海に
出漁するもの少な

し、松永・防府(三田尻)等最
も著はれ、又魚介多く、山
口縣の鯛、島根縣の烏賊
は最も名高く、廣島縣の
牡蠣・養殖

からず。鑛産は岡山縣帶江・吉岡の銅・銀、
山口縣玖珂其他の重石、大嶺の石炭、秋吉
の大理石名あり。工藝品は岡山縣の綿
絲・綿布・麥稈・眞田・三備地方の疊・表・花・筵・廣



主要交通系



第二處誌

地勢氣候の關係上、人口は瀬戸内海斜面に密にして、日本

島山口兩縣の和紙、廣島縣の山繭織等名あり。

交通 鐵道山陽線は兵庫縣より來り、岡山・福山・尾道・廣島を経て下關に達し、山陰線は但馬より來り、鳥取・米子・松江を経て將に濱田に達せんとす。尙中國線、藝備線、其他の諸線あり、水運は内海方面に發達し、設備よく整へり。下津井・角島に無線電信局あり。開港場には、下關・糸崎・濱田境あり。

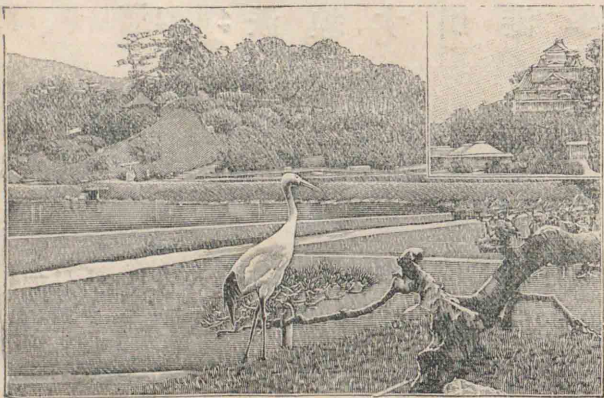
中地理日本

中地理日本

海斜面に粗なり。從て都邑は前者に發達す。

岡山市は旭川に跨り、商工業の發達著しく、綿絲、疊表、花苳等を産す。市の内外に後樂園、高等學校、醫學專門學校、第十七師團司令部等あり。

鐵道、山陽線は船阪峠を過ぎ、岡山市に來り、津山へ向へる中國線と、兒島半島に向へる宇野線とを分ち、更に西方倉敷、玉島、笠岡を経て廣島縣に向ふ。津山は美作の名邑にして、西方に院庄あり。兒島半島は開墾大に進み、宇野は四國の高松と定期船を通ず。岡山市の東に伊部、三石あり、伊部は伊部焼、三石は耐火煉瓦、石筆を産す。川邊川



七五

岡山縣都邑人口

岡山市	九萬四千
玉島町	三、六
津山町	一、七
倉敷町	一、三
笠岡町	一、〇

後樂園

院、庄は兒島高徳の舊蹟地なり。天莫、空三勾、踐一時、非無范、蠶。(兒島高徳)

兒島半島 瀬洲輸出

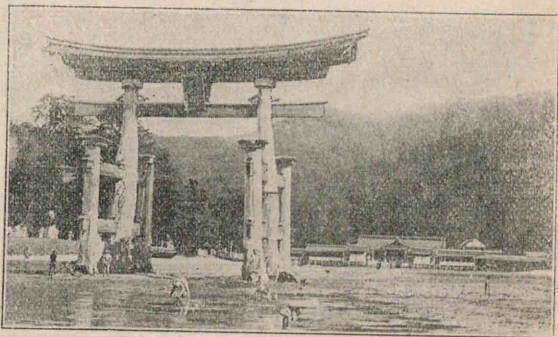
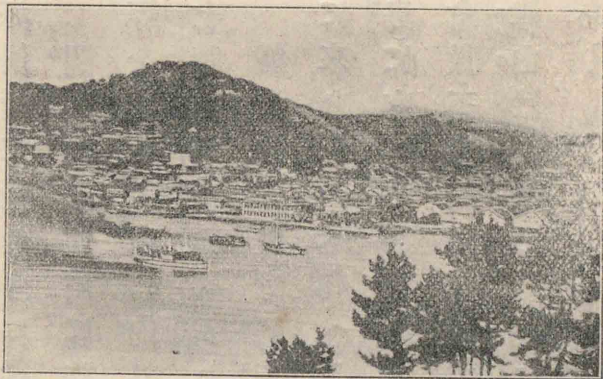
流域は麥稈眞田を産し、高粱之が中心に當る。倉敷・玉島・笠岡は紡績業盛なり。

鐵道、山陽線は岡山より來り、福山・尾道

三原を過ぎ、海田市にて支線を吳に派し、廣島より藝備線を三次盆地に派す。

廣島市は太田川の口に跨り、宇品港

を控へ、高等師範學校、高等工業學校、控訴院第五師團司令部あり。吳市は鎮守府の所在地にして、其工廠は規模宏大なり。前面の江田島に海軍兵學校あり。



下 嚴島神社

廣島縣都邑人口

單位(千)

廣島市 一五、三

吳市 一四、七

福山市 三、一

尾道市 三、八

上 尾道市

音戸町 一、三

三原町 一、二

鞆町 一、〇

宇品は近時三嚴役に大輸送地となりし處なり。

廣島市に大本營の跡あり。

關門聯絡船

山口縣都邑人口

單位(千)

下關市 六、四

宇部村 三、三

山口町 三、七

防府町 三、五

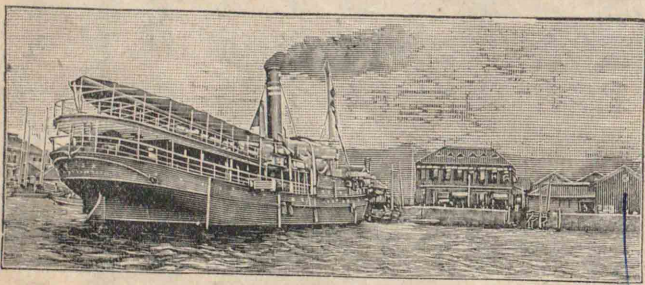
徳山町 一、七

萩町 一、二

柳井町 一、三

長府町 一、〇

り。廣島市の北方は山繭織を産し、可部は之が集散地なり。三次は三次盆地の中心に位し、牛麻等を集散す。嚴島(宮島)は廣島灣の西隅に位し、嚴島神社あり、山に倚り海に臨み、潮満つれば社殿浮ぶが如く壯麗比なし。福山・尾道兩市及び鞆は、花菴壘表の集散地にして、尾道よりは、四國の高濱・多度津と定期船を通じ、附近の風光瀬戸内海第一とす。山口縣は海洋三方を圍み、自ら水産豊富なるを示す。鐵道山陽線は、岩國・柳井・徳山・防府・小郡・小野田を経て下關に達す。岩國・柳井は縮布を産し、徳山には海軍燃料廠あり、小野田はセメント及び化學製造品を産す。小郡より山口線によれば、山口に至る。



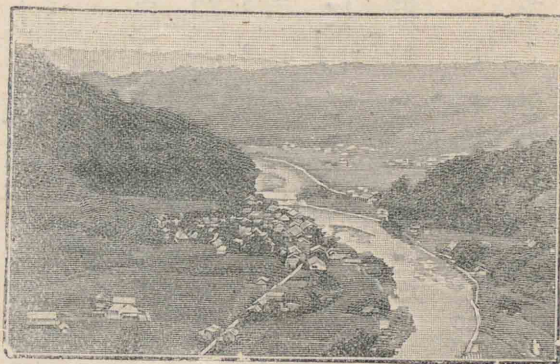
中地理日本

中地理日本

釜山下關間は僅に百二十哩を隔つるのみ連絡船之を連れ十二時間にして達すべし。鹽ノ浦は源平の古戰場。安徳帝を祀れる赤間宮は御陵と共に下關市の丘陵に在り春帆樓と相並ぶ。春帆樓は日清平和條約の締結所、同市の引接寺は清國使節李鴻章の宿泊せし處なり。鳥取に高等農業學校あり。

三朝温泉

鳥取縣都邑人口
單位(千)
鳥取市 三四二
米子町 三五五
倉吉町 二二三
三朝温泉はラヂウム含有量多し。



べし、同地には高等商業學校及び高等學校あり。下關市は瀬戸内海の咽喉を扼し、九州の門司と相呼應し、朝鮮本土間の連絡地に當り、米の取引多く、又硯石を産す。日清平和條約の締結地なり。東の海上に壇浦古戰場あり。萩は日本海に面し萩焼・夏蜜柑を産す。鐵道山陰線は近畿地方より來り、鳥取縣に入り、鳥取御來屋米子を過ぐ。鳥取市は賀露川(千代川)に臨み、近海より海柳(白珊瑚)を産す。倉吉は天神川に近く、綿布を産す。三朝温泉是に近し。大山の裾野は牧牛牧馬盛なり。上山は、御來屋名和神社と共に元弘役の當時を追想せしむ。米子は水陸交

中地理日本

中地理日本

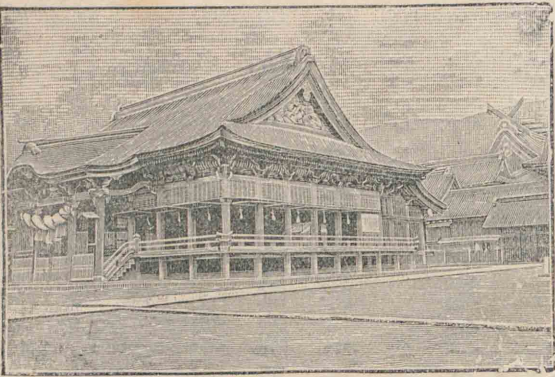
御來屋は後醍醐天皇の上陸せられし處。松江に高等學校あり。名和神社 (別格官幣社) 祭神 名和長年

下 大山の遠望

島根縣都邑人口
單位(千)
松江市 三三三
濱田町 二二四

上 出雲教本院

(官幣大社) 出雲大社は伊勢神宮に次ぐ著名の神社にして大己貴命を祀る。われこそは新島守よおきの海のあらし浪風心して吹け。(後鳥羽天皇)



通の要地にして、夜見濱(弓濱)は風景絶佳なり、其尖端に境あり。

松江市は宍道湖に臨み八雲塗の産あり、又湖中より鱸を漁し附近より出雲焼青瑪瑙を産す。之より鐵路西に進めば、今市を過ぎ杵築に達す。杵築には出雲大社鎮座す。濱田津和野は石見の名邑にして、濱田より和紙を産す。

隱岐は島前島後に分れ、島前に後鳥羽上皇の御火葬場、島後に後醍醐天皇の舊蹟及び西郷港あり。一般に牧牛行



わすれめやよるべも波のあらいそをみ船の上にとめし心を。(後醍醐天皇)

第六章 四國地方

第一 總説

位置 四國は瀬戸内海の南に横はり、南は太平洋に面す。行政上四縣に分る。

沿海 地形蝙蝠の兩翼を擴げたるが如く、南には室戸足摺蹠蹠兩岬出でて土佐灣を抱き、西方豊後水道沿岸は鋸齒狀を呈す、東方の鳴門は激潮渦をなし、航行危険なり。瀬戸内には高繩讚岐兩半島出でて燧灘を抱く、海上には島嶼甚だ多く、就中小豆島最大にして神懸(寒霞溪)の奇勝あり。

高知縣	愛媛縣	香川縣	徳島縣	縣名
土佐	伊豫	讚岐	阿波	管轄
高知市	松山市	高松市	徳島市	縣所在地

神懸は集塊岩の奇景なり。

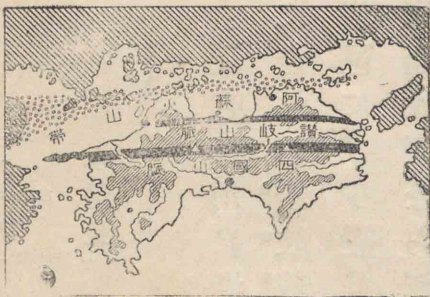
吉野川の上流には横谷あり。

地勢及び都邑分布

劍山は夏季登山者多し。石槌山中の天狗嶽は海拔一九八一米、四國第一の高峯なり。

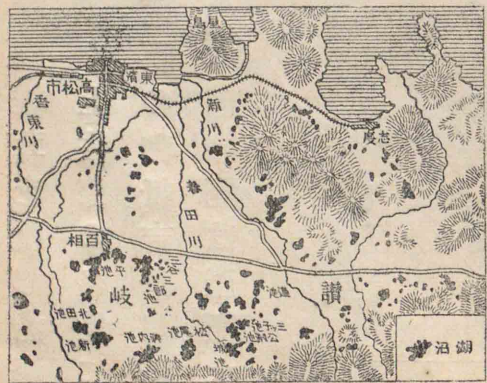
香川縣湖沼の分布圖

湖沼は灌漑用に供せらるる人工に成るもの多し、撫養附近の鹽を齋田鹽と呼ぶ。

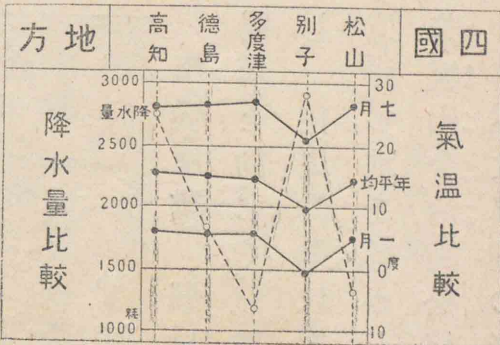


地勢 四國山系東西に貫通して、四國を南北の二部に分つ。南部は地勢特に峻峻なり。劍山石槌山を主峰とす。四國山系の北には、低き讚岐山脈あり、吉野川兩山脈間の縦谷をなし、其流域は農産豊富なり。物部川、仁淀川、渡川は、何れも横谷をなす。

氣候産業 瀬戸内海面は對岸の山陽道と同じく、氣候溫和にして晴天多し。住民勤勉にして農事を勵み、沿海遠淺の地を乾かして鹽田を造る。撫養坂出、今治、高松等製鹽業甚だ盛なり。南部は黒潮の影響を受け、高温多雨



氣温及び降水量比較



主要交通系

ず、只吉野川に沿へる徳島線、讚岐の沿海に走れる讚岐線、稍見るべし。電車は各都邑に多少發達せり。海上の交通は外海面は便ならざれども、内海方面は高松



中地理日本

中地理日本

多度津・高濱等より、中國・近畿地方と往來し、交通極めて便にして、且其設備よく整へり。

第二處誌

地勢・氣候・交通等の關係より、都邑は四國山系以北に多くして、以南には僅に高知市の發達せるを見るのみ。

鐵道徳島縣に沿ひ、徳島・脇町・貞光・池田等あり。徳島市は商工業發達し、綿布・藍の集散地にして、小松・島は之が咽喉に當り、大阪・神戸等と交通便なり。

其南に富岡、西南に日和佐、北に撫養あり。脇町は葉藍、池田・貞光は煙草を産す。

吉野川支流の祖谷は、谷深く山高く、蔓橋の奇觀あり。



徳島市は四國第一の大都會なり。

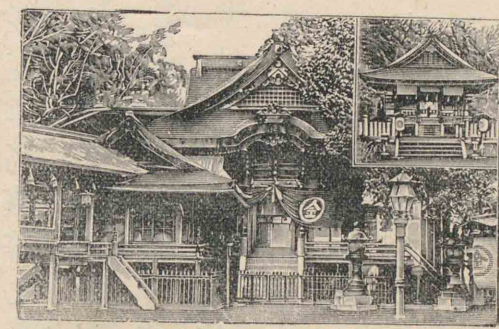
祖谷の蔓橋

徳島縣都邑人口

單位千
 徳島市 七三二
 撫養町 一九八
 小松島町 一五二

香三縣都邑人口
 單位(千)
 高松市 四八三
 丸龜市 三三二
 坂出町 二七二
 觀音寺町 一六六
 善通寺町 一三二
 栗林公園は規模廣大園池樹木の排列海内比無かるべし。

金刀比羅宮奥の院
 (國幣中社)
 祭神 大物主神 崇徳天皇
 金刀比羅宮は海人酒造家等の尊崇大にして参拜者絶ゆる事なし。



高松市は内海の良港にして築港完備し、保多織漆器を産す。市の南方に栗林公園、東方に屋島あり、屋島は形状屋の如く、五劔山と東西相對し、其間に源平の古戰場あり、東境の引田は製糖業の中心地なり。

鐵道讚岐線は、高松市より西に進み、坂出、丸龜、多度津を過ぎ、愛媛縣に向ひ、又支線は善通寺を経て琴平に達す。丸龜市は商業地にして、竹細工を産す、多度津は其の門戸に當り、善通寺には第十一師團司令部あり。琴平には金刀比羅宮あり。

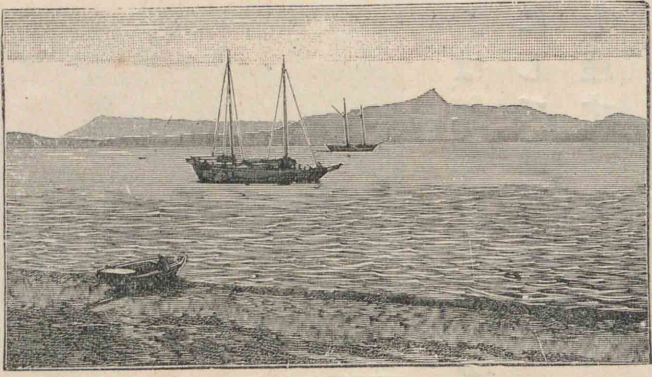
内海の鹽飽諸島は、古來海人を出すこと多く、粟島には航海學校あり。小豆島よりは醬油を産す。

中地理日本

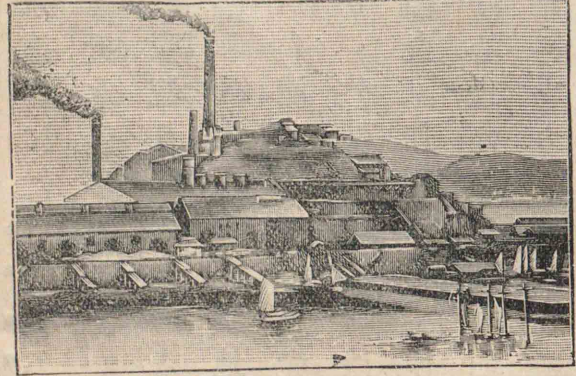
中地理日本

愛媛縣都邑人口
 單位(千)
 松山市 五八四
 宇和島市 三二七
 今治市 三〇七
 三津濱町 三三二
 八幡濱町 一〇三

上 五劔山と屋島
 下 四阪島製煉所



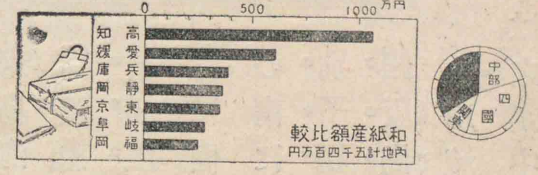
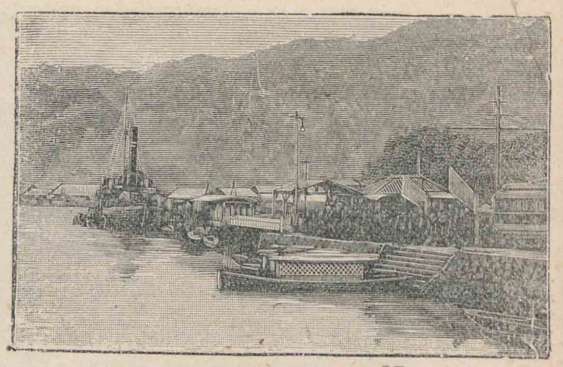
銅鑛の精煉地なり。業盛大にして、大洲は之が中心地に當



松山市は重信川の流域に位し、紺綿フランネル、和紙の集散地にして、三津濱及び高濱を門戸となす。道後温泉は、古來有名なり。今治市は來島海峽に接し、綿織物を産す。新居濱、西條は燧灘に面し、新居濱の南に、市川及び別子銅山あり。四阪島は別子産、肱川流域は製紙業

高知縣都邑人口
高知市 五二
單位(千)

吸江灣



近は、鯨、鯉等水産物多く、足摺岬附近は氣温の較差極めて小にして、蒲葵其他熱帶植物よく繁茂し、西方沖、島附近は珊瑚を産す。

第七章 九州地方

中地理日本

第一 總説

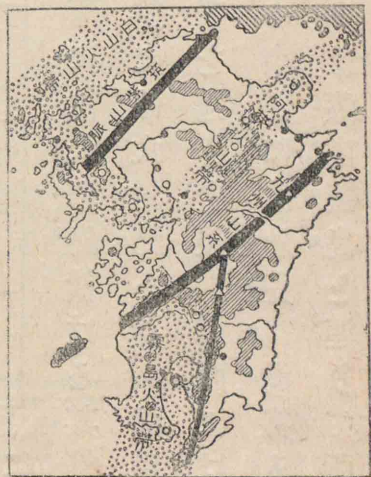
中地理日本

府縣名	管轄	所在地
福岡縣	筑前、筑後全部、肥前西半部、肥前東半部、佐賀	福岡市
佐賀縣	肥前東半部、肥前西半部、肥前對馬全部、壹岐	佐賀市
長崎縣	肥前對馬全部、壹岐	長崎市
熊本縣	肥後全部、肥前東半部、肥前西半部、肥前對馬全部、壹岐	熊本市
大分縣	豐後全部、日向全部、日向	大分市
宮崎縣	日向全部、日向	宮崎町
鹿兒島縣	大隅、薩摩全部、琉球全部	鹿兒島市
沖縄縣	琉球全部	那覇區

西には天草島横はる、其外海は天草灘にして、彼杵半島の内側には大村灣あり。瀬戸内海面には國東半島出でて別府灣を抱き、豊後水道面には岬角港灣犬牙の如く出入し、九州の南部には、鹿兒島灣突入し、灣頭に櫻島半島あり。琉球列島は薩南諸島と連りて、所謂琉球彎をなす。

泊天草洋
雲耶山耶吳耶越
水天夢露青一髮
萬里來泊天草洋
煙橫蓬窓日漸沒
瞥見大魚波間跳
大白當舟明似月
(頼山陽)

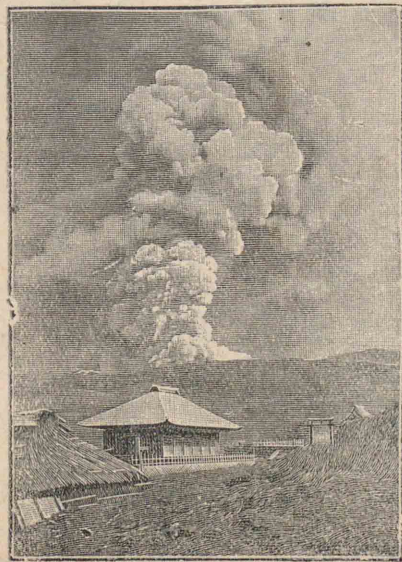
地勢及び郡邑分布



阿蘇山 九重山は海拔一七八八米。

重由布等の火山崛起す。蘇山は山容雄大にして、舊火口内に、中嶽・高嶽等の五嶽を容れ、中嶽は盛に噴氣す。九重山は九州第一の高峰なり。又南方には霧島火山・帶琉球彎の内側に噴起し、鳥島諏訪

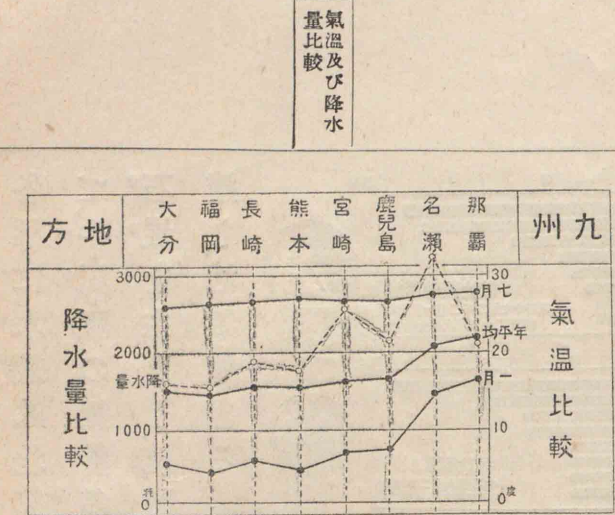
地勢 北に筑紫山脈、南に九州山系連亘す。筑紫山脈は丘陵性にして、且斷續するも、九州山系は市房山・祖母嶽等の高峰聳え、地勢峻峻なり。此南北兩山地間には阿蘇火山・帶通じ、多良・溫泉・阿蘇九



中地理日本

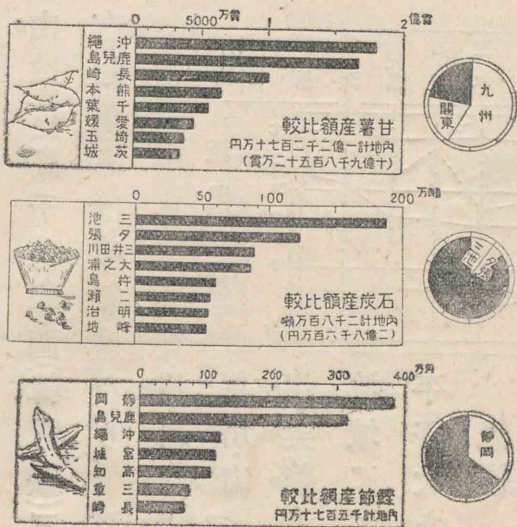
中地理日本

瀬島より、九州島の開闢嶽櫻島を経て、霧島山に達す。霧島山は東(高千穂峰)西(韓國嶽)二群峰より成り、數多の噴火口を有し、東峰は噴氣盛なり。河は以上山地に發し、筑後川・球磨川・川内川・菊池川・白川・綠川等は西流し、遠賀川・山國川・大野川は北流し、大淀川・一瀬川・美津川・五箇瀬川等は東流す、此等の流域には平野横はる、就中、熊本・筑後の兩平野大なり。



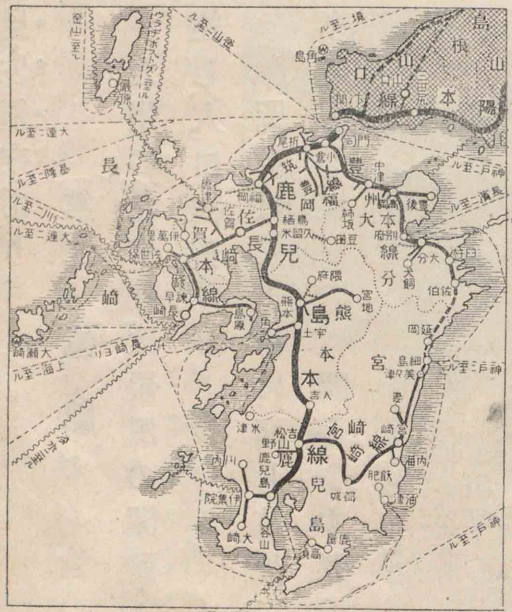
氣候 南するに従ひ、氣温と雨量とを増す。大島は特に雨量多し。琉球列島は氣候熱帶性に近く、草木冬眠せず。強風時に襲來す。産業 農業發達し、米は福岡・熊本・佐賀

各縣に、木蠟は北部に多く、甘藷、甘蔗の栽培は南部に盛にして、牛馬、豚の飼養多く、林業は東部に行はる。鑛業は北部の石炭を主とし、筑豊、三池の炭田最も著はれ、従つて鐵工業發達し、活氣漲ぎる。薩摩の金、錫、日向の銅亦著はる。水産物は五島附近の鰯、鰯、鯨、薩摩の鰹、東岸の鰯、島原灣の鯉、牡蠣を主とす。工業品には北部地方に製鐵、藥品、セメント、玻璃、紡績等あり、又織物には福岡縣の博多、織、久留米、緋、鹿兒島、沖繩兩縣の緋、紬、上布等あり、尙佐賀、鹿兒島兩縣の陶器、大分縣の疊、表、竹細工等著はる。



は五島附近の鰯、鰯、鯨、薩摩の鰹、東岸の鰯、島原灣の鯉、牡蠣を主とす。工業品には北部地方に製鐵、藥品、セメント、玻璃、紡績等あり、又織物には福岡縣の博多、織、久留米、緋、鹿兒島、沖繩兩縣の緋、紬、上布等あり、尙佐賀、鹿兒島兩縣の陶器、大分縣の疊、表、竹細工等著はる。

主要交通系



交通 九州の西部、北西部の沿岸は良港に富み、且石炭業の勃興は、港灣の修築と鐵道の發達とを促せり。

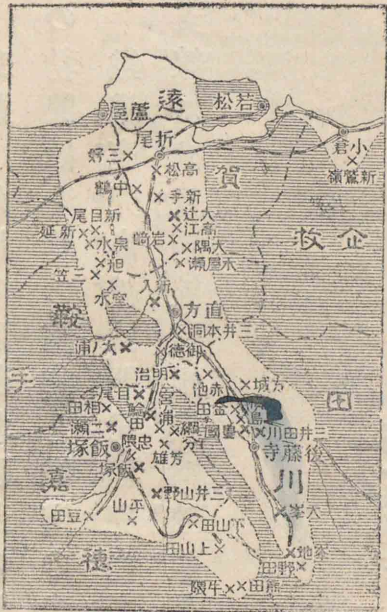
鐵道鹿兒島線は、門司、鹿兒島を連ねて本島の幹線をなし、支線には、長崎線、豊州線、宮崎線等あり。筑豊炭田地方には、

運炭用の鐵道多く、遠賀川流域は、運河通じて海港と炭田地方とを連絡す。海運は長崎、門司を大中心とし、内地は勿論、朝鮮、臺灣及び諸外國と船舶の往來繁し。開港場には、長崎、門司、博多、若松、唐津、住江、口津、三池、三角、鹿兒島、那霸、嚴原、鹿

福岡縣都邑人口

市	人口
福岡市	九七、三
八幡市	八、五
門司市	七、四
大牟田市	七、二
久留米市	四、七
若松市	四、四
小倉市	三、一
穂波村	二、六
香月村	二、四
飯塚町	二、四
添田町	二、三
戸畑町	二、一
後藤寺町	二、一
直方町	一、五

筑豊炭田分布



見・佐須奈あり。

第二處誌

九州の北半部は、炭田の開発・工業の勃興等の爲め都邑發達し、人口稠密なり。

福岡縣は三方海に面し、筑後平野、山地を南北に貫きて、博多灣と島原灣とに開く。本縣は、鑛業の進歩最も著し。門

司市は下關海峡を扼し、水陸交通の要路に當り、石炭の集散地にして、又セメント工場あり。鐵道鹿兒島線是に發し、小倉・八幡・福岡・鳥栖・久留米・大牟田を経て熊本に向ふ。小倉市は第

中地理日本

中地理日本

門司と下關とは狭き海峡の兩側に在るを以て殆ど同一港の觀あり。門司・小倉・若松附近は工業發達し煙突林立し英國黑郷の感あり。

久留米織工場

宮崎宮

(官幣大社)

祭神 應神天皇

香椎宮

(官幣大社)

祭神 神功皇后

外一神

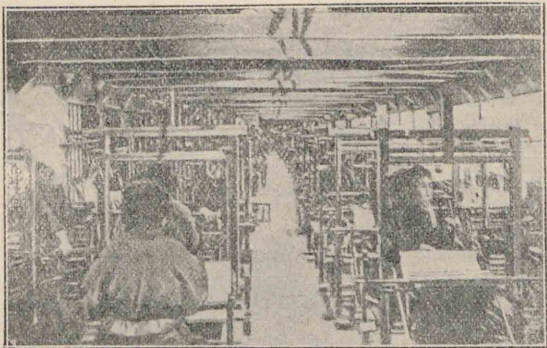
太宰府神社

(官幣中社)

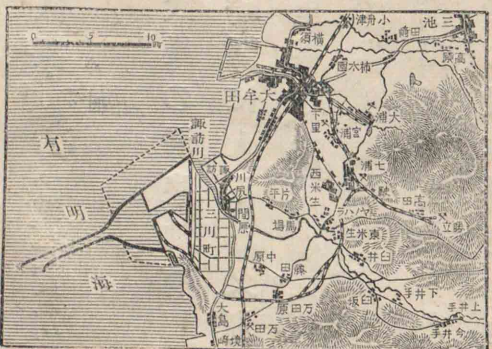
祭神 菅原道眞

三池港附近の

こちふかばにほひ
おこせよ梅の花
なして春な忘れ
そ。(菅公)
人臣にして官幣社
に祀られしは菅公



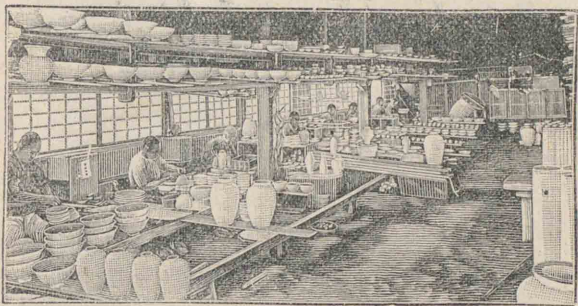
十二師團司令部の所在地にして、鐵道豐州線の分岐點に當る。八幡市には宏大なる製鐵所あり、原料を支那の大冶其他に仰ぐ。若松市は洞海を隔てて八幡市と相對し、石炭の集散大にして、帆檣林立の景況は本邦無比なり。福岡市は博多港を控へ、九州帝國大學あり、附近に元寇の舊蹟、宮崎宮・香椎宮あり。太宰府に太宰府神社あり。久留米市は、筑後川の南岸に立ち、郊外に第十八師團司令部の所在地あり。大牟田市は三池



一人のみ。
三池の設備は東洋
第一と稱せらる。
佐賀縣都邑人口

佐賀市 五七九
相知村 三〇六
北波多村 一七一
嚴木村 一三二
唐津町 二二七

陶器製造



炭坑を以て榮え、三池港は石炭輸出の爲めに賑ひ、其港は閘門式によりて潮汐干満の差を調節す。飯塚直方は遠賀川に沿ひ、炭鑛業の中心地なり。
鐵道、長崎線は鳥栖に發し、佐賀を過ぎ、武雄の温泉地、有田の陶業地を経て長崎縣に入る。又別に唐津線及び伊萬里線を派す。佐賀市は米穀の集散地に當り、高等學校あり。唐津は石炭の輸出多く、其北西なる名古屋は、豊公征韓の役本營を置きし處なり。

長崎縣の地は、數多の半島地と島地とより成る。鐵道長崎線は佐賀より來り、途中、佐世保、島原に支線を派し、長

中地理日本

中地理日本

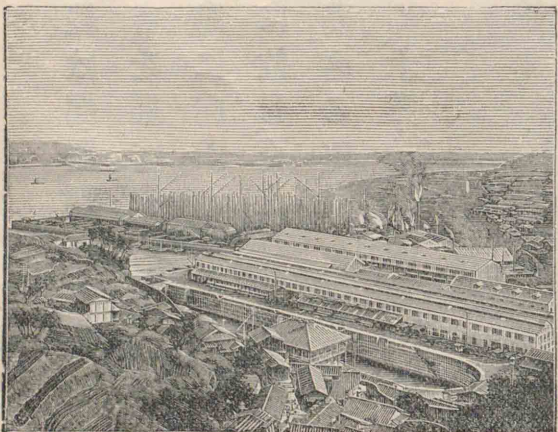
長崎縣都邑人口

長崎市 一九七五
佐世保市 二四三
福江村 一三六
西庄屋村 二二六
平戸村 二二二
茂木村 二二二

三菱ドック

長崎市繁榮の一因は三菱造船所あるに因る。
對馬は滿潮の時に於ては南北の二島に分る。

崎に達す。長崎市は良港を控へ、明治維新前、本邦唯一の開港場なりしより、當時、西洋文物の輸入地として知られ、近時浦鹽斯德、南洋等に對する中繼貿易行はる。市の内外に控訴院、醫學專門學校、高等商業學校、三菱造船の大工場等あり。島原半島には温泉多く、避暑に適し、又牧牛行はる、島原、口津の名邑あり。佐世保市は海軍鎮守府の所在地にして、平戸、島五島附近は水産物の産多く、平戸、福江を其中心地とす。大瀬崎には無線電信局あり。對馬は中央部に海水灣入し、南北二島に分る、入江の南岸に竹敷あり、嚴原は島廳の所在地なり。壹岐には勝本の



S O N W

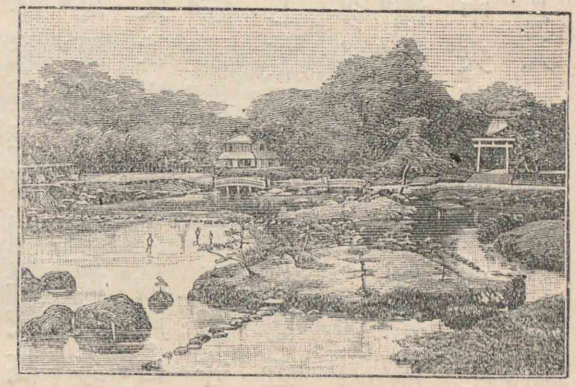
熊本縣都邑人口

熊本市	六九三
水俣町	二〇〇
荒尾村	二六六
八代町	二二一
牛深町	二二四

水前寺

田原坂西南役
記念碑

菊池神社
(別格官幣社)
祭神 菊池武時
阿蘇神社
(官幣大社)
祭神 健甕龍命



良港あり。
鐵道鹿兒島線は福岡縣より來り、熊本・宇土・八代・人吉を経て、大畑のループ線となり、鹿兒島に向ふ。熊本市は熊本平野の中央に位し、百貫石港を控ふ市内の丘地に著名の堅城あり、第六師團司令部を置く、木葉・植木・田原坂と共に、西南役の激戰地なり。市外に高等



中地理日本

中地理日本

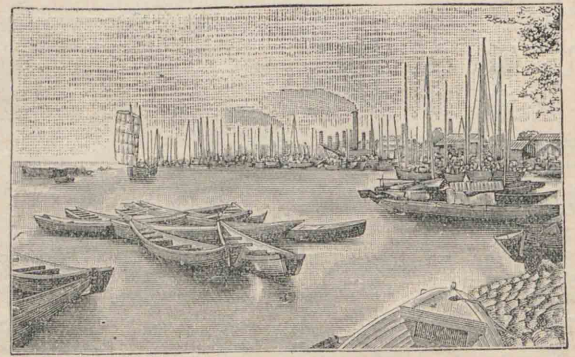
八代宮
(官幣中社)
祭神 懷良親王

八代セメント工場附近

大分縣都邑人口

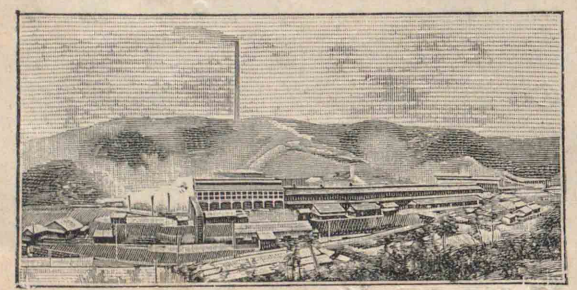
大分市	四一八
別府町	二五七
臼杵町	二〇八
中津町	二二五
佐賀關町	二二四
日田町	二二二

佐賀關の精煉所全景



社鎮座す。八代は球磨川の口に當り八代宮あり、木材の集散地にして、八代セメント工場あり。人吉は同盆地の中心に當る、北方山地に五箇莊あり。天草島は無煙炭、陶土、水産物を出す。

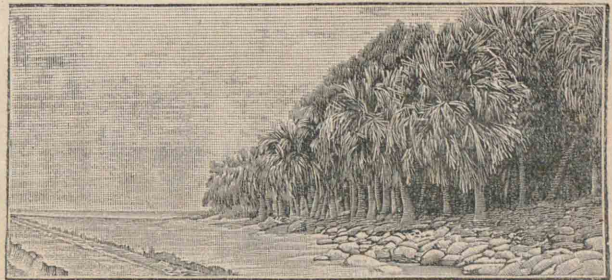
大分縣は到る處風致に富み、温泉、噴氣孔甚だ多し。鐵道豊州線は、福岡より來り、中津・宇佐・別府・大分・臼杵を過ぎ、佐伯に達す。大分市は別府灣に臨み、壘表、花菰の取引多し。別府及び附近の地は温泉を以て名高し。大野



宇佐神宮
(官幣大社)
祭神 應神天皇

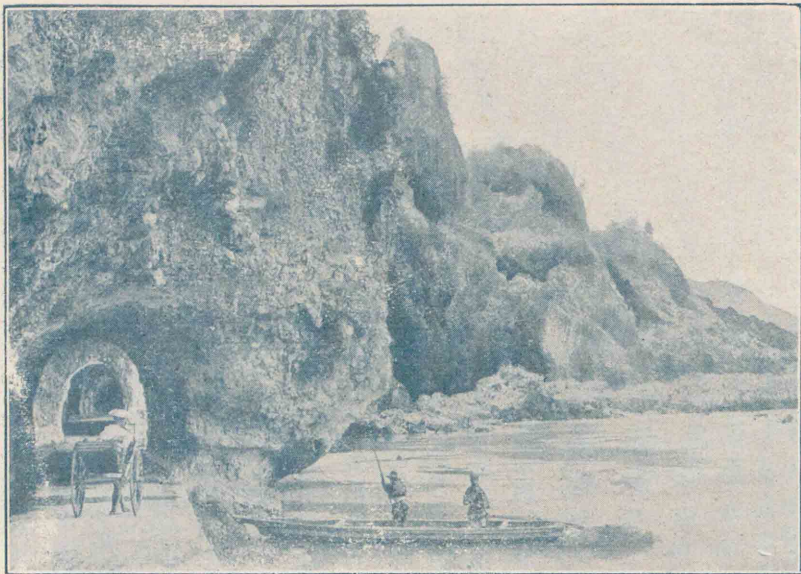
青
島

宮崎縣都邑人口	單位(千)
都城町	二六四
小林町	三、四
宮崎町	三〇七
飯野村	二二四
宮崎神宮	
(官幣大社)	
祭神 神武天皇	

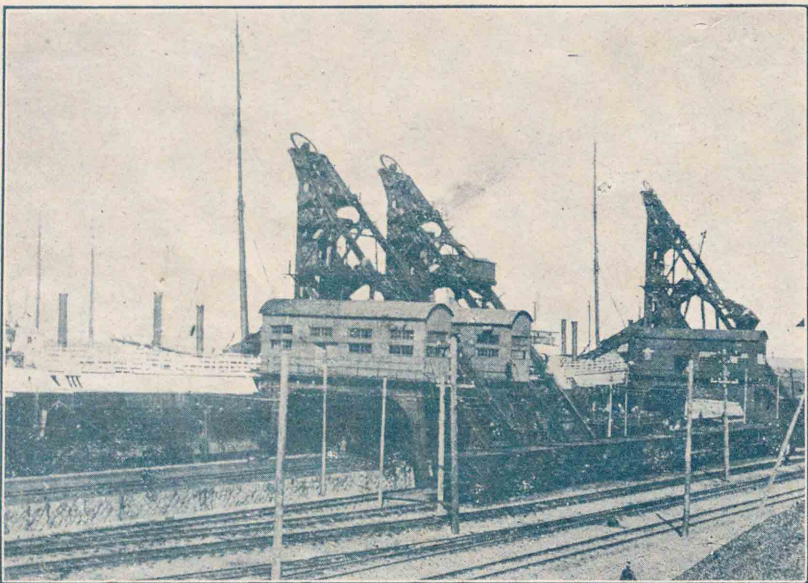


川の上流に竹田の名邑あり、熊本に通ずる要路に當る。佐賀關には精煉所ありて、金銀銅を製煉す。白杵佐伯は豊後水道の要津なり。宇佐には宇佐神宮あり。中津より山國川を溯れば、耶馬溪の勝地あり。宮崎縣は土地溫暖にして、太古より開けたるに關らず、開拓普からずして交通不便なり。都邑は多く、河岸河口に沿ふ。延岡は五箇瀬川の口に當り、木材銅の集散地にして、南方に細島港あり。宮崎は大淀川に沿ひ、宮崎神宮此處に近く、南方に飢肥油津港あり。宮崎より鐵道宮崎線によれば、都城、小林を経て鹿兒島本線に會すべし。都城は鹿兒島に通ずる要路に當り、多く茶を産す。

中地理日本



耶馬溪の青洞門



三池港の石炭積込

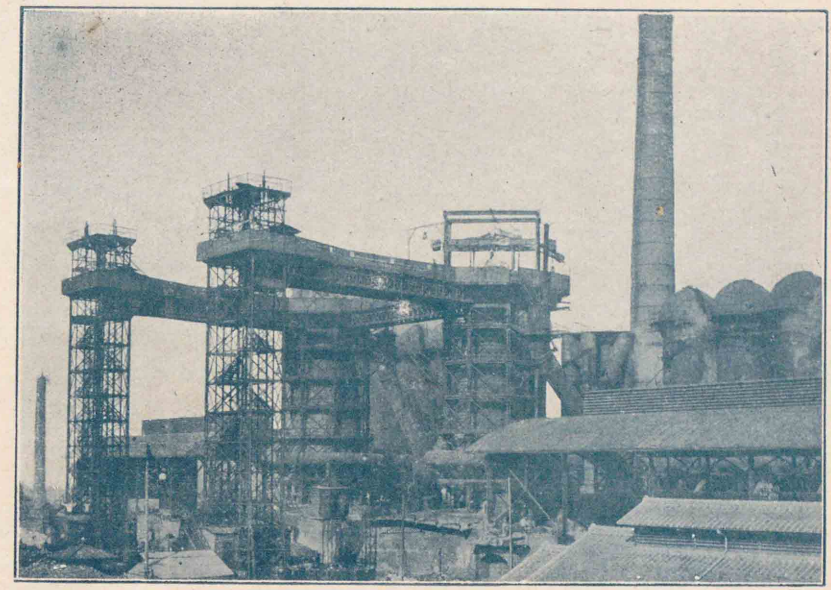
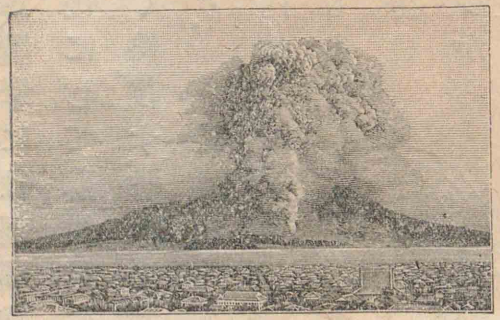
鹿兒島縣都邑人口

鹿兒島市	九三三
谷山村	三〇八
瀬田村	三〇七
東南方村	三〇五
名瀬村	三〇四
串木野村	三〇三
阿久根村	三〇二
喜界村	三〇一
伊敷村	三〇〇
垂水村	二九九
川邊村	二九八
加世田村	二九七

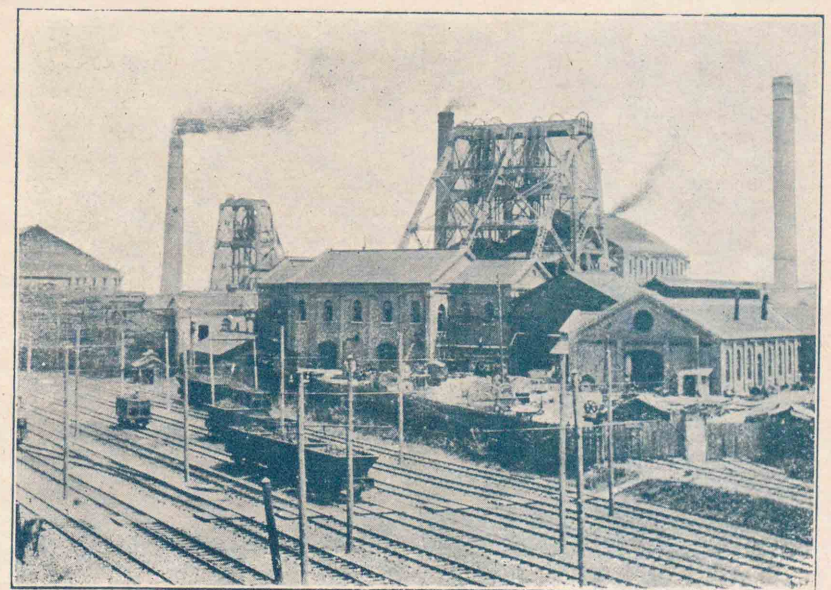
櫻島

九州南部の地は、鹿兒島縣にして、大隅・薩摩兩半島出でて鹿兒島灣を抱き、其南に薩南諸島あり。鐵道鹿兒島線は、吉松・國分・加治木を経て鹿兒島に達す。鹿兒島市は鹿兒島灣に臨み、薩摩・燒薩摩・紺錫器の中心市場なり。市の後方なる城山は西郷隆盛終焉の地なり。南方の谷山は錫を、北東の國分附近は煙草を産す。灣内の櫻島は、大正三年一月破裂し、灰砂全島を没し、熔岩東西に溢流し、東方大隅と接続せり。薩南諸島の大島は、風俗沖繩縣に類似し、砂糖の産多く、紬織は上質を以て知らる。種子島は鐵砲の傳來を以て著はれ、屋久島は良質の杉材を産す。

沖繩縣は沖繩・宮古・八重山の三群島よ



八幡の製鐵所



三池炭坑

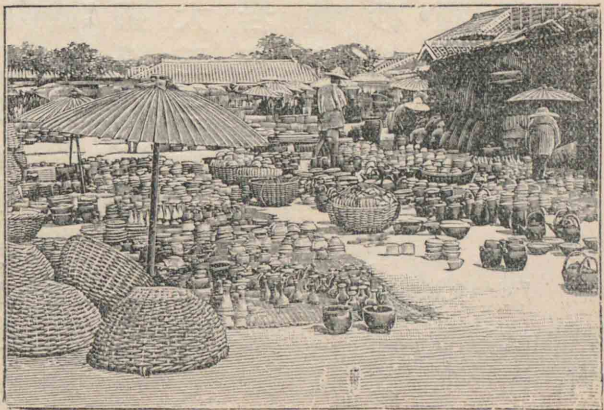
中地理日本

沖繩縣郡邑人口

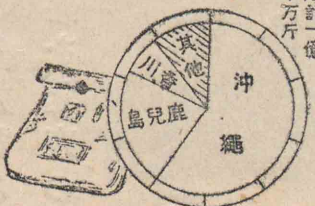
那覇區	五、八、九
首里區	二、八、三
本部村	二、三、九
宜野灣村	三、二、六
平良村	三、〇、九
中城村	一、七、九
具志川村	一、七、八
美里村	一、七、二

那覇の市場

砂糖産額比較



り成り、島内山多く、沿岸には珊瑚礁
 發達す。氣候溫暖にして、蘇鐵香蕉
 其他熱帶植物よく繁茂す、甘藷の栽
 培豚の飼養盛なり。風俗は内地と
 稍異なり、言語は内地砂糖産額比較
内地計一億
六千万斤
 古語の轉訛せしもの
 多く、又女子の勤勞は
 男子に優るもの少から
 ず。家屋は、旋風の襲來
 屢なるを以て、平家造多



く、家の周圍に石又は樹木の垣を繞らす。那覇區は沖繩島
 の南部に位す、其東方約一里に首里區あり、丘陵上に位し、舊
 王城は珊瑚石灰岩上に立つ、東岸に中城灣あり、兩區共に織

中地理日本

中地理日本

ラマ島は良質の糖
 蜜を産す。無線電
 信局あり。

第八章 臺灣地方

第一 總説

位置 臺灣は本邦の南西端に位し、臺灣總督府之を管轄
 し、其下に五州二廳を置く。

臺北州、新竹州、
臺中州、臺南州、
高雄州、
臺東廳、花蓮港廳、

沿海 地形略紡錘狀を呈し、沿岸線の屈
 曲殆どなく、東は太平洋に浴し、西は臺灣海
 峽に面し、澎湖島、同海峽内に横はる。

地勢 臺灣山系南北に走り、其分水山脈
 は本島の主軸をなし、本邦の最高山脈にして、シルピヤ山、大
 雪山、新高山等あり。新高山は東西南北中の五峰より成り、

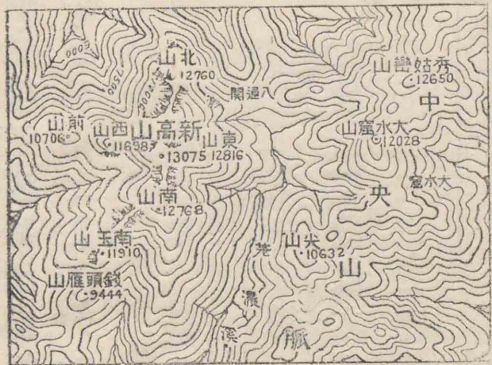
行政區劃表

熟蕃
生蕃

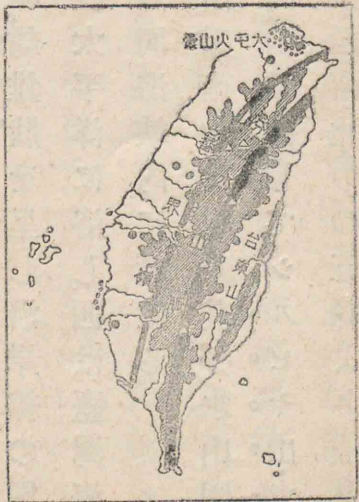
中央新高山は高さ
三九六二米なり。

地勢及び都邑
分布

新高山地形圖



中央新高は本邦無比の高山なり。分水山脈の東斜面は、山勢海に迫り、南半部に至れば、低き臺東山脈との間に細長き平野あれども、沿岸は絶壁削るが如き處多し。



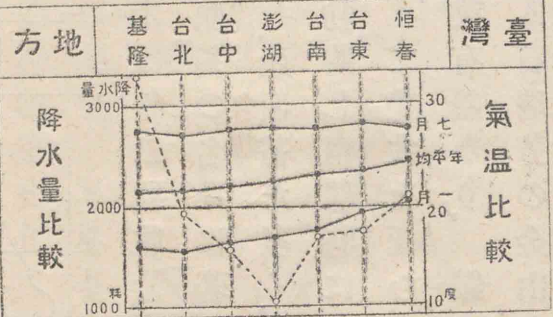
分水山脈の西側には蕃界嶺あり、之より西方は、次第に緩斜して廣大なる平野となり、淡水河、濁水溪等之を灌溉す、島の北部に大屯火山彙あり。
氣候 南半は熱帯に入り、山地と雖も霜雪を見ること少なし。雨量は多きも、乾濕二季に分れ、毎年十月より翌

中地理日本

中地理日本

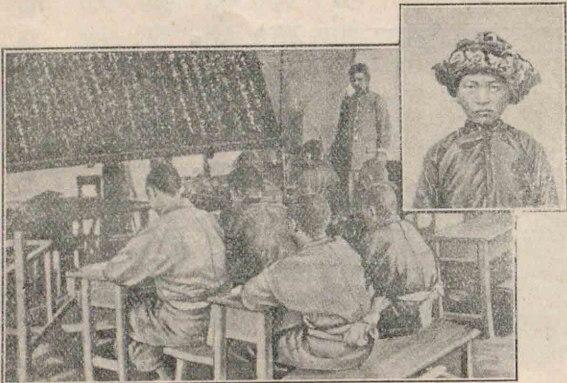
氣温及び降水
量比較

臺灣蕃族

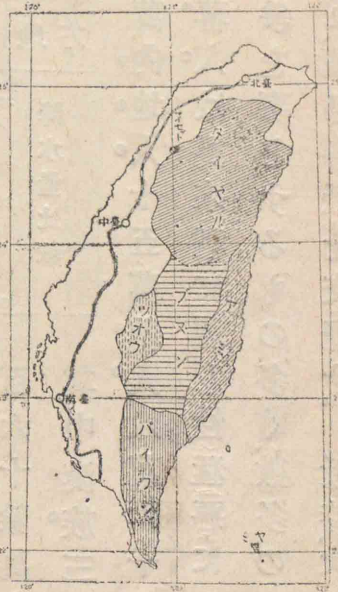


萬内地人十五萬、蕃人八萬六千あり。蕃人は馬來種に屬し、性猛惡にして鬪争を事とするもの多く、數多の社に分れ、頭目各社を支配す。近時次第に皇

年三月頃までは、北東風吹き、北部雨多き南部乾き、四月より九月頃までは、南風吹き、南部に雨多く北部は晴天續く。マラリヤは當地の流行病なりしが、近時衛生の設備整ひ、漸く減少するに至れり。
住民 人口約三百六十餘萬ありて、其中、漢族三百四十



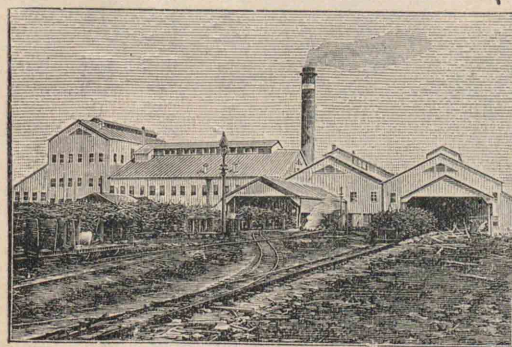
蕃族分布圖



四倍
四倍
四倍
四倍
四倍

製糖工場

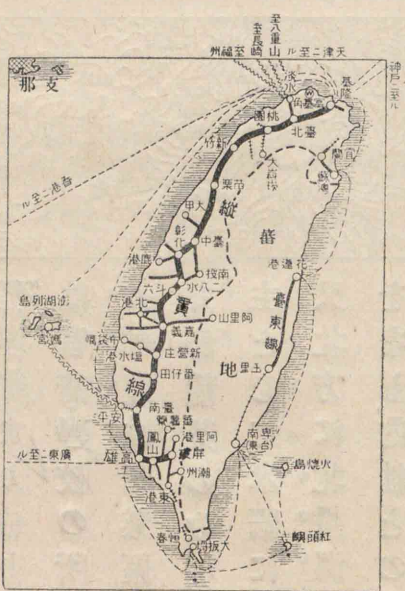
米は年二回収穫す。茶は北部に多く、烏龍茶の名世に著はる。樟腦も北部に産し、産額甚だ多く、甘蔗の栽培は近年大に勃興し南部特に著しく、製糖業亦年を追うて盛大を極む。阿里山其他、山地の林業有望なり。鑛物は石炭、金を主とし、金瓜石、瑞芳の金山名あり。家畜には豚、水



中地理日本

澤に浴し、良民と化しつつあり。
産業 氣候炎熱にして樟樹、林投樹、檳榔樹、竹類、鳳梨、香蕉等繁茂し、又農産に富み、

主要交通系



特別開港とは支那形船舶の出入貿易を許されたものにして、基隆、後壠、梧棲、鹿港、東石港、東港、媽宮(馬公)の七港なり。安平は臺南の一部なり。

牛・黄牛等あり。天日製鹽業大に發達す。産物中、鹽、樟腦は政府の專賣品に屬す。交通 南北縦貫鐵道は基隆に起り、西部平野の臺北、桃園、苗栗、臺中、彰化、嘉義、臺南等、主要都會を連絡し、南方高雄に達す。又數多の輕便鐵道は、南部製糖業の盛なる地方其他に發達せり。海運は基隆、淡水、高雄、安平等を中心として内地、支那との間に定期船往復す。西部一帯は遠淺にして、良港なければ、竹筏によりて本船と連絡す。海底電線は内地と支那とに通じ、富基角には無線電信局あり。開港場には淡水、基隆、安平、高雄の外、特別開港場あり。

第二處誌

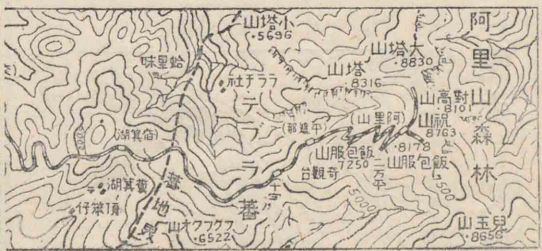
臺北州都邑人口
單位(千)
臺北市 一〇六八
基隆 一八一
宜蘭 一六四

臺北市街

臺灣の都市は今回
其面積著しく變化
したれば人口は従
前のものによる。

阿里山鐵道

嘉義・阿里山間
四十六哩



臺北州は北部に位し、臺北市基隆淡水・宜蘭・蘇澳等の都邑あり。臺北市は本島第一の都會にして、總督府臺北州廳・覆審法院・醫學專門學校あり、市街は城內・猛艸・大稻埕等より成り、城內は官衙・學校の所在地、大稻埕は商業區にして、烏龍茶の取引多く、主として米國に輸出す。臺灣神社は是に近く、又北方に北投・溫泉あり。基隆は本島の北門をなし、内地との取引多く、要塞の設あり。



中地理日本

新竹州都邑人口

新竹 一七〇

臺中州都邑人口

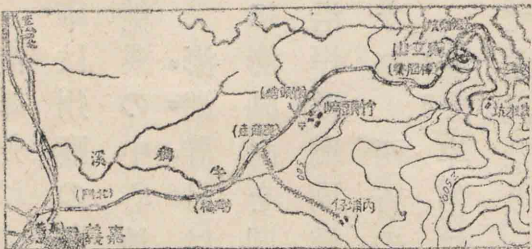
臺中市 一六二
鹿港 一九二
彰化 一六四

臺灣神社

(官幣大社)
祭神 能久親王
外敷神

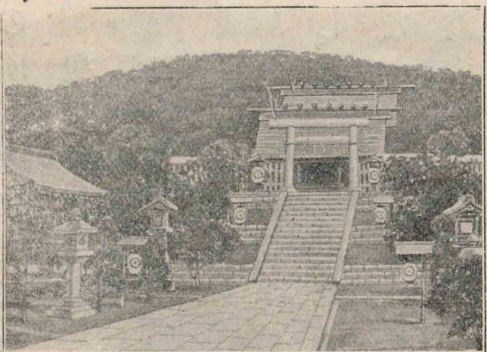
この島のあらむ限
りはかがやかむ名
も高砂の神のみい
づは。(北白川宮
妃)

臺南州都邑人口
單位(千)
臺南市 六二九
嘉義 三二五



淡水は臺北と船車を通じ、支那との取引盛にして、茶・樟腦の輸出多し。新竹州には、桃園・新竹・苗栗等の都邑あり。新竹は州廳の所在、苗栗は樟腦の集散地に當り、米産多く、又木藍・落花生を産す。臺中市に州廳あり、市は彰化と共に大肚溪の流域に位し、中部主要の都邑にして、其門戸たる鹿港・梧棲・塗埔里は蕃地に對して重要な位置を占む。

臺南州は甘蔗の産多く、製糖額年年増加す。落花生・鳳梨・龍眼肉等の産亦多く、



中地理日本

赤崁樓は和蘭人の城址たりしところ
開山神社は鄭成功を祀れる處なり。

高雄州都邑人口

單位千

高雄

一五、六

高雄は舊名打狗、屏東は舊名阿猴なり。

沿海は天日製鹽盛なり。臺南市は州廳の所在地にして、嘗て本島の首府たりし處、赤崁樓、開山神社等史蹟多し。其一部たる安平は砂糖、食鹽等を輸出す。嘉義は製糖業の中心地に位す。斗六は樟腦を集散す。
高雄州は本島の南部を占め、高雄、鳳山、屏東、恒春等あり、高雄は州廳の所在地にして、砂糖の積出多し。屏東、鳳山は製糖業の中心地に當り、恆春は最南の都邑なり。
澎湖群島は高雄州に屬し、澎湖、白砂、漁翁の三島鼎立し、中に澎湖灣を圍む。陸上は風強ければ樹木殆ど生長せず。沿岸は珊瑚礁の發達著し。馬公は開港場にして、海軍要港なり。西方の小島、花蓮は本邦の最西端に位す。
臺東(卑南)は臺東平野の中心に位し、臺東廳の所在地にして主邑なり。花蓮港は荖萊溪の口に位し、花蓮港廳の所在

中地理日本

中地理日本

地なり。

沿革 臺灣は、嘗て支那の領土たりし地にして、一時鄭成功之を占領せし事ありしも、再び支那の有に歸し、明治四年、臺灣土人の、我が琉球の漂着民を殺害せしより、明治七年の征臺軍を起し、後、明治二十七八年戰役の結果、我が領土となれり、以來、勸業、衛生、交通、教育等總て面目を改め、大正九年九月更に行政區劃を變更し、五州二廳に分つ。

第九章 北海道地方

第一 總說

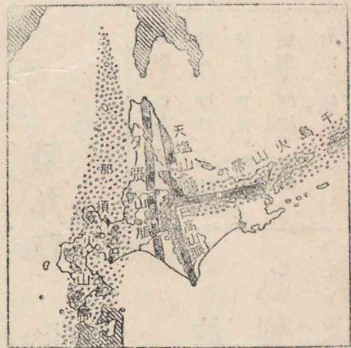
位置 本州の東北に位し、北海道本島と千島列島とより成る。北海道廳之を管し、其下に六區、十四支廳を置く。

行政區劃表

十四支廳名

札幌・函館・釧路・
後志・空知・上川・
留萌・宗谷・網走・
室蘭・浦河・釧路・
河西・根室

地及び郡邑
分市



沿海 屈曲に乏しく、段丘相連り、或は砂嘴、砂丘發達し、澤湖横はる處多し。海灣としては僅かに半島部に函館内浦小樽の三灣と、東部に根室灣とあるのみ。

地勢 地形恰も赤鱗の跳るが如く、蝦夷山系の

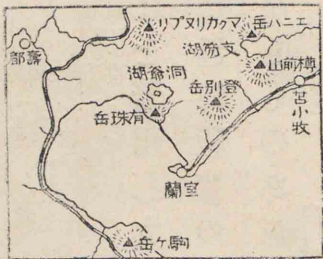
の天鹽日高兩山脈と千島火山帯との交る處には、本島の最高峯ヌタクカムウシユベ山(旭嶽)石狩嶽あり、跡佐登阿寒嶽十勝嶽等は千島火山帶上に在り。蝦夷山系の西には夕張山脈ありて、餘脈宗谷岬に及び、其間に上川、富良野等の盆地あり、又内浦灣の周圍には那須火山帶通じ、マクカリヌプリ(後



中地理日本

後方羊蹄山

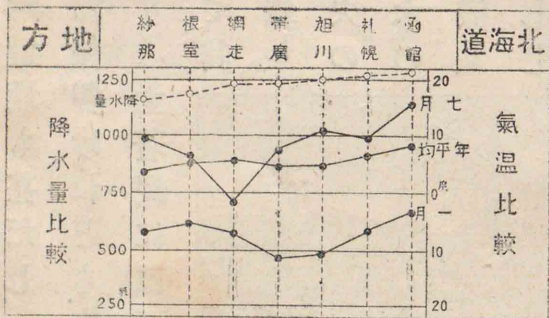
内浦灣附近火
山分布圖



方羊蹄山、駒嶽、惠山、樽前、有珠等の諸火山噴起す。河流は中央の山地に發し、石狩川、天鹽川は日本海に入り、十勝川、釧路川は太平洋に向ひ、西別川、常呂川、網走川は阿斯科海に注ぐ、何れも流勢緩にし

氣温及び降水
比較

で、釧路川の如き、殆ど水源まで舟を通ずべし。是等の流域には石狩、十勝、釧路等の良平野横はる。氣候 一般に寒氣強く、石狩川の上川盆地及び蝦夷山系以東殊に甚だしく、阿斯科海面は冬期結氷し、或は流水襲來して海客を凍れしむ。西岸は暖流の影響を受けて氣温稍



中地理日本

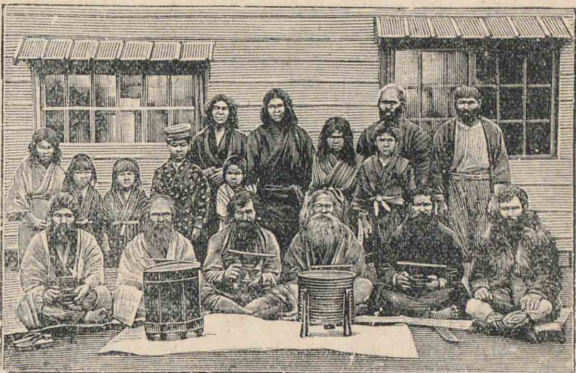
バラック式
(運分牛)

アイヌ

文身の風は近時禁
止せられたり。

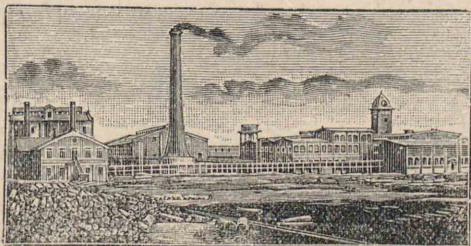
苫小牧製紙工
場

昭西ノ報
田島 旨野歩
二十万町歩
出ま守地



之を著用し、丸木の茅屋に住むを常となししが、近時教育の結果、風俗言語等、内地人と大差なきものあるに至れり。

産業 本道は拓殖其歩を進め、産業の發達著しく、石狩上



中地理日本

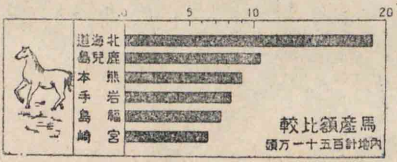
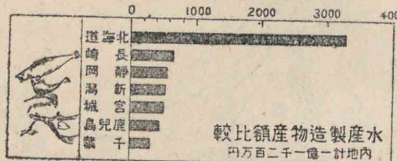
中地理日本

米九千馬石
昭西ノ報
田島 旨野歩
二十万町歩
出ま守地

進歩せる農法進歩
せる農具は北海道
に於て之を認むべ
し。

大豆 十勝石狩
豆類
蕎麥
ササコ
ササコ
ササコ
ササコ

鮭は西別川のもの
を最も良とす。



川等の平野には、機械力應用の大農法行はれ、麥・豆・馬鈴薯・蕎麥・玉蜀黍・玉葱・玉菜・苹果等を産す。又蝦夷山系以西は米産額次第に増加す。山地は蝦夷松・椴・榿・白楊・檜・栗等密林をなし、鐵道枕木・製紙原料のバルブ・燐寸・軸木等を供給す。石炭は夕張山脈以西に多く、夕張・美唄・新夕張及び幌内等に於て、盛に採掘せられ、爲めに本地方鐵道の發達を促せり。又奥尻・幌別・岩雄・登等の硫黄・國富の金・銀・銅等著はる。水産物には鮭・鱈・鱒・鱒・鰩・柔魚・鰈等多く、水産製造物の産額は本邦第一に位す。山地の湖沼は鱒の養殖に利用せられ、支笏湖特に盛なり。

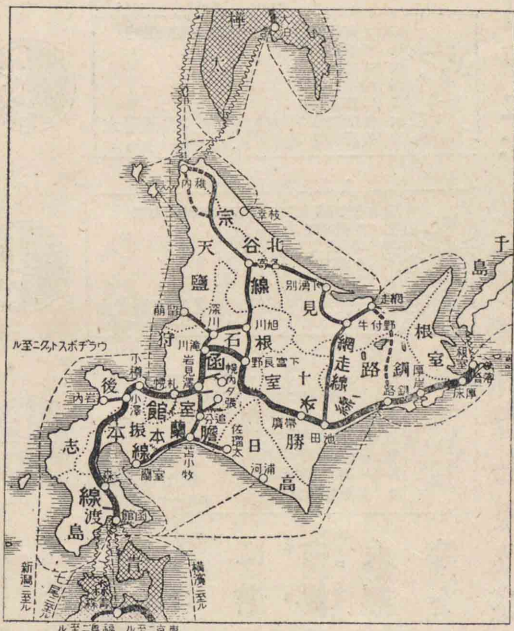
工業は石炭の豊富低廉なると、工業原料多量なるとにより、麻布・麥酒・西洋紙等の製造漸次盛大となれり。苦小牧には製紙の大工場あり。牧場各地に存し、馬の飼養甚だ盛にして、頭數全國無比なり。

十七万七千頭

交通 鐵道 函館より起り、俱知安・小樽・札幌・瀧川・帶廣・池田・釧路を経て、厚床に至るものを幹線とし、室蘭・留萌・宗谷・富良野・網走等の諸線之に連絡す。陸上各地には驛の設あり、冬季交通には馬橋を使用す。海運

中地理日本

主要交通系



北海道都邑人口

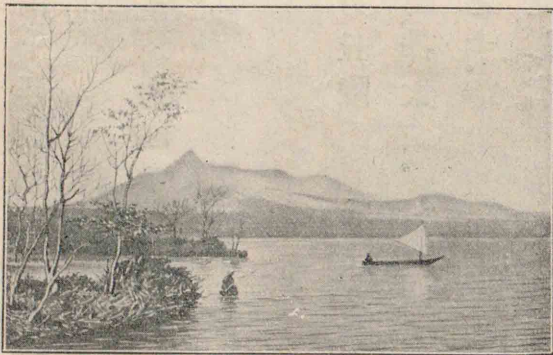
函館區	一三、六
小樽區	一〇、五
札幌區	九、六
旭川區	六、一
室蘭區	六、三
夕張町	七、六
釧路區	三、四
岩見澤町	二、四
網走町	三、三
歌志内町	三、五
留萌町	三、〇
余市町	一、八
新十津川町	一、五
江別町	一、五
岩内町	一、五
俱知安町	一、〇
大沼公園	
根室町	一、四
苦小牧町	一、三
豊平町	一、三
増毛町	一、三

は函館・小樽を中心とする定期航海ありて、沿海諸港に通じ、又横濱・神戸・浦鹽・斯德・樺太と連絡す。開港場には函館・小樽・室蘭・釧路・根室あり。

第二 處誌

本道は土地廣大なるも、新開地なるより都邑甚だ少なし、石狩平野には農業都市多く、夕張山地の西側には夕張其他鑛業都市多し。

函館區は函館灣に臨み、本島の南門に當り、水産物の輸出多く、區内に控訴院・船渠會社あり、ここに近く五稜廓より、明治戊辰の役に知られ、其外濠よりは水を産す、函館氷これなり。附近一

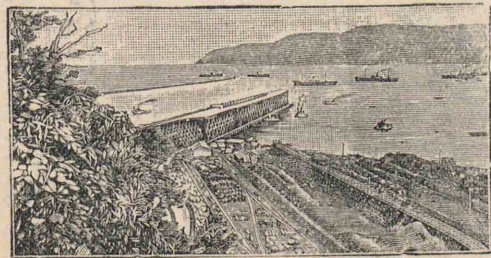


帯は要塞地帯なり。大沼公園は駒嶽山下に位し、湖中に數多の島嶼散在し、風致掬すべし、森は内浦灣に臨み、室蘭に渡る要津なり。江差壽都岩内は西岸の漁港にして、鯨、鱈等を集散す、江差の北西に奥尻島あり。俱知安は新開地として知られ、福山は舊松前の地なり。

小樽港

小樽區は石狩平野の門戸に當り、後方丘陵を負ひ、石炭、木材、水産物の集散地にして、樺太島領有以來益榮え、將に函館を凌がんとす。高等商業學校あり。余市は其西方に位し、苹果を産す。

札幌區は石狩平野の南西部に位し、豊平川に沿ひ、全道の首府にして市區井然たり。北海道廳、北海道帝國大學あり。麥酒、麻布等の



中地理日本

中地理日本

札幌神社
(官幣大社)
大神 大國魂神
外二神



工場多く、市外に札幌神社あり。岩見澤は交通上の要地にして、石狩平野の中心に位す。

鐵道は岩見澤より室蘭線を、瀧川より釧路線を、深川より留萌線を、旭川より宗谷、富良野兩線を派す。又夕張、幌内、幾春別、歌志内等の炭坑へも支線を派す。

室蘭區は鐵道の起點に當り、石炭、木材の輸出多く、日本製鋼所の大工場ありて、兵器其他の製作に従事す。室蘭の東北に登別あり、温泉の湧出夥し。日高地方は牧畜行はれ、新冠に御料牧場あり、良馬を産す。沙流川の沿岸にはアイヌ部落多し、平取最も著はる。

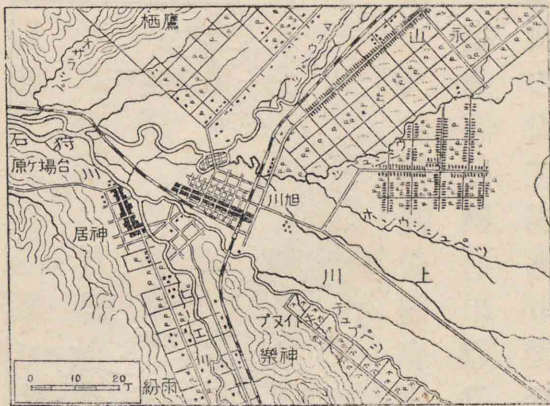
旭川區は上川盆地の中心に位し、第七師團司令部の所在

日本製鋼所は東洋無比の私立兵器製作所なり。

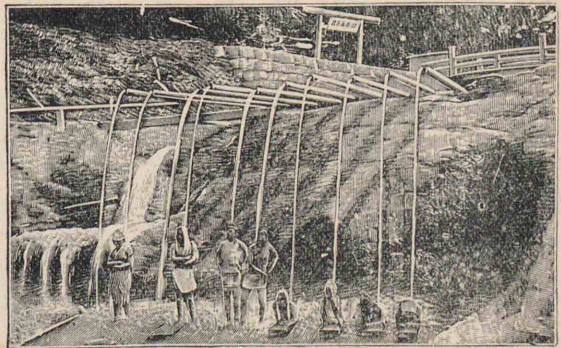
登別温泉

旭川市街

旭川其他の寄開地の田には枯木の林立せるもの多く内地人をして異様の感あらしむ。



地にして、西方に神威古潭の勝地あり、附近は冬寒甚だしけれども、夏季氣温高く、地味豊饒なれば、米穀よく熟す。南方富良野線に沿ひ、富良野新開地あり。深川より留萌線によれば留萌に達す、増毛と共に日本海の要津なり。



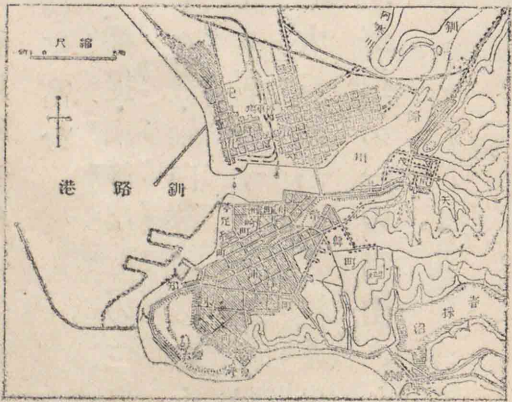
蝦夷山系以東の地は未墾の林野多し。鐵路空知川を溯り、狩勝隧道を過ぐれば、一望際涯なき十勝の大平野を瞰下すべし。帯廣は之が中心地に當り、大豆

中地理日本

中地理日本

釧路港

の集散地なり。其東方に池田をり、鐵道網走線は此處より分れて北方に向ひ、本線は白糠釧路厚岸を過ぐ。沿道牧場多く、白糠にては軍馬を育成す。釧路區は盛なる馬市行はれ、厚岸と共に木材水産物の集散地なり、附近沿海は多く昆布を産し、厚岸湖よりは牡蠣を産す。釧路川の流域は、アイヌ部落多く、水源地の屈斜呂湖畔に跡佐登火山あり、硫黄を産す。根室は千島に渡る要津なれども、冬季は港内結氷するを以て、船舶は背後の花咲に寄泊す。落石岬には無線電信局あり。網走は阿哥斯科海岸首要の港にして、附近薄荷の産多く、北西に枝幸あり。



クリルアイヌは北海道本土のアイヌと少し異なるが如し。

稚内は宗谷海峽面主要の港にして、宗谷は往昔樺太渡航の要津たりし處、尻禮文二島は水産物に富む。千島列島は三十餘の島嶼より成り、擇捉國後得撫の三島を主とす。千島火山帶之を貫通し、爺々登羅白等數多の火山峙ち、硫黄を産す、此地にクリルアイヌ居住す、紗那は擇捉島の首邑にして、夏季は漁民來集し、大に繁昌す。幌筵島に無線電信局あり。阿頼度島には北海道第一の高山あり。

第十章 樺太地方

第一 總説

位置 北緯五十度線によりて露領と界し、南は宗谷海峽を隔てて北海道と相對す。樺太廳之を管し、五支廳を置く。沿海 海岸は出入少なく、南部に亞庭灣、東部に多來加灣

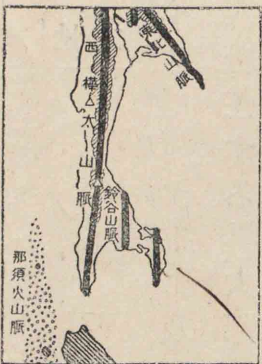
中地理日本

中地理日本

行政區劃表

支廳名	郡名
大泊	長濱・富内・大泊・留多加
豐原	豐原・榮濱・元泊
眞岡	本斗・眞岡・野田寒
泊居	泊居・久春内・鶴城・名好
敷香	新間・敷香・散江

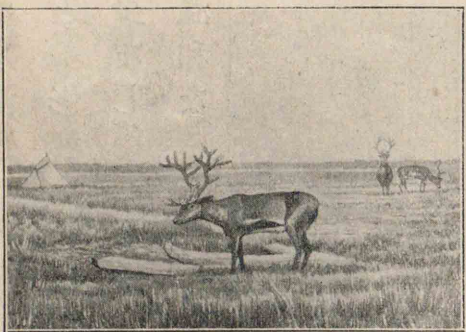
地勢及び都邑分布



凍土帯に於て喬木あるは河畔に限る

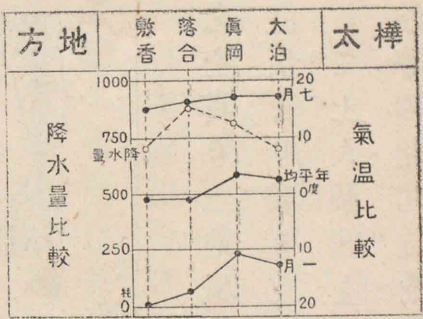
凍土帯

あり、島嶼には海豹・島海馬・島あるのみ。地勢 地形南北に長く、二條の山脈縦走す。一は西樺太山脈にして、主要の分水嶺をなし、一は其東に並行すれども、海洋之を中斷し、東北鈴谷の兩山脈に分る、此東西兩列山脈の間に二個の平地あり、北部は第一の巨川幌内川の平野あり、地下は之を貫き、土地低濕樹木殆どなく、地下は泥炭より成り、夏尙凍結す、所謂凍土帯にして、土人馴鹿を放牧す、南部は内淵鈴谷等の諸川之を潤し、農業・牧畜に適す。



内地人口九万四千
朝鮮人口三万二千
アイヌ人口二千五百
オロロン人口三千
サッポロ人口一千
シベリア人口二千
エニツチ人口二千
外国人口二千五百
九万四千

気温及び降水量比較



ギリヤーク人は樺太の人口は夏季は増加し冬季は減少す。土人は二千に過ぎず。

イヌ・ギリヤーク及びオロツコ等の土人居住する外、大部は内地の移住民にして、漁業・農業に従事し、夏季は數萬の漁民來集するも、冬季は大半内地に退き寂寞を極む。

産業 漁業を主とし、西岸・南岸には鯨、東岸には鱒・鮭の産



中地理日本

脂肪獸

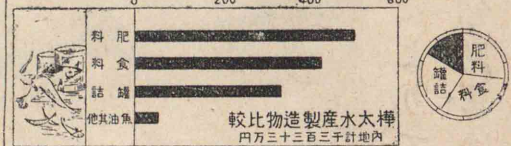
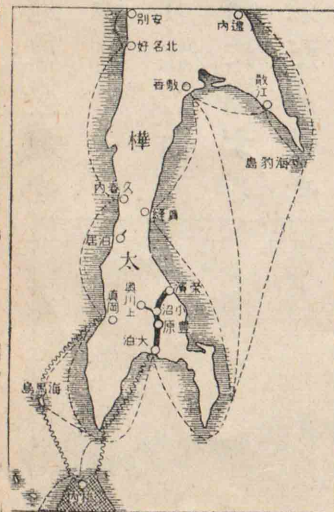
夏季海豹島の東岸に集せる状を示す。



多く、又鱒・蟹・大鱈・昆布等は各處に産す。近海には海獣棲み、海豹島は脂肪獸の保護地として知られ、毎年東岸の沙濱に群集する者數萬に達し、甚だ奇觀なり。森林は蝦夷松・椴松・落葉松・白楊・タモ多けれども、林相一般に

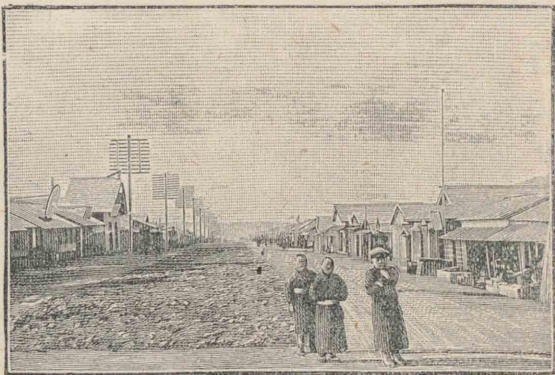
主要交通系

貧弱なり。製紙原料パルプ・燐寸・軸木等を製出す。鑛業は未だ盛ならざれども、内淵川流域其他石炭豊富にして、層厚數十



尺に達するものあり、砂金亦各地に發見せ
る。農産物は、麥・豆等を主とす。

交通 鐵道は大泊の榮町より北方内淵



河口の榮濱に通ずるも、道路は未だ完備せず、冬季は馬、馴鹿又は犬をして橇を牽かす。海運は、小樽より大泊・眞岡等と定期船往來すれども、冬季は眞岡の外沿海悉く氷結し、風波亦荒く、僅に碎氷船によりて交通に便し、春季は流水襲來し、夏季は



犬 橇

大 泊 港

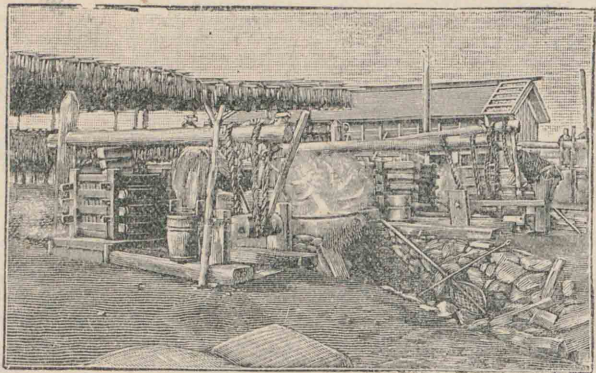
中地理日本

中地理日本

濃霧海上を閉ぢ、航海共に困難なり。

第二 處誌

大泊は亞庭灣に枕み、内地交通の要衝に當り、水産物の集散盛なり。北部の楠溪町は、往時のクシユンコタン(露名コルサコフ)の地なり。豊原は南部平野の中心を占め、樺太廳あり、郊外に樺太神社あり。眞岡は西海岸に位し、水産業の中心地に當り、冬季は漁業家來集す。敷香は幌内平野の門戸に位



鍊粕の製造

樺太神社

(官幣大社)

祭神 大國魂神

外二神

し、貴重獸皮の集中地なり。

沿革 樺太は幕末の頃まで、我が勢の及びし地方にして、

境界問題のため屢、露國と紛議を生じたりしが、明治八年千

島樺太交換條約締結せられて、一旦我が手を離れしが、日露戦役の結果再び我に復歸せり。

第十一章 朝鮮地方

第一 總説

位置 舊韓國の地にして、東西南の

三面は海に臨み、北は圖們江・長白山・鴨綠江によりて、西北利亞及び滿洲と境す。朝鮮總督府之を管し、其下に十三道を置き、道の下に府・郡・島を置く。

沿海 日本海面は斷崖に富み、屈曲

に乏しく、北に雄基灣、中央に東朝鮮灣、南に迎日灣あるに過ぎざるも、西岸南岸は之に反して港灣・岬角出入す。西岸の

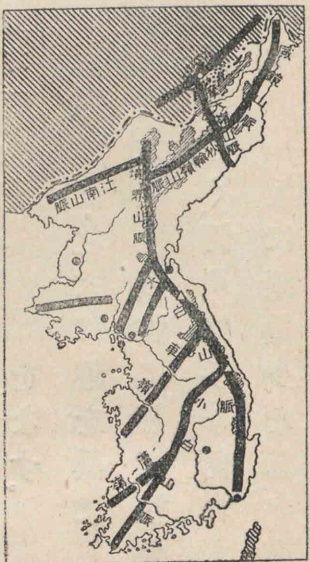
道名	所在地	道名	所在地
京畿道	京城	忠清南道	公州
黃海道	海州	忠清北道	清州
平安南道	平壤	全羅南道	光州
平安北道	義州	全羅北道	全州
咸鏡南道	咸興	慶尙南道	晉州
咸鏡北道	羅南	慶尙北道	大邱
江原道	春川		

中地理日本

中地理日本

地勢及び都邑分布

豊島沖は日清の役仁川沖は日露役の海戦地なり。



北部に西朝鮮灣、中部に仁川港あり。仁川港近海は、日露の戦役に帝國海軍の雄名を輝かせる處なり。南西海面一帯

は、無数の島嶼星の如く並び、多島海の稱あり、濟州島・珍島等最も著はる。南岸は良港に富む。

地勢 長白山脈北境を限り、脈中の白

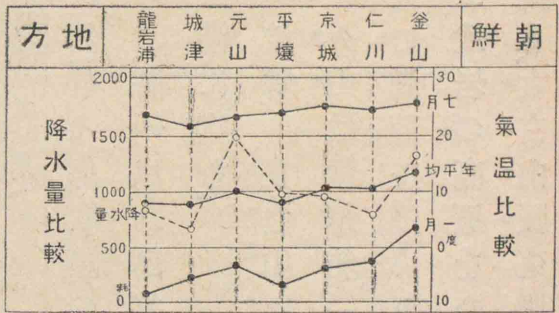
頭火山は朝鮮第一の高峰にして、山上に火口湖龍潭あり、附近數百方里の地は玄武岩の高原をなす。半島地は地形錯雜し、大白山脈東側に偏し、半島の主軸と



結氷せる漢江上の釣魚

白頭火山は高さ二千七百四十三米半なり。

氣温及び降水量比較



なりて約南北に走り、金剛山・大白山・聳え、車嶺・蘆嶺・小白山等の支脈出でて南西に走る。されば、地形東方に急に、西方に緩なり。河・流は以上の山地に發し、清川江・大同江・漢江・榮山江等は西に、洛東江は南に流る。各流域には平野散在して、農産地をなす。

氣候 南北大に趣を異にし、北半部は大陸性氣候にして寒暑の差甚だしく、河川は冬季何れも氷結す。一般に雨量少なし。南半

ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅍ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ

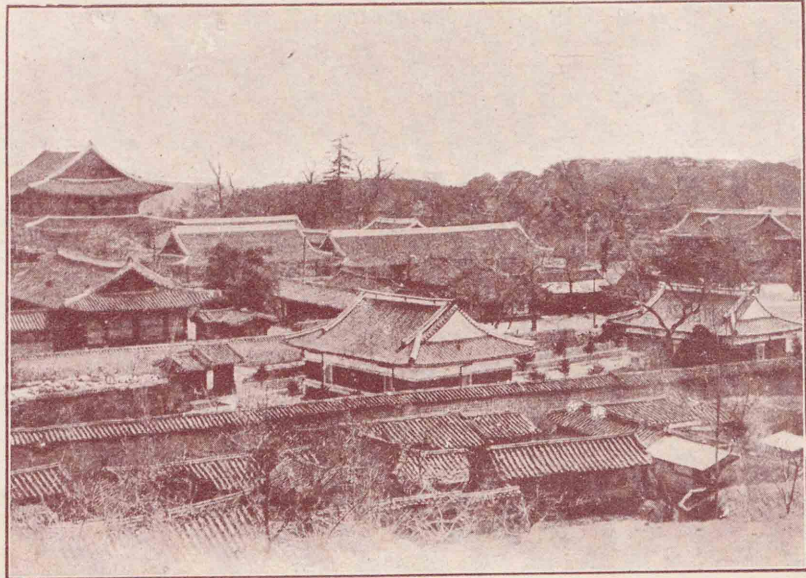
中地理日本

中地理日本

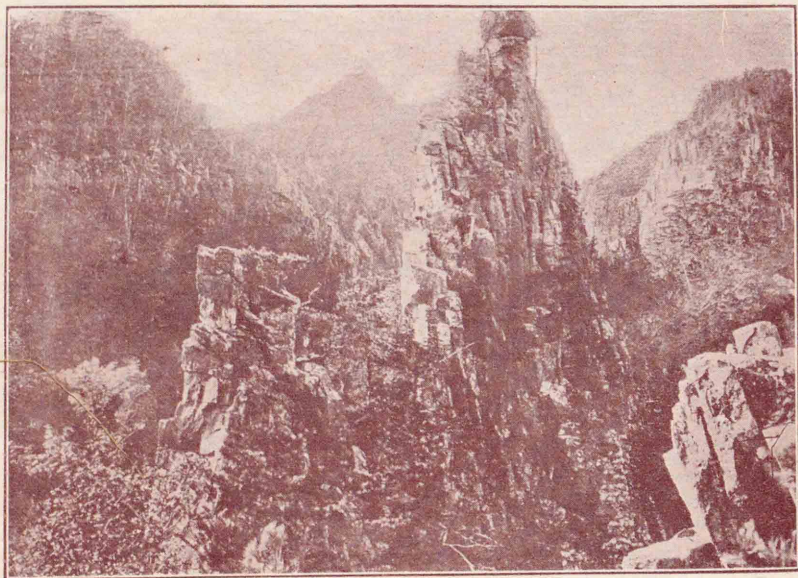
朝鮮は普通教育上特殊の教科書を使用す。
 朝鮮の住民 470万
 在留内地人三十四萬に達し重要な都會には内地風の市街次第に發達す。
 外國(一)三萬五千
 一五萬三千五百人



部は海洋性氣候にして雨量多く、概ね温和なり。全半島を通じて、毎年七月雨季に入る。
 住民 人口約一千六百萬、大部は朝鮮族にして、容貌大和民族に似たり、從來惡政の結果、遊惰に流れ貧窮甚だし。上流人は儒教を奉じ、漢文を解すれども、一般住民は文化の程度甚だ低く、僅に諺文と稱する文字を用ひ居りしが、我が治下に屬してより、學制を發布し、各種學校を設け、大に教育の普及を圖れり。普通人は藁莞葺土造の小屋に住み、衣服は白色の上衣と袴とより成り、男子は袖廣く、女子は筒袖を着し、縁廣の帽子を戴き、藁履を穿つ。冬季は溫突を使用して暖氣を採るため、草木



宮 德 昌 の 城 京



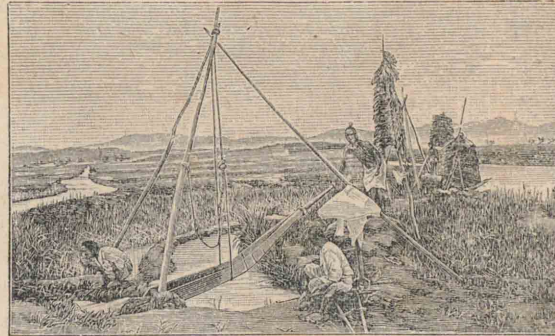
山 剛 金 の 鮮 朝

米 1490万石 = 5100万円
内地 209万石
余額 12700万円

大豆 480万石
内地 89万石
小麦 215万石
大麦 13万石
粟 600万石

線 1億1470万円(南)
牛 64000頭 = 5235万円
牛乳 342万担(内地)

朝鮮の重要産物		朝鮮農夫の澁	
米	1,260万石	金	670万円
大豆	480万石	人蔘	270万円
小麦	215万石	煙草	470万円
粟	600万石	棉花	580万円
小麥	240万石	棉花	580万円
大麥	13万石	棉花	580万円
内地より移出額	4,430万圓	棉花	580万円
内地への移入額	4,220万圓	棉花	580万円
總移出額	4,220万圓	棉花	580万円
總移入額	4,430万圓	棉花	580万円
總移入額	4,430万圓	棉花	580万円



第二編 地方誌 第十一章 朝鮮地方 第一 總説

の根までも掘取るより、自然山野を荒廢せしむ、一般に厚葬の風ありて火葬を忌む。都市には城壁を繞らせるもの多し。

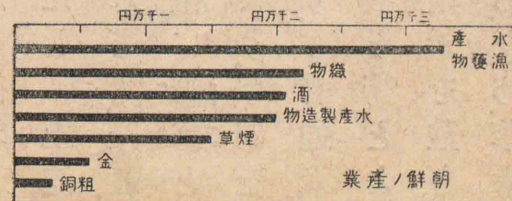
産業 平野少なきも、住民農を主生業とし、米、麥、大豆、人蔘、棉花等を産し、煙草、果樹類の栽培亦有望なり、牧牛行はれ頭數百三十萬に達し、耕耘に使役し又食牛として内地に移出す。鑛業は前途有望にして、金、鐵、石、炭、黒鉛、銅、重石等を産し、金は本邦金貨の地金に供せらる。沿海は水産に富み、明太魚、石首魚、鱈、鯨等を産し、内地人多く之が捕獲に従

朝鮮の重要産物

米 1,260万石
大豆 480万石
小麦 215万石
粟 600万石
小麥 240万石
大麥 13万石

朝鮮農夫の澁

金 670万円
人蔘 270万円
煙草 470万円
棉花 580万円



新義州の營林廠 三百八十町
支廠 中江鎮
朝鮮のナラ、シナノ木、トノノ木
三松、杉松、落葉松

金 三百五十八万円
鉄 四百二十万円
鉄 八百二十七万円
石炭 三百九十二万円
砂金 五十万円
金銀 八十七万円
粗銅 五十二万円
黒鉛 三十万円

金山、燧安、稷山、順山、銅甲山、厚昌、石炭、平壤、寺洞(無)
褐鉄鑛、黄州附近、价川、安岳、載寧、殷栗、
黒鉛、龜城、楚山、朔州、昌城、

水産

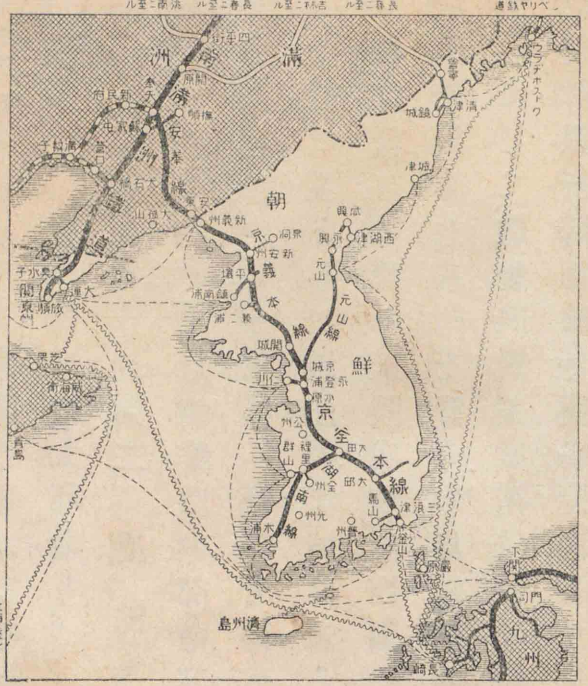
漁獲高 三千九百二十六 (六倍)
製造高 二千四百四十 (八倍)

鮮魚、鮭、明太魚、ニシキ、サワラ、鱈、鯛

朝鮮の鐵道は南滿洲鐵道會社の經營に係る。

主要交通系

官仕事
印刷業
煉炭業
製紙業
煙草製造業



奉鐵道と連り、馬山、木浦、仁川、元山、兼二浦、鎮南浦等に支線を派出す。海運は仁川、釜山、元山を中心とし、内外各地と連絡し、又朝鮮郵船會社の汽船は、沿岸殆ど寄港せざる處なし。

事す。商業は内地と取引多く、金米、大豆、牛皮、繭、重石、水産物を移出し、綿布、綿絲、石油、機械類、石炭、紙類等を入す。

交通 鐵道は標準軌式にして、京釜、京義の兩線、半島を縦貫し、鴨綠江を渡りて安

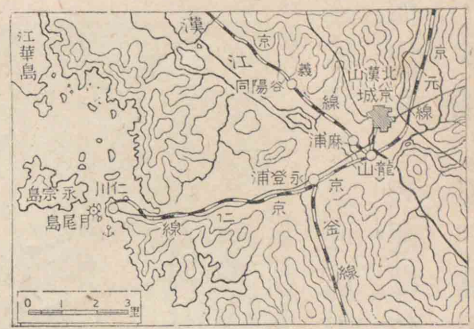
内地仕事
糖業
製糖業
鹽業
製紙業
印刷業
煉炭業
製紙業
製皮業
製革業
製糖業
製紙業

輸出入 = 2億 2500万円
0.85内地
1出入 2億 7000万円
0.58211取

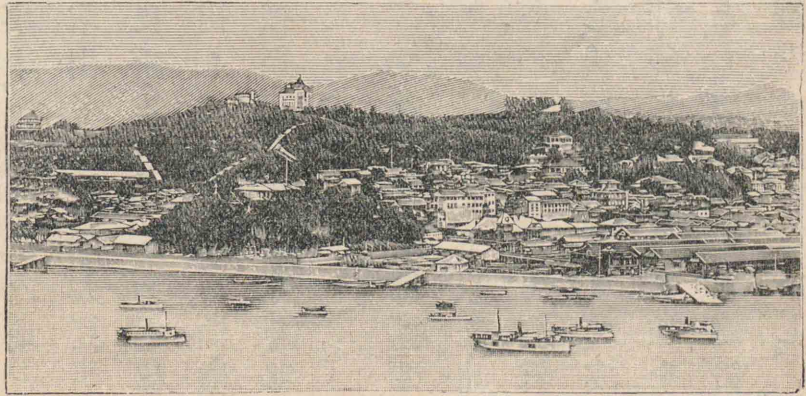
馬 一六六
山 一四四
川 一五五
一四四
一四四

京城附近の圖
釜山下關間は連絡船あり約十二時間にて達すべく釜山京城間は五時間を要す。されば東京、京城間は約四十九時間にて達すべし。

朝鮮都邑人口
京城 一、〇〇〇、〇〇〇
平壤 一、〇〇〇、〇〇〇
開城 一、〇〇〇、〇〇〇
大邱 一、〇〇〇、〇〇〇
仁川 一、〇〇〇、〇〇〇
元山 一、〇〇〇、〇〇〇
南浦 一、〇〇〇、〇〇〇
咸興 一、〇〇〇、〇〇〇
馬山 一、〇〇〇、〇〇〇
蔚山 一、〇〇〇、〇〇〇
新義州 一、〇〇〇、〇〇〇
元山 一、〇〇〇、〇〇〇



仁川港
開港場には釜山、木浦、群山、仁川、鎮南浦、新義州、元山、城津、清津、開市場には京城、平壤、大邱あり。
第二處誌
朝鮮は中部、南部北部に分つを得べく、中部は主として漢江の流域に當る。京城は漢江に臨み、丘陵四周し、周圍に城壁を繞らし、八門を置く、半島政治の中心にして、總督府、舊王城、拓殖會社支社、朝鮮銀行、博物館、各種學校等あり。

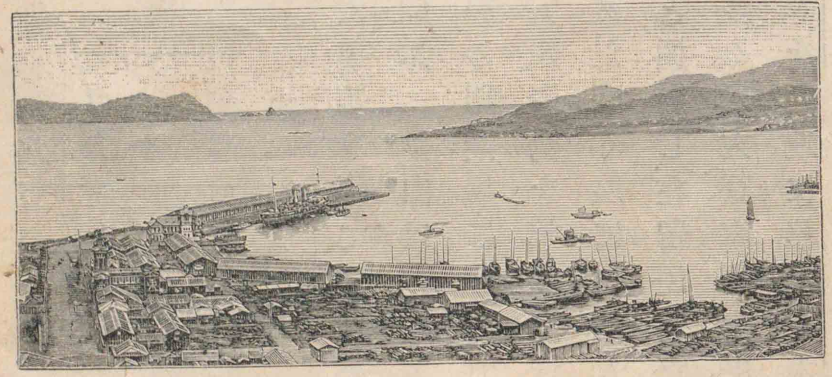


中地理日本

釜山港

港の前方右手にあるは絶影島(牧島)なり、棧橋は右に汽船横附となり左に汽車達し連絡甚だ便なり。
載寧殷栗の鐵は官設製鐵所の原料となる。

龍山は城外なるも京城の一部にして、鐵道四通し、交通甚だ便なり、第二十師團司令部あり。上流に春川あり、其東北に峙てる金剛山は、風景の美比類なし。仁川は京城の咽喉に當り、米、人蔘、牛皮等を内地に移出す。築港成らば干潮時にも船舶の荷役に支障なきを得ん。開城は鐵道京義線に沿ひ、高麗の舊都にして、城壁を繞らす、舊跡多く、附近より人蔘を産す。其西方に海州あり。載寧殷栗は黄海道の北部に在り、鐵の産を以て著はる。南部は古の新羅、百濟の地にして、之



中地理日本

平壤鑛業所にては煉炭をも製造す。

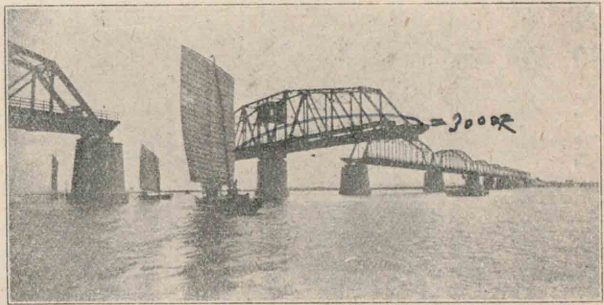
鴨綠江の鐵橋

上

三十九八呎

下元山

市の後方山地より瞰下す。



鎮南浦あり、鐵路平壤より通ず、港内水深く、風波穩かにして、製鐵工場存す。鴨綠江の沿岸には、義州・新義州・龍巖浦あり。新義

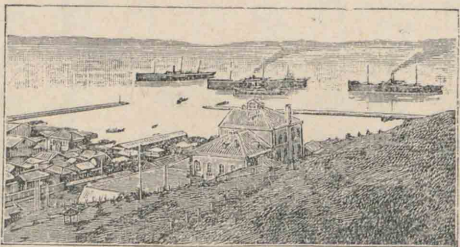


中地理日本

中地理日本

清津

市の後方山地より瞰下す。



州は京義線の驛路に當り、廻轉式の大鐵橋ありて、對岸なる安東と相連る。義州は日清日露兩戰役の古戰場にして、龍巖浦は木材の集散地なり。元山は永興灣頭に位し、東海岸主要の港にして、鐵路京城と通じ、砂金の集中點に當り、主として之を内地に移出す。永興灣は東朝鮮灣の一支にして、灣内甚だ廣く、其北部は海軍要港なり。其北方に咸興あり。城津・清津及び雄基は、元山の東北に位する港にして、清津は鐵路會寧と通じ、滿洲間島の門戸に當り、市況活氣を呈す。會寧は加藤清正の朝鮮二王子を生擒せし處なり、清津より羅南を経て鏡城に輕便鐵道を通ず。羅南は第十九師團司令部の所在地として知らる。

沿革 朝鮮は前に韓國と稱し、古來我が帝國と修交最も
深かりしが、近時國勢振はず、絶えず隣國の壓迫を蒙りて累
を我が國に及ぼししが、日露戰役の結果、一時我が保護國と
なり、次で明治四十三年八月、韓國皇帝の希望により、我に併
合するに至れり。爾來、我が國は總督府を置きて之を統治
し、一意内政を改革し、殖産興業の發達を圖り、衛生、教育に力
を注ぎたれば、數年ならずして大に面目を改むるに至れり。

第三編 總論

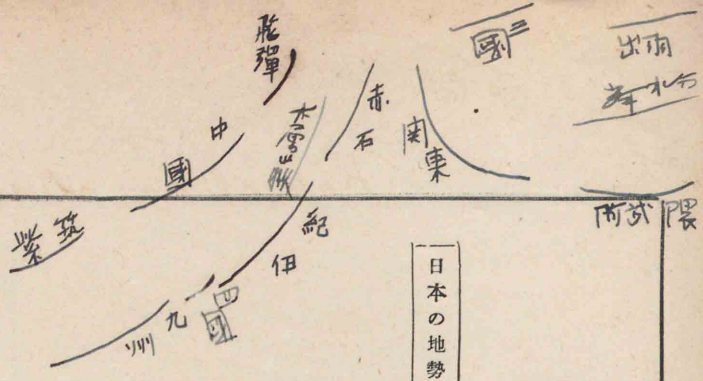
第一章 地勢

我が日本列島は、亞細亞大陸の東部に位し、海底山脈の波
上に隆起せるものにして、恰も三連の弓を連ねたる如く、中

中地理日本

Nakashima teacher 記

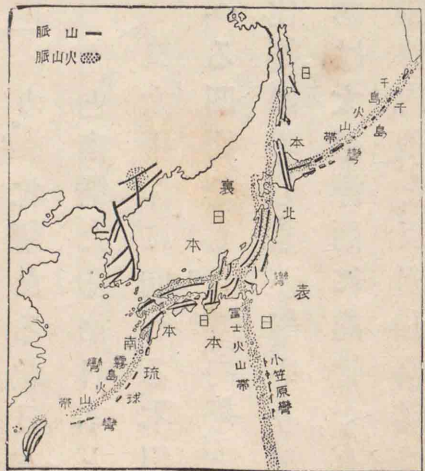
北見 東北
西樺太 天盤 張
日高 北上



日本の地勢

央なる弓は樺太より九州に至り、
北東なる弓は千島灣、南西なる弓
は琉球灣なり。又別に小笠原灣
あり。

山系 三弓中、中なる弓は、日本
列島の主要部をなし、之を南灣、北
灣の二大系に分つことを得べく、
南灣は内外兩列より成り、外列は九州・四國・紀伊半島を過ぎ
て中部地方に至り、内列は九州の北部より中國に入り、近畿
の北部を過ぎて中部地方に至る。北灣も内外兩列より成
り、北は樺太島より起り、北海道本島を南走し、本州に入りて
奥羽關東及び北越を過ぐ。南北兩灣の相會する處は、地勢
最も高峻にして、幅員最も廣く、富士火山帶茲に起りて、南方



中地理日本

表帶山火と脈山要主

臺	九	四	本	北	緯
灣	州	國	州	海	太
臺灣山脈	筑紫山脈	中國山脈及白山火山帶	岩木火山帶 飛驒山脈及乘鞍火山帶	出羽丘陵、越後山脈	西樺太山脈
				奥羽山脈、那須火山帶	渡島半島、那須火山帶
				關東山脈、赤石山系	東北山脈、鈴谷山脈
				木曾山脈、紀伊山系	天鹽山脈、日高山脈
				近畿の地壘、四國山系	夕張山脈、千島火山帶
				九州山系、霧島火山帶	北上山脈、阿武隈山脈
				臺灣山系	關東山脈、赤石山系

富士火山帯は内外兩帯を貫き阿蘇火山帯は内・外兩帯の界に噴出せるものなり

は、地勢・氣候・文化に著しき差あり。又太平洋に向へる本州の凸面を表日本(外帯)、日本海に向へる凹面を裏日本(内帯)と呼ぶ。此内帯外帯も、地勢・氣候・文化等に著しき差等あり。朝鮮・臺灣は地勢上別區をなし、臺灣は太平洋面に内帯を有し、西部に外帯を有するを以て、其關係内地と反對し、朝鮮は

小笠原灣上に走る。又千島灣上には千島火山帶、琉球灣上には霧島火山帶通ず。火山帯には、此外那須白山・乘鞍・阿蘇・霧島等あり。北灣たる北日本と、南灣たる南日本と

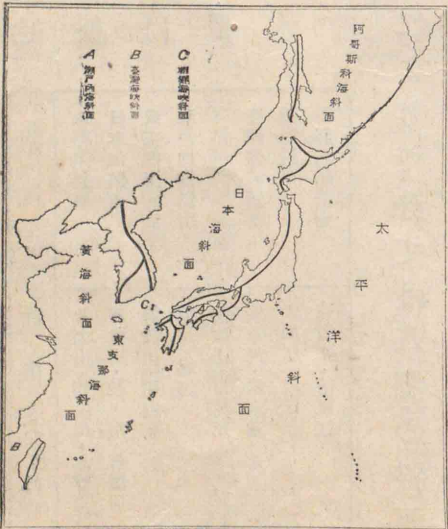
中地理日本

中地理日本

八分水斜面圖

内外兩帯の關係なく、長白山脈を除く外、地形老境に近づき、峻峻の地少なし。水系 陸地を人體に譬ふれば、河川は之が血管にして、土壤は之が筋肉なり。されば、土壤は河川によりて潤ほされ、河川によりて養はる。本邦の河川は、概ね國土の中

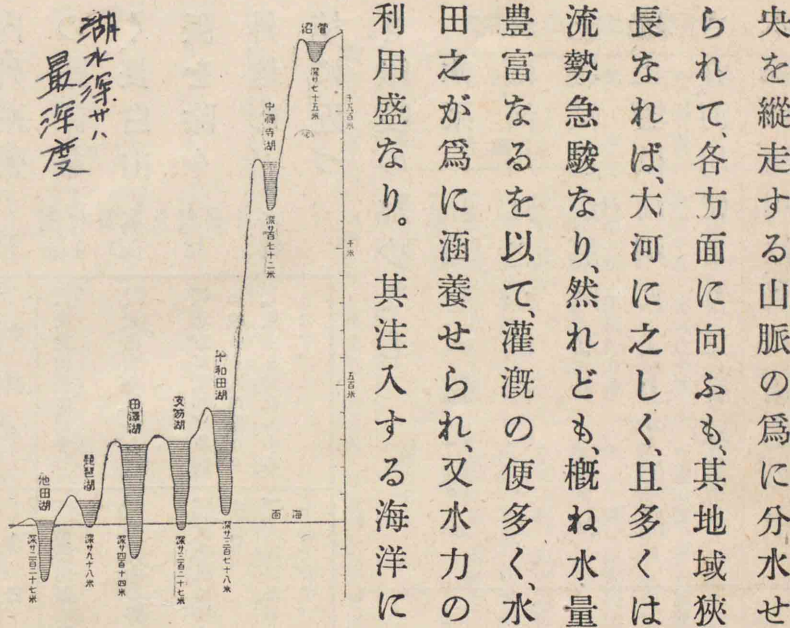
北日本	南日本	表日本	裏日本
一、北嶺山系に屬す。 一、大河大平野多し。	一、南嶺山系に屬す。 一、大河大平野に乏し。	一、海岸の出入多く又島嶼多し。 一、傾斜緩にして交通便なり。	一、海岸の出入少く又島嶼少し。 一、傾斜急にして交通不便なり。
一、北方に至れば未開の地多く人口疎なり。 一、東京を文化の中心となす。	一、文化夙に開け人口密なり。 一、大阪京都を文化の中心となす。	一、人口密にして大都會多し。 一、雨量夏季に多く、冬季に少なし。	一、人口疎にして大都會少なし。 一、雨量冬季に多く、夏季に少なし。



鯨湖養育

各斜面所屬の大河

湖面の高低



斜面名	所屬大河
太平洋斜面	北上川・利根川・木曾川
日本海斜面	石狩川・最上川・信濃川
東支那海斜面	筑後川・川内川
瀬戸内海斜面	淀川・旭川
阿爾卑斯海斜面	幌内川・常呂川
臺灣海峡斜面	淡水河・濁水溪
黄海斜面	大同江・漢江
朝鮮海峡斜面	遠賀川・洛東江

區域に分るべし。

湖沼は陸に圍まれたる水域にして、交通運搬灌漑に便じ、水族を蕃殖せしめ、又よく沿岸の氣候を調和し、瀘水の任務を全うし、且

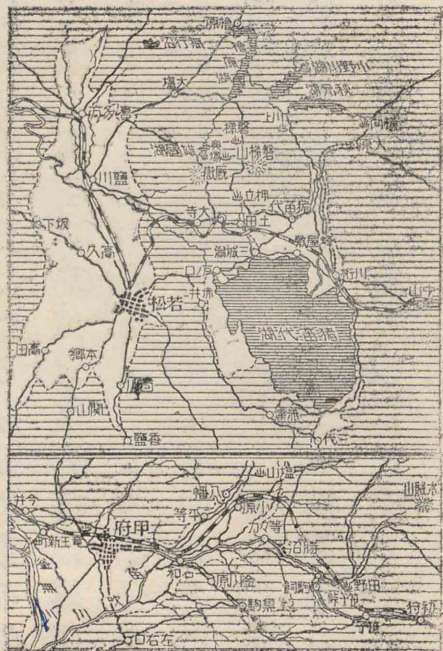
中地理日本

中地理日本

平野

菅湖湖面 海拔一七五三米
 田澤湖 深度 四一三米
 池田湖底 水面下一四二米

陸化せる湖沼
 (圖中の白色部)
 上は會津盆地
 下は甲府盆地



池田湖とす。

平野 本邦は山地多けれども、河岸及び海岸等には平野
 少なからず、就中關東平野最も大にして、廣袤三四十里に及
 ぶ、臺灣西部の平野亦殆ど同島の西半部に互る。其他、越後
 石狩濃尾熊本攝河泉富山福井十勝釧路根室等の諸平野あ

風光絶佳なるもの多し。
 就中琵琶湖は本邦第一
 の大湖にして、周圍六十
 餘里に達す。湖面の最
 も高きは下野の菅沼に
 して、最も深きは羽後の
 田澤湖とし、湖底の海面
 より最も深きは九州の

湖沼の死滅して成れる乾陸を化石湖と稱す。

海岸線の長七千七百里有り。
(朝鮮を除く)。

り。又湖沼の涸死して成れる平野には、北海道の上川・富良野・本州の會津・山形・新庄・秩父・奈良・伊賀・三次、九州の人吉・臺灣の臺北等ありて、多くは盆地をなし地味豊沃なり。

海岸・島嶼 本邦は海岸線の發達せること世界に稀にして、特に九州の西岸・瀬戸内海沿岸・豊後水道の兩岸・朝鮮の西岸及び南岸等は、頗る屈曲に富み、港灣・岬角甚だ多し。然れども、北海道本島・樺太・臺灣等は屈曲少なし。海岸線屈曲の多少は、文化の發達上至大の關係を有す。

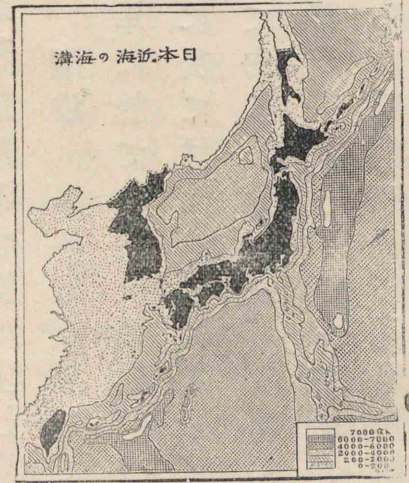
島嶼は本州・四國・九州と朝鮮とに甚だ多く、佐渡・對馬・淡路・隱岐・壹岐等之が主たり。是等の諸島及び岬角は、航海業の發達と共に、益、必要なる地點となるより、或は船舶の碇泊地又は避難地となり、或は漁業の中心地となる。

中地理日本

中地理日本

第二 近海

日本近海の深淺圖



海面海底 海洋は嘗て人類恐怖の源泉たりしも、陸岸附近は其利用殆ど陸上と選ぶなし。されば、海國は其面積に比し、利用すべき區域甚だ廣し。樺太及び北海道の沿海たる阿・哥・斯・科海は、冬季海水氷結し、流水漂ひ、又霧深き處多けれども、魚類の蕃殖夥しく、世界三大漁場の一に數へらる。菱形をなせる日本海は、恰も大湖水の如くなれども、冬期風波荒きを惜む。太平洋沿岸及び瀬戸内海は、四季概ね波穩かなり。特に瀬戸内海は無數の小島星羅し、風光明媚

陸棚有種
大ナル程
漁業が盛
テ交通が
便利カ
多量
遊生物
種多
量多

世界三大漁場は
阿・哥・斯・科海
諾威近海
ニュー・フ・オ・ン・ド
ランド近海

日本近海海流

A 暖流
日本海流(一名黑潮)
對馬海流
及五島濟州島海流

B 寒流
千島海流(一名親潮)
リマン海流
樺太海流

にして、且海運業よく發達す。

日本近海の深度を見るに、千島の東方に日本海溝(タスカ
ロウ海床)とて、深さ八千五百米を超ゆる深處あり。琉球の
南にある琉球海溝も、深さ七千五百米に達す。日本海瀬戸
内、玄海灘等は甚だ淺し。

潮汐 海洋は潮汐とて其水面一日二回漲落す。日本海
岸に於ては、潮汐の昇降一尺内外に過ぎざれども、太平洋岸
に於ては七八尺に達し、特に九州の有明海は、十七尺餘にし
て内地に其比なく、朝鮮の仁川附近は三十尺以上に達し、東
洋第一に位す。海峡、岬角等に於ては潮汐變じて潮流とな
る。鳴門、來島、下關各海峡に此現象著し。

洋流 日本近海には寒、暖の二洋流ありて、氣候、水産等に
影響を及ぼす。暖流は日本海流とて、臺灣の東岸を北上し、

中地理日本

中地理日本

暖流
日本海流(一名黒潮)
日本海南部
大津、大津、大津
千島海流(一名親潮)
リマン海流
樺太海流

十以下
二十五
二十八

琉球列島及び本州の南東岸を洗ひ、北米の北西岸に向ふ日
本海流にして、其色深藍色を呈するより黒潮の名あり、其支
流に對馬海流ありて、東支那海、日本海を過ぎ、宗谷海峡に至
りて二分し、一は樺太の西岸を北上し、一は同海峡を過ぎ、千
島の西岸に達す。又別に五島、濟州海流ありて、朝鮮の西岸
を北上す。寒流は千島海流(親潮)とて千島列島を洗ひ、北海
道の東部より、本州の東岸を南下するものの外、リマン、樺太
の兩海流あり。

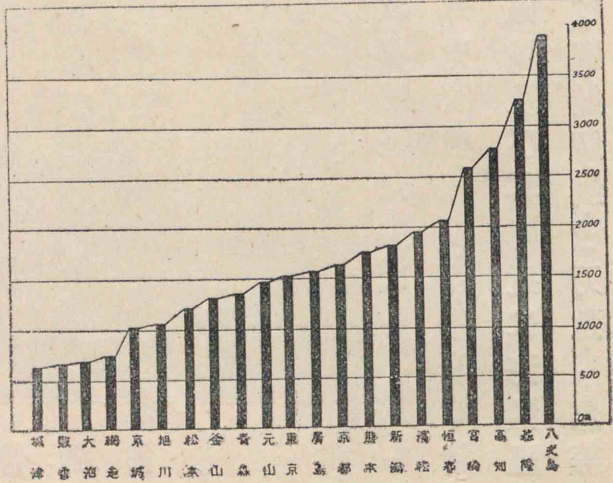
第三章 氣候及び天産

氣温 我が國の大部は北温帶に屬し、氣候頗る溫和なれ
ども、緯度の延長殆ど三十度に互るを以て、各地自ら均しか
らず。臺灣の南部は已に熱帶に入りて暑氣強く、恒春は年

巨漣海流
 五六十海里
 石海軍
 二百海里
 三平海軍
 一日

日東 35-34
 北 32-34
 樺太 33%
 32%
 34%
 32%

各地の降水量比較(單位耗)



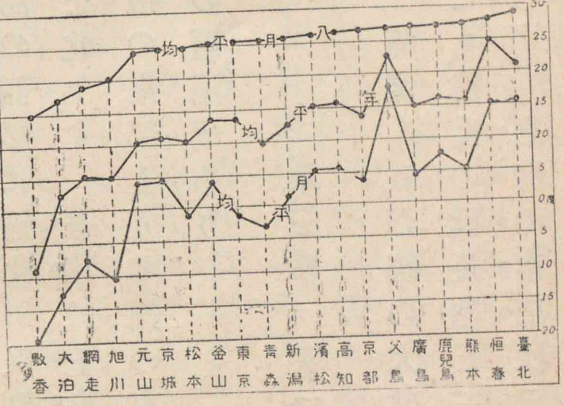
兩帯に跨れども、氣候上寒帯にも入れるより、頗る植物の種類に富み、寒地には蝦夷松、根松、落葉松、白楊、タモ等を認め、温地には松、杉、檜等を産し、南部の熱地には椰子、榕樹、鳳梨、芭蕉

降水量 降水量は阿哥斯科海附近及び北朝鮮には少なけれども、其他は一般に多く、夏季は南風又は南東風、表日本に多量の雨を降し、冬季は北風若くは北西風、裏日本に多量の雪を降らす。毎年六月頃、内地は陰霖月餘に及び、之を梅雨と稱す。朝鮮にては、七月雨季に入る。

植物 我が國は緯度上、温熱

各地の氣温比較

圖は年平均氣壓
 氣温上の三帶
 熱帶 氣温二十
 度以上。
 温帶 同零度以
 上二十度以
 下。
 寒帶 同零度以
 下。
 元寇伊勢の神風
 は二十日の旋風
 なり。
 二百十日とは立春
 より二百十日目な
 り。



氣壓 風は、冬季は北風若くは北西風多く、夏季は南風若くは南東風多く、又二百日前後に及ぼすこと多し。

平均攝氏二十四度に達し、又樺太、北海道に至りては寒氣烈しく、樺太の數香は年平均氷點下に達し、本州は年平均十度乃至十五度を普通とす。又朝鮮の北半部は寒暑の差甚だしく、大陸氣候を呈す。



一五五
高知 鹿島
沖繩 北海道

大 麦
四十四年
一五九
一五八
一五七
一五六
一五五
一五四
一五三
一五二
一五一
一五〇
一四九
一四八
一四七
一四六
一四五
一四四
一四三
一四二
一四一
一四〇
一三九
一三八
一三七
一三六
一三五
一三四
一三三
一三二
一三一
一三〇
一二九
一二八
一二七
一二六
一二五
一二四
一二三
一二二
一二一
一二〇
一一九
一一八
一一七
一一六
一一五
一一四
一一三
一一二
一一一
一一〇
一〇九
一〇八
一〇七
一〇六
一〇五
一〇四
一〇三
一〇二
一〇一
一〇〇
九九
九八
九七
九六
九五
九四
九三
九二
九一
九〇
八九
八八
八七
八六
八五
八四
八三
八二
八一
八〇
七九
七八
七七
七六
七五
七四
七三
七二
七一
七〇
六九
六八
六七
六六
六五
六四
六三
六二
六一
六〇
五九
五八
五七
五六
五五
五四
五三
五二
五一
五〇
四九
四八
四七
四六
四五
四四
四三
四二
四一
四〇
三九
三八
三七
三六
三五
三四
三三
三二
三一
三〇
二九
二八
二七
二六
二五
二四
二三
二二
二一
二〇
一九
一八
一七
一六
一五
一四
一三
一二
一一
一〇
九
八
七
六
五
四
三
二
一

農民は總人口の六割に當る。

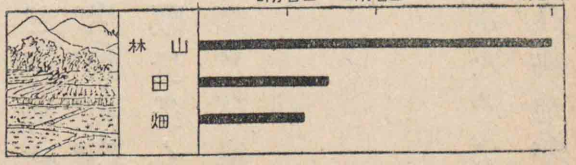
朝鮮の米産一千万石。
臺灣の米産五百萬石。

山林田畑比較
民有地

林業は樹木の造林と伐採及び利用を目的とす。

理等により産額次第に増加す。農産物は米・麥・大豆・茶・粟・甘蔗・綿・藍・大麻・甘藷等を主とし、米は沖積土に栽培せられ、新潟兵庫福岡愛知諸縣最も多く、年産額五千萬石を超ゆ、然れども、米の供給不足し、年年外國米の輸入を仰ぐ。麥は茨城埼玉の兩縣其他關東地方を主産地とし、大豆は朝鮮・北海道・奥羽・關東・九州等を主とし、茶は静岡三重京都埼玉の諸府縣を推し、玉露最も聲價高く、産額は煎茶を主とす。臺灣の烏龍茶亦有名なり、主として亞米利加合衆國及び加奈陀に輸出す。砂糖の原料たる甘蔗の産額は臺灣を主とし、鹿兒島沖繩香川の諸縣之に次ぐ。臺灣の製糖産額は内地に約三倍す。

林業 我が國は山地多く、内地にても到る處に之を認む。



中地理日本

マユ
四四
四三
四二
四一
四〇
三九
三八
三七
三六
三五
三四
三三
三二
三一
三〇
二九
二八
二七
二六
二五
二四
二三
二二
二一
二〇
一九
一八
一七
一六
一五
一四
一三
一二
一一
一〇
九
八
七
六
五
四
三
二
一

明治神宮の用材は木曾及び阿里山に仰げりといふ。

盛岡馬市

牧畜は家畜の繁殖と之が利用とを目的とす。



近來樹木減少の結果、濫伐を戒め、殖林に力を用ふるも、需用に比し供給不足し、パルプ・燐寸・軸木・桐・唐木等、年年輸入額増加す。森林中、著名なるは秋田・青森・木曾・吉野・高野・熊野等にして、松・杉・檜の良材を産し、臺灣にも阿里山・棲鳳山等の大森林ありて、檜・樟樹等の良材を産す。朝鮮の北部には森林多きも、南部は殆ど楮山なれば、目下殖林に努む。牧畜業 牧畜は古來多少行はれしが、近來肉乳・毛皮等の需用次第に増加し、品種の改良と頭數の増加とは、目下の急務なるを以て、漸次發達の機運に向ひ、特に軍馬の改善、綿羊の飼育等に全力を注げり。牛は九州・中國・朝鮮・臺灣に多く、

鑛業は地下に埋蔵せる鑛物の採取と之が精煉を目的とす。

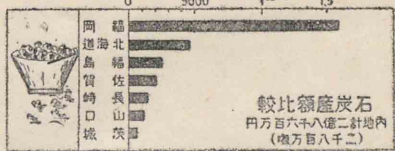
水産業は水産物の漁獲・養殖及び製造を目的とす。

馬は北海道・奥羽・九州を主産地とす。朝鮮・對馬・琉球産の馬は體軀甚だ小なりと雖も力強し。豚は臺灣・沖繩・鹿兒島・千葉・豆南諸島に多く、沖繩・豆南諸島のものは其肉美なり。

鑛業

本邦の鑛産は、石炭・銅・金・銀・石油等を主とす。石炭は福岡・北海道・福島・佐賀・長崎・茨城各縣等を主産地とし、品質劣れども産額東洋第一に位し、東亞各地に之を供給す。銅は秋田・愛媛・栃木・茨城・四縣を主とし、産額世界第二に位す。金は臺灣・茨城・秋田・鹿兒島を主とし、新潟・岩手・北海道等に次ぐ。石油は新潟・秋田・銀は秋田・鐵は岩手を主とす。又朝鮮に於ては石炭・鐵・金及び黒鉛の産額年年増加す。

水産業 本邦は寒暖の二海流、近海に於て衝突するより、水産物の種類甚だ多く、且多量なり。特



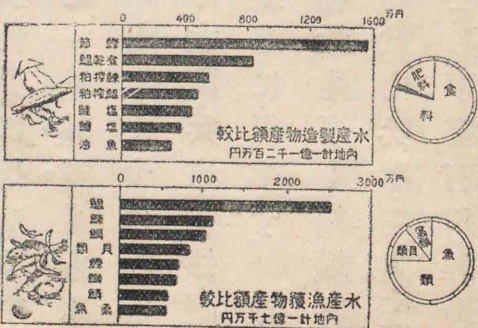
中地理日本

中地理日本

工業は原料品又は粗製品に加工して其價値を増さんことを目的とす。

に阿哥斯科海、日本海北部、本州東岸、南岸を主とす。漁獲物は鯧・鰹・鰹・海藻・烏賊・鯛・鰯等を主とし、鰹は千葉縣、鰹は鹿兒島、靜岡・茨城・高知・三重に、鯛は瀬戸内海、長崎縣に多く、鯧・海藻は北海道・樺太を主とし、烏賊・柔魚は日本海の南西部に多し。水産製造物は鰹節・鮪節・鰯類・身・鰹・鰹・搾粕・乾鰹・貝柱・鹽物・海苔・魚油等を主とし、北海道の産額他に傑出す。製鹽業は、降雨少なく晴天多き瀬戸内海に多く行はれ、所謂十州鹽田の稱あり、坂出・赤穂・撫養・三田尻の製鹽最も著はる。臺灣・朝鮮よりは天日製の鹽を産す。水産養殖は長野・靜岡・愛知・東京等大に發達せり。

工業 本邦人は手指の運用巧妙にして、美術思想に富み、





古來よく精巧なる物品を製出すれども、多くは小工業に止まりしが、近來機械力を應用せしより其進歩著しく、製・絲・紡・績・織・物・造・船・製・鐵・機・械・木・工・等の工場各地に起り、頓に盛況を呈するに至れり。蠶・絲は産額五億圓を超え、本邦輸出品中第一に位するのみならず、産額世界に比なく、本州中部・關東地方産額最も多し。紡・績・業も近來長足の進歩を促し、内地の需用を充たすのみならず、遠く支那其他に輸出する額甚だ多く、大阪・兵庫・愛知・岡山・東京等、何れも大工場を建設して之が製造に従事す。織物業は工業中重要なるものにして、綿織物最も多く、絹織物之に次ぎ、綿織物は大阪府を主とし、愛知・和歌山・兵庫・三重・愛媛・静岡等之に次ぎ、絹織物は福井縣を主とし、京都・石川・群馬

中地理日本

東京・新潟・埼玉の諸府縣之に次ぐ。又近來造船製鐵業の發達著しく、殊に造船業は各軍港の外、長崎・神戸・大阪・横濱に大規模の工場ありて、巨大の艦船を製造す。其他重要物産及び産出地を擧ぐれば左の如し。

中地理日本

品名	主産地	品名	主産地
肥料	大阪、兵庫、東京、北海道、兵庫、東京、福岡、愛知	硝子	大阪、福岡、神奈川、東京、東京、大阪、和歌山、兵庫
機械製麥粉	愛知、大阪、兵庫、和歌山、兵庫、大阪、愛知、廣島	革	東京、大阪
木製品	東京、大阪、神奈川、山口、東京、神奈川、兵庫、愛知	ゴム製品	東京、岩手、福岡、大阪
工業藥品	大阪、福岡、東京、北海道	炭	大阪、神奈川、東京、兵庫
油類		時計	東京、大阪、沖繩、愛知
セメント		帽子	大阪、兵庫、東京
		セルロイド	

商業とは貨物の賣買及び之に必要な補助的業務を總括したるものをいふ。

商業 我が國は古來商業を輕んじたるを以て、發達せざりしが、明治維新以來、交通及び金融機關等漸次發達するに

從ひ、内外の商業次第に隆盛に赴けり。
 内國商業の大中心は、東京・大阪にして、名古屋・金澤・廣島・下
 關・福岡・熊本・仙臺・函館・小樽等は各地方商業の中心地なり。
 此等市邑には、必らず商業會議所・商品取引所の設あり。金
 融機關としては、全國に數多の銀行あり、就中、日本銀行は本
 邦金融の中央機關にして、中央金庫を管し、紙幣の發行權を
 有し、橫濱正金銀行は、外國貿易上の機關にして、海外諸國に
 も數多の支店を設く。我が外國貿易は、漸次隆盛に向ひ、今
 や内地のみの輸出入額は三十七億圓を超え、此外、臺灣・朝鮮
 各約六千萬圓に達せり。然れ共、輸出品の多くは未製の原
 料或は半製品なるは遺憾なり。主要輸出品は生絲を第一
 とし、綿織物・汽船屑・絲・豆類・金巾・綾・木綿・銅類・石炭・澱粉等にし
 て、主なる輸入品は、繰綿・鐵類・米・豆・糟・羊毛・砂糖・麻類・コブラ・燐

朝鮮の移出入
 三億餘萬圓
 臺灣の移出入
 二億餘萬圓

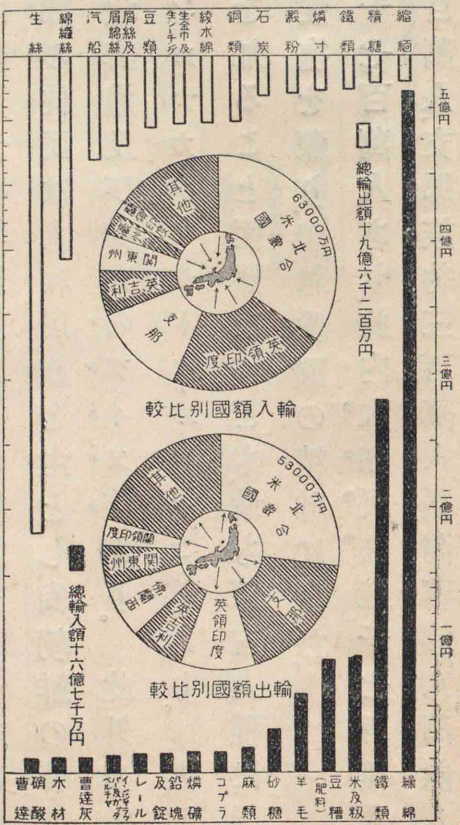
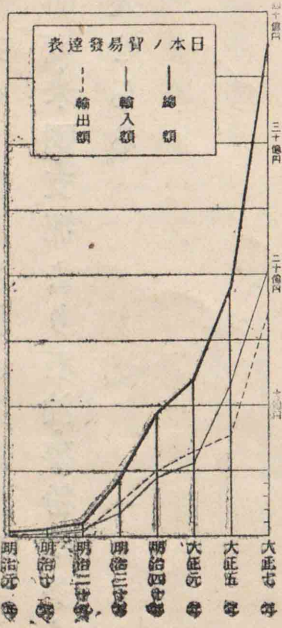
中地環日本

中地環日本

貿易發達表

貿易比較表

礦・鉛塊・レール
 等なりとす。
 本邦に於ける開港場の數は約六十に達し、其内横濱・神戸・大阪の三港を主とし、門司・四日市・長崎・若松之に次ぐ。
 貿易上、我が重要な取引先は、亞米利加合衆國と支那・印度とにして、



英吉利・濠太刺利等これに次ぐ。我が生絲と茶とは、主として米國に輸出し、繰綿は印度・米國・支那より、石油・麥粉は多く、亞米利加合衆國より輸入せらる。

第五章 住民

種族 人類は體質骨格等民族固有の標式を有す、之を種族と稱す。本邦の住民は大和民族を主とし、尙朝鮮の韓族、臺灣の支那族、北海道及び樺太のアイヌ族あり。此外、少數の馬來・アリアン・カナカギリヤーク・オロッコ等あり。大和民族は、其由來を知ること困難なれども、最も蒙古人種に近く、古來烈聖の愛撫を蒙り、忠君愛國の精神に富む。

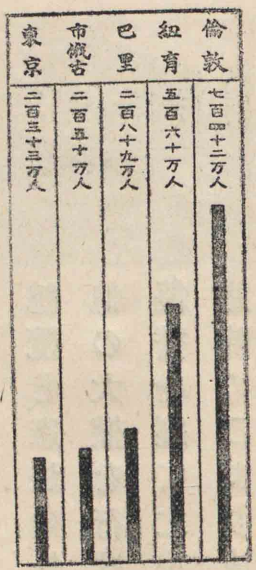
人口 約七千七百萬あり、此内、大和民族五千七百萬、朝鮮族一千七百萬、支那族約三百萬人、臺灣蕃族八萬餘人

一方里の住民千八百人に當る。

中地理日本

中地理日本

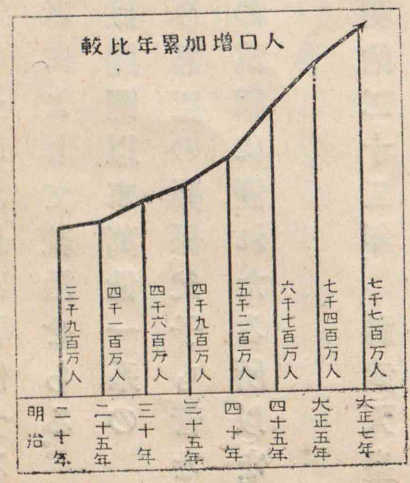
世界大都市人口比較



外への植民とを奨励せざるべからず。本邦人の海外在留者は約六十萬人ありて、布哇・支那及び亞米利加合衆國本土

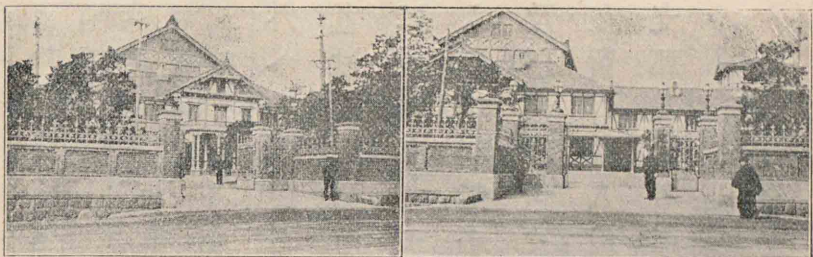
に最も多く、近時、伯刺西爾に至るもの年年數千人に達す、又南滿洲及び東蒙古に發展する餘地あり、在留外國人は約二萬人あり、就中支那人最も多く、英・米人之に次ぐ。

第六章 政治



國家の三要素
土地
住民
主權

左右
衆議院
貴族院



國體 國家は一定の土地と是に居住する民族とを有し、主權者によりて統治せらる。我が大日本帝國は、開闢以來、萬世一系の天皇之を統治し給ひ、君臣の關係、父子も嘗ならず、是れ我が國體の萬國に優れたる所以なり。

政體 我が國は明治二十二年、神武天皇紀元の佳節を以て憲法を發布し、立憲政體國と成れり。天皇は國の元首にして統治權を總攬し、憲法の條章に従ひて、立法司法行政其他の大權を行はせ給ふ。立法は帝國議會の協賛を経て之を行ふ。帝國議會は、貴族院衆議院の二より成り、貴族院は皇族華族及び國

中地理日本

中地理日本

家に勳功あり、又は學識あるもの、多額納稅者等の議員を以て組織し、衆議院は各地方より公選せられたる議員を以て組織す。行政部は中央政府に内閣及び内務外務大藏陸軍海軍司法文部農商務遞信鐵道の十省あり、内閣總理大臣は各省長官たる十大臣と共に内閣を組織し、政務を執る。地方行政は三府四十三縣に知事、北海道樺太に長官、臺灣と朝鮮とに總督を置き、租借地關東州に長官を置いて、部内の政務を行はしむ。府縣は概ね市郡(沖繩は區郡)に、郡は町村に分る。府縣の中、重要な島には島廳を置く。司法部は東京に大審院、全國に七箇所の控訴院を設け、各府縣に一箇所、北海道に四箇所、樺太に一箇所の地方裁判所を置き、且其下に二百餘の區裁判所を置きて司法事務を掌り、又臺灣朝鮮には別に司法制度を設く。

控訴院所在地
東京、大阪、名古屋、廣島、長崎、仙臺、函館

常備役 陸軍 三年 陸軍 四年 豫備役 陸軍 四年 陸軍 三年 後備役 陸軍 五年 補充役 國民軍 第一 後備・補充 役を終へたるもの 第二 常備・後備・補充 第一國民以外のももの 鎮海は軍港なるも未だ鎮守府を置かず當分佐世保鎮守府をして兼管せしむ。

師團	司令部所在地	師團	司令部所在地	師團	司令部所在地
近衛	東京	第一	旭川	第十四	宇都宮
第一	東京	第八	弘前	第十五	豊橋
第二	仙臺	第九	金澤	第十六	京都
第三	名古屋	第十	姫路	第十七	岡山
第四	大阪	第十一	善通寺	第十八	久留米
第五	廣島	第十二	小倉	第十九	羅南
第六	熊本	第十三	高田	第二十	龍山

き、尙此外、東京に近衛師團、朝鮮に二箇師團あり。又臺灣關東州・支那には各守備隊を置く。帝國の海岸・海面は、之を五海軍區に分ち、横須賀・吳・佐世保・舞鶴に鎮守府を置き、之を管せしむ。又大湊・馬公・竹敷・永興・旅順に海軍の要港を置く。財政 財政の要は、出づるを計りて入る道を講ずるに在り。我が歳出は約十億圓を超ゆ、歳入亦之に等し。歳入の主なるものは、酒税・地租・郵便其他通信收入・印紙收入・關稅所

中地理日本

得税・營業税及び官業收入等なり。國債は約三十三億圓に近く、其内、外債約十三億圓なり。國債は約三十三億圓に

中地理日本

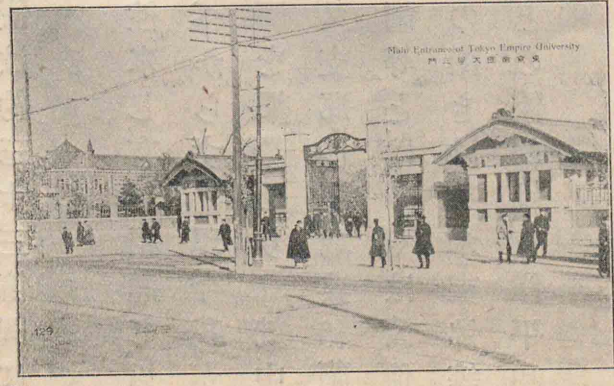
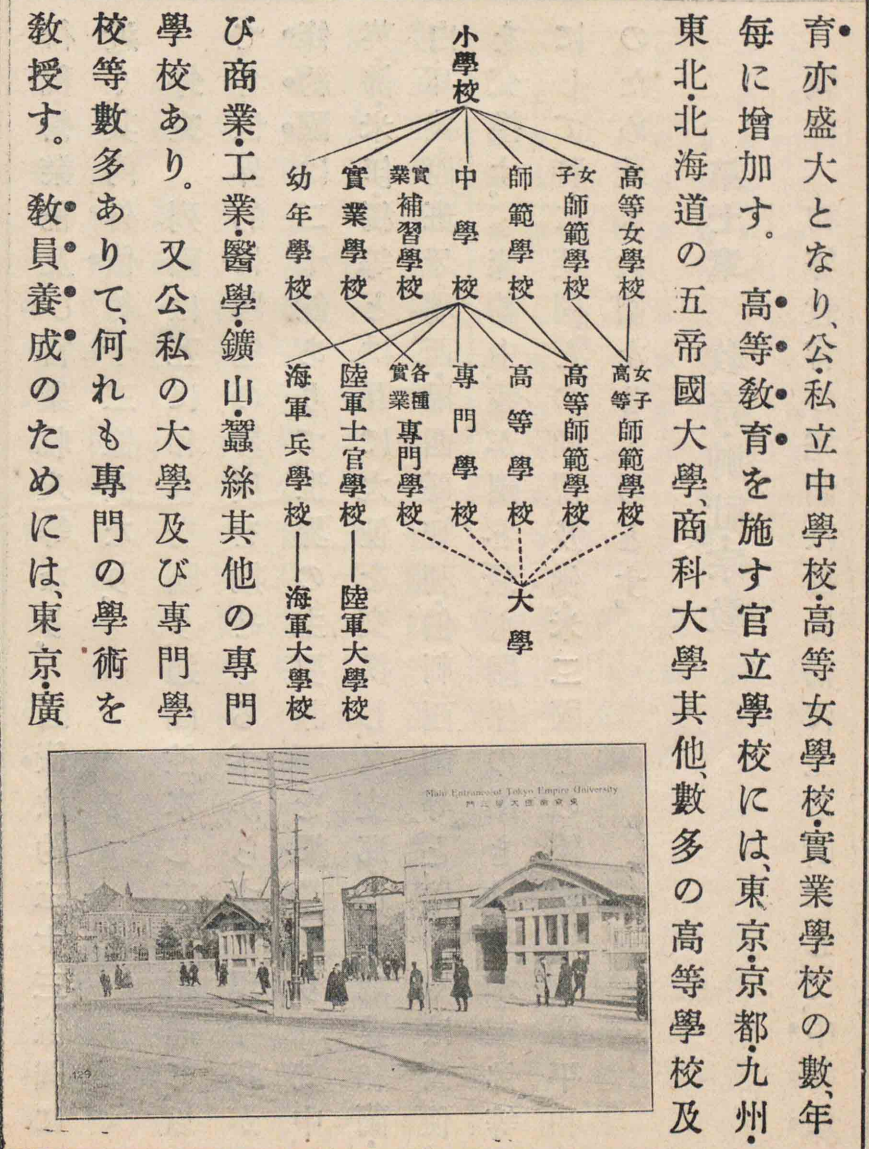
外交 列國は互に和親を圖り、通商往來し、有無相通じ、以て各世界的に國運の發展を期せざるべからず。現今我が條約國は二十餘ありて、世界の主要諸國を網羅せり。就中、英・佛・米・伊・獨等とは互に大使を交換し、又支那・暹羅・瑞典・和蘭・白耳義・西班牙・瑞西・墨西哥・智利・伯刺西爾等とは多くは公使を交換す。條約中、我が國と最も關係の深きは、英・米・支・佛等に於て、特に英國との同盟、及佛・米二國との協約は、東洋平和のため最も大切なるものとす。

第七章 教育・神社・宗教

教育 初等教育の完備は世界稀に見る所にして、中等教

圖書館、博物館、展覽會等社會教育的施設年毎に發達す。

東京帝國大學



中地理日本

大正十年度開校の豫定

- 高等學校 弘前
- 高等商業名古屋 松江
- 高等工業 金澤
- 高等農業 鳥取

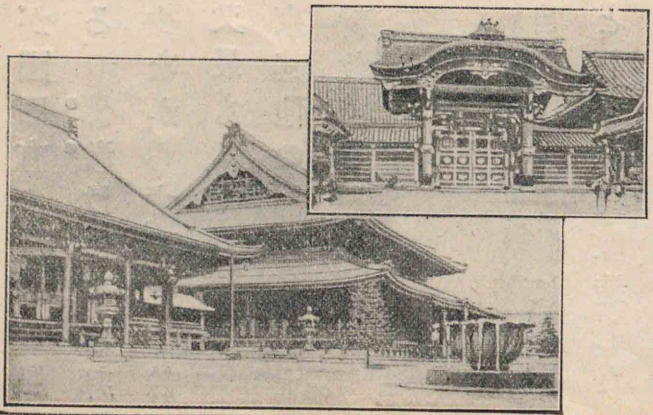
本願寺

宗教は人をして安心立命の觀念を得せしめ、遷善に導くを要旨とす。憲法第二十八條日本國民は安寧秩序を妨げず及び臣民たるの義務に背かざる限りに於て信教の自由を有す。

島に高等師範學校、東京・奈良に女子高等師範學校、各府縣に師範學校あり。又數多の私立學校に教員養成機關あり。軍人教育の機關には、陸軍大學校、陸軍士官學校、海軍兵學校、機關學校及び幼年學校等あり。

神社 我が國民は古來天神地祇及び歴代の貴顯殊勳者を祀る美風ありて、神社の數甚だ多く、特に伊勢・神宮は上下の尊敬最も厚し。神宮以外の神社を、社格によりて官幣社、別格官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社等に分つ。官幣社、國幣社は各、大・中・小三種に分る。近畿地方は神社の數特に多し。

宗教 本邦に行はるる宗教には、神



中地理日本

道・佛・教及び基・督・教とあり。神道は我が國固有の敬神の風に基きて起れるもの多く、十餘派に分る。佛・教は古來本邦の文化・風俗等に影響を與へたること少なからず、現今十餘宗・五十餘派に分れ、寺院の數甚だ多く又最も弘く行はる。基・督・教は明治維新以來勢力を増し、東京其他の都邑・新領土等には信者少なからず、其宗派に舊教・新教・希臘教等あり。

第八章 交通

道路 道路は明治維新前は各藩其自衛上より特に不完全となししも爾後國道・縣道・市町村道として、修築・改造したるを以て、面目を一新し、主要道路は殆ど車馬を通ぜざるなきに至れり。

鐵道 朝鮮・滿洲に於けるものを合すれば、延長一萬哩を

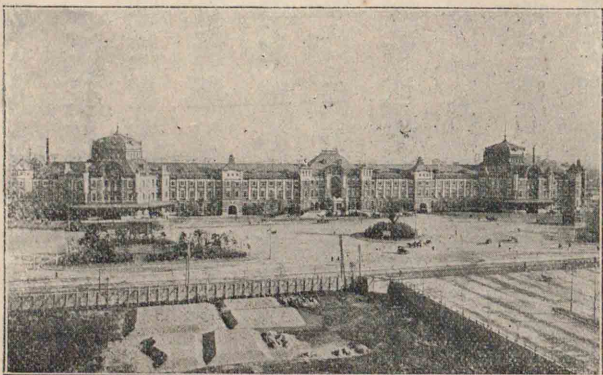
東京日本橋は全國
里程の元標點なり

中地理日本

中地理日本

東京 驛

越ゆ 本州・九州・北海道・臺灣及び朝鮮には鐵道の幹線通じ、是より數多の支線を分ち、各幹線鐵道相互間の連絡機關もよく整頓せり。鐵道網の大計劃は、遠からずして實行せらるべく、又實業の勃興と共に水力電氣事業の發達を促し、之が爲めに著名の都邑は勿論、各遊覽地等に至るまで電車鐵道の敷設を見るに至れり。京濱・近畿地方には汽車電車を官線に併用す。近時各地方に於ける自動車の發達も、大に注目すべきなり。



航路 我が國は河湖運河の利用小なれども、海岸線の發達著しきを以て、沿岸航路は古より開け、足利氏の末葉、航運

業勃興せしも、徳川氏初期、大船の建造を禁止したれば、海運業茲に頓挫し、永く不振の状態に陥りたり。其大に發達せしは近來の事なりとす。

水路交通の大中心地は横濱・神戸にして、長崎・門司・大阪・敦賀・函館・小樽等之に次ぐ。日本郵船會社は横濱・神戸を中心として、内國及び東洋各地への航路の外、濠洲線・歐洲線・米國線等の航路を營み、大阪商船會社は大阪を中心とし、内地支那・米國等との航路を開き、又東洋汽船會社は香港・北米・南米の航路を有し、日清汽船會社は支那の揚子江流域に活躍せり。

郵便 通信機關は郵便と電信と電話となり。本邦の郵便は、徳川時代に於ては大名・私人等の飛脚制度なりしが、明治四年、政府の東京・大阪間に信書を往復せしに創まり、今や

中地理日本

中地理日本

如何なる寒村僻地と雖も信書の通ぜざる處なし。又既に明治八年萬國聯合郵便條約にも加盟し、信書の往復自國內に於けると大差なし。

電信 明治二年創設以後、内地は勿論、新領土に至るまで之が普及を認むるに至り、又明治十二年萬國聯合電信條約に加盟せるより、各加盟國間に於ては任意に通信し得べし。海底電信は支那及び浦鹽斯德は勿論、近時東京より小笠原島に至りて、亞米利加合衆國の敷設せる太平洋海底電線に接續し、以て桑港及び布哇等と直通するに至れり。

無線電信は長足の進歩を遂げ、其利用盛大となり、我が國に於ても、北海道の落石・幌筵、本州の磐城・銚子・船橋・舞鶴・潮岬・角島・九州五島の大瀬崎及び臺灣北部の富基角其他に局を設け、遠き海上を航行する艦船及び其相互間に通信するの

無線電信局所在地
(本文外)
大連、ラサ島、
下津井、屏東等

みならず、布哇、北米大陸等と直通するに至れり。
 電話 明治十年、東京・横濱間に通話を試みたるに由來し、爾來各市街地に發達し、特に主要都市間には長距離電話を通じ、其通話極めて便利となり、且無線電話も既に實用期に入れり。

第四編 結論

島地は大陸と隔絶し、其影響を蒙ること少なければ、内に任意の發達を遂ぐることを得べし。我が大日本帝國は斯る天與の地を占め、其國民は忠實勇武にして結合力甚だ強く、其發達の極、屢、海外に手足を展ばし、或は神功皇后の三韓征伐となり、或は阿倍比羅夫の北地遠征となり、或は八幡船の東洋侵略となるに至れり。只徳川幕府の初期に於ける

耶蘇教徒の行動は、政府をして鎖國の禁令を布くに至らしめしも、同幕府中葉以後、泰西文運の風潮次第に襲來し、ここに全く覺醒せられて、明治維新の大業を完成し、國運次第に發達し、次で臺灣島を併せ、樺太島南半部を回復し、朝鮮半島を容れ、關東州を租借し、最近南洋群島の委任統治權を獲得し、其驥足南滿洲・東蒙古及び西比利亞等に波及し、又航海貿易大に發達し、國威日に揚り、國光長へに輝き、今や世界五大強國の伍班に列するに至れり。而して、上には萬世一系の皇室を戴き、陛下の臣民を愛撫せさせ給ふこと、骨肉も啻ならず。されば、臣民たるもの、上下、男女の別なく、各協力同心して其業を勵み、國家の隆興と民衆の發展とに努め、以て至尊の大御心に答へ奉らざるべからず、これ臣子の本分にして、國民の本務なり、臣民たるもの豈努めざるべけんや。

新地理 日本終

山崎師範學校
山崎師範學校

中地理日本

大正十四年一月二十二日
師範學校地理教科書
省部文日二



發兌

東京市神田區美土代町二丁目一番地
電話 神田三三五八一
振替貯金口座三八七八

文學社

大正四年九月二十六日印
大正九年十月二十七日訂正五版印刷
大正九年十月三十日發行
大正九年十二月二十六日訂正六版印刷
大正九年十二月二十九日發行

師範學校用(四訂版)
新地理 日本全
定價 金六拾錢
大正十一年度 金壹圓拾四錢

著者 小林房太郎

印刷者兼 小林竹雄

印刷所 文學社工場

東京市神田區美土代町二丁目一番地
東京市本所區南二葉町三十七番地

Yamaguchi

Normal school
one year

of
Yamamoto

山縣師範學校

本科一學年C組

山

本

卷





山口県立図書館蔵

広島大学図書

2000023777

